

仙台市スポーツに関する意識調査

《報告書》

平成 28 年 7 月

仙台市文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課

《 目 次 》

調査結果の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査実施・結果の概要	1
(3) 本報告書の見方	2
(4) 回答者の属性	3

1. 運動やスポーツについて

問 1 . 運動やスポーツをすることが好きか	5
問 2 . スポーツ観戦が好きか	7

2. 運動やスポーツの実施状況について

問 3 . 1日あたりの平均歩数	9
問 4 . 直近1年間のスポーツの実施状況	10
問 5 . 直近1年間のスポーツの実施回数・実施頻度	12
問 6 . スポーツを行う時間帯	13
問 7 . スポーツを行う曜日	14
問 8 . スポーツを行う時間	15
問 9 . スポーツを行った理由	16
問 10 . スポーツを行う際の随伴者	18
問 11 . スポーツを行わなかった理由	19
問 12 . スポーツを行うために必要なきっかけ	21
問 13 . 直近1年間に行ったスポーツ	22

3. 市や地域のスポーツ団体などが開催するスポーツ・レクリエーション行事について

問 14 . 市・地域主催のスポーツ等行事への参加経験	27
問 15 . 参加してみたい市・地域主催のスポーツ等行事	29
問 16 . 市・地域主催のスポーツ等行事に参加しなかった理由	30

4. 総合型地域スポーツクラブについて

問 17 . 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度	31
問 18 . 「総合型地域スポーツクラブ」への関心度合い	32
問 19 . 「総合型地域スポーツクラブ」への今後の参加意向	33

5. スポーツクラブやスポーツ同好会などについて

問 20 . スポーツクラブ等への加入状況	34
問 21 . 加入しているスポーツクラブ等	36
問 22 . 今後のスポーツクラブ等への加入意向	37
問 23 . 加入したいと思うスポーツクラブ等	38
問 24 . スポーツクラブ等に加入したいと思う条件	39

6. スポーツ施設の設置状況について

問 2 5 . スポーツ施設の充足度に関する評価	40
問 2 6 . スポーツ施設が「足りていない」と思う理由	41
問 2 7 . 今後設置してほしいスポーツ施設	42
問 2 8 . 利用しやすい施設の設置場所に関する条件	43
問 2 9 . 公共のスポーツ施設に望むこと	44

7. スポーツ観戦について

問 3 1 . 直近 1 年間のプロスポーツ等観戦の有無	45
問 3 2 . 直近 1 年間で観戦したスポーツの種目	46
問 3 3 . 今後観戦したいスポーツの種目	47

8. スポーツボランティアについて

問 3 4 . スポーツボランティア活動への参加経験	48
問 3 5 . 直近 1 年間に従事したスポーツボランティア活動	50
問 3 6 . 直近 1 年間に従事したスポーツボランティア活動の頻度	51
問 3 7 . スポーツボランティア活動を行なった理由	52
問 3 8 . 今後のスポーツボランティア活動への参加意向	53
問 3 9 . 希望するスポーツボランティア活動の内容	55

9. スポーツに関する情報について

問 4 0 . スポーツ情報のソース・情報源	56
問 4 1 . 知りたいスポーツ情報	57
問 4 2 . 今後スポーツ情報を入手したいソース・情報源	58

10. 東京オリンピック・パラリンピックについて

問 4 3 . 東京オリンピック・パラリンピックへの関心度合い	68
問 4 4 . 東京オリンピック・パラリンピックへの所感・対応・要望等	69

11. 今後のスポーツ振興策について

問 4 5 . 「仙台市スポーツ推進計画」の認知度	70
問 4 6 . 運動やスポーツの社会的役割	71
問 4 7 . 仙台市のスポーツ振興に必要なだと思うこと	72
問 4 8 . 仙台市のスポーツ振興施策に期待すること	73

自由意見集

自由意見集（問 3 0）	74
自由意見集（問 4 9）	82

調査結果の概要

(1) 調査の目的

平成 24 年 10 月に策定された「仙台市スポーツ推進計画」において、5 年経過時点で計画の進捗状況や社会情勢等の変化に応じて必要な見直しを行うこととしており、その見直しを行う基礎資料として、スポーツを取り巻く情勢の変化やそれに伴うニーズ変動などを把握することを目的に、市民を対象としたスポーツ振興に関するアンケート調査を実施した。
設問内容は大きく分けて以下の 12 項目である。

1. 運動やスポーツについて・・・・・・・・・・・・・・・・	問1～2
2. 運動やスポーツの実施状況について・・・・・・・・	問3～13
3. 市や地域のスポーツ団体などが開催する スポーツ・レクリエーション行事について・・・・	問14～16
4. 総合型地域スポーツクラブについて・・・・・・・・	問17～19
5. スポーツクラブやスポーツ同好会などについて・・	問20～24
6. スポーツ施設の設置状況について・・・・・・・・	問25～30
7. スポーツ観戦について・・・・・・・・・・・・・・・・	問31～33
8. スポーツボランティアについて・・・・・・・・・・	問34～39
9. スポーツに関する情報について・・・・・・・・・・	問40～42
10. 東京オリンピック・パラリンピックについて・・	問43～44
11. 今後のスポーツ振興策について・・・・・・・・・・	問45～49
12. 回答者の属性（性別、年齢、居住区、職業等）	

(2) 調査実施・結果の概要

調査地域・調査対象者

仙台市在住で、平成 28 年 5 月 1 日現在、15 歳以上 80 歳未満の男女（個人）計 3,000 名を無作為抽出した。

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
合計	600	600	600	600	600	3,000
割合（％）	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	100.0

調査方法：自記式のアンケート調査票（無記名）を郵送にて配布・回収

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）～平成 28 年 6 月 3 日（金）

配布と回収の詳細

標本数 (a)	総回収数 (b)	無効票 (c)	有効票 (d)	有効回収率 (d/a)
3,000	1,447	3	1,444	48.1%

有効票の詳細

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	無回答	合計
男	136	124	128	131	136	1	656
女	168	151	156	130	171	2	778
無回答	1	2	2	1	3	1	10
合計	305	277	286	262	310	4	1,444
割合（％）	21.1	19.2	19.8	18.1	21.5	0.3	100.0

(3) 本報告書の見方

本調査の集計・分析には、基本的に単純集計、クロス集計を用いている。

図表中の「N」(Number of cases)とは、その設問項目における対象者数である。

比率等(%)の算出は、小数点以下第2位を四捨五入し表記しているため、単数回答であっても合計が必ずしも100%にならない場合がある。

「SA」とはSingle Answer(単数回答設問)、「MA」とはMultiple Answer(複数回答設問)の略である。

設問中の選択肢の文言が長い場合、図表中で簡略化して記載している場合がある。

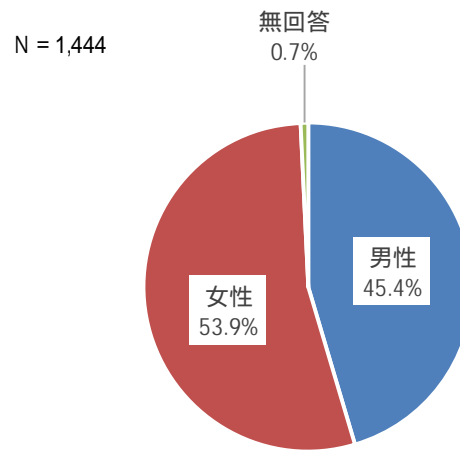
設問中、同じ内容であっても、今回と過去2回とでは設問の形態(SA・MA)、回答対象者、選択肢構成や選択肢文言等が異なるケースがある。この場合、同じ基準での比較や検討ができないため、記載している分析コメントはあくまで「参考」としてご覧頂きたい。

今回は、回答数に制限のある設問(は3つまで)で制限数を超える回答が寄せられるケースが多かったため、これらを「複数回答設問」と同様に扱い集計、分析を行っている。

(3) 回答者の属性

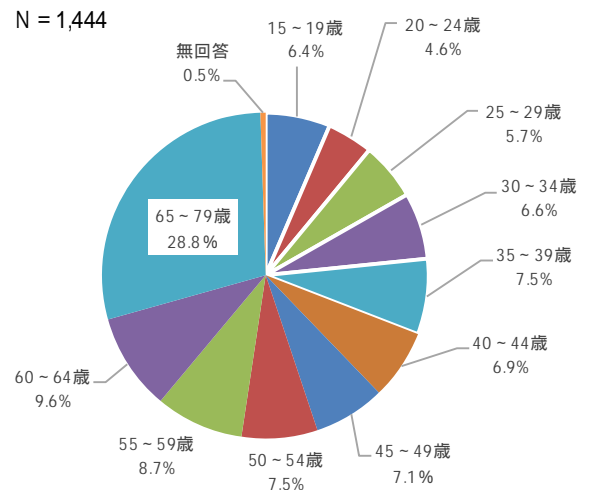
性別

女性比率が半数を超えている (53.9%)



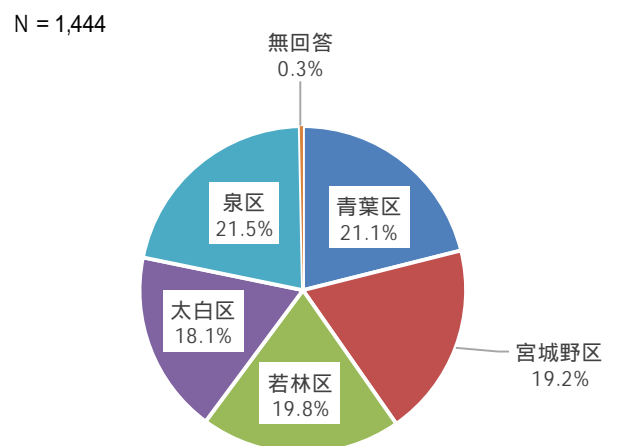
年齢 (年代)

「65~79歳」が3割弱 (28.8%) で最多。その他の年代は、多少の差はあるものの、数値的に分散している。



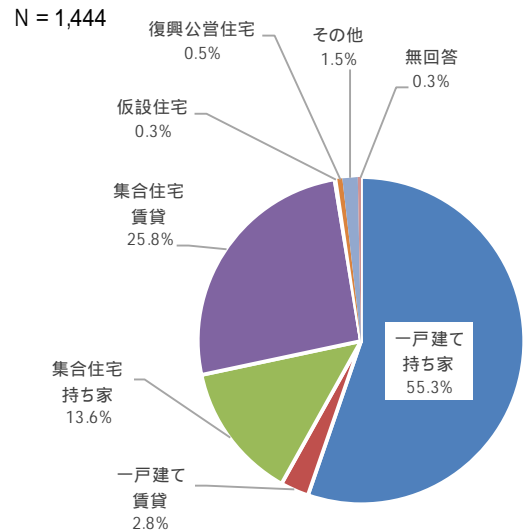
居住区

各区ほぼ同等の数値であるが、「泉区」(21.5%)、「青葉区」(21.1%)で2割を超えている。



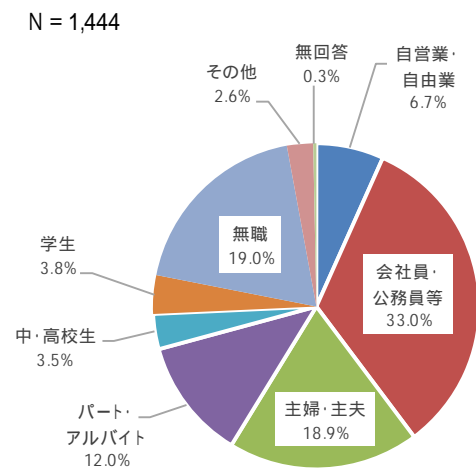
住居形態

「一戸建て持ち家」(55.3%)が半数を超え最多。次点は「集合住宅賃貸」(25.8%)となっており、この2項目で全体の8割強(計81.1%)を占める。



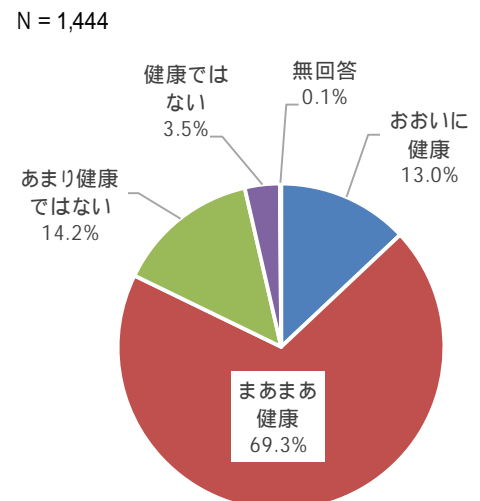
職業

最多は「会社員・公務員等」(33.0%)で、以下「無職」(19.0%)、「主婦・主夫」(18.9%)と続く。「学生」(中・高校生+学生)は併せても1割に満たない(計7.3%)。



健康か否か

「健康」(おおいに健康+まあまあ健康)だと自覚している方は8割強(計82.3%)いる一方で、「健康ではない」(あまり健康ではない+健康ではない)は2割弱である(計17.7%)。

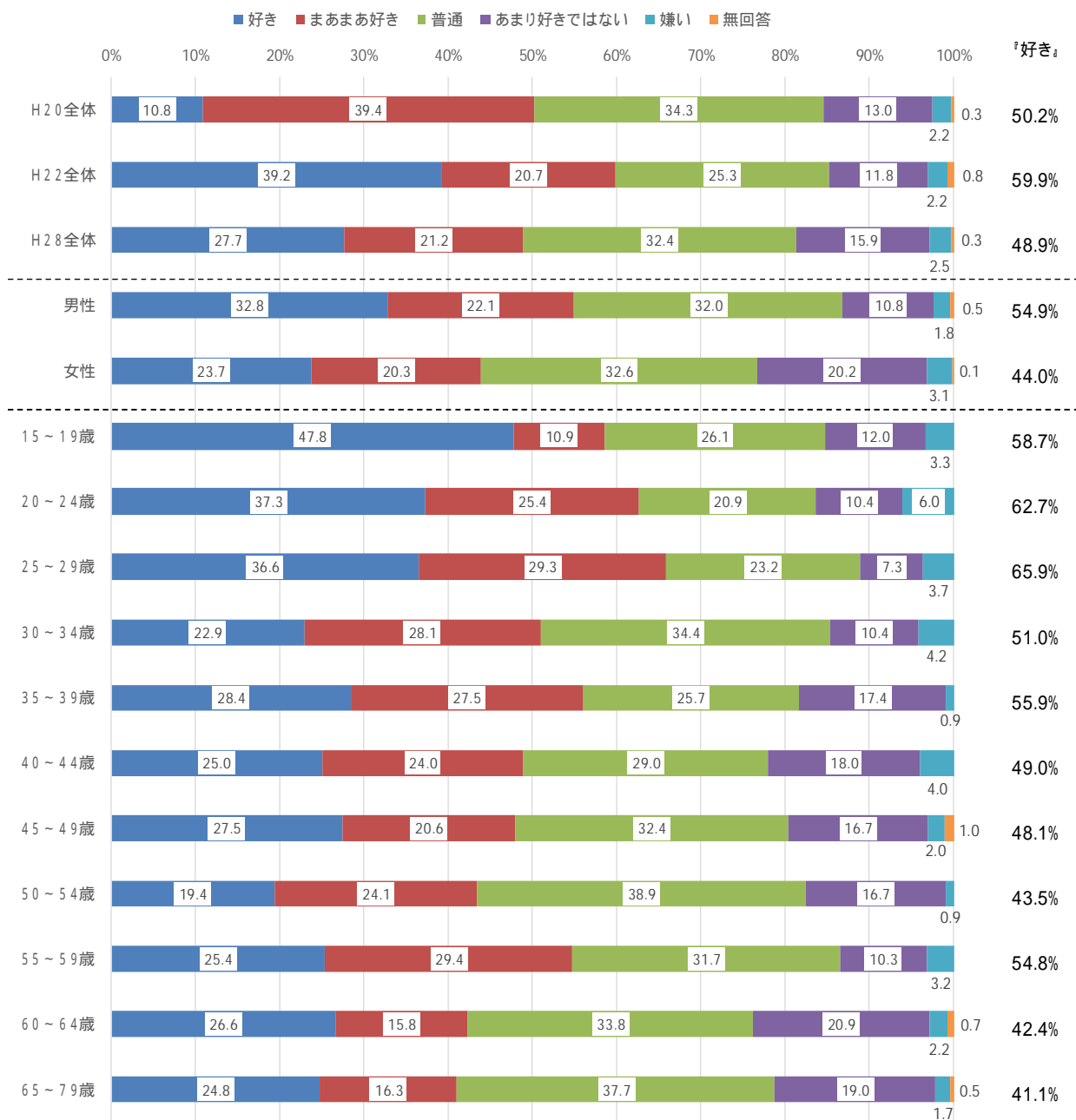


問1. 運動やスポーツをすることが好きか (S A)

「好き」の割合はH22年度より低下。H20年度並みの5割弱にとどまる
 女性で「嫌い」が1/4近くを占める
 30代以下の若い年代層で「好き」の割合が6割前後と高い

全体で見ると、今回は前回 (H22年度: 計 59.9%) から「好き」(好き+まあまあ好き)の割合が低下、前々回並み (H20年度: 計 50.2%) の数値となり、5割を切っている (計 48.9%)。女性では男性よりスポーツへの好感度が低く、「嫌い」(あまり好きではない+嫌い)が回答者の1/4近くを占める (計 23.3%)。年代別に見ると、30歳未満の若い年代層で「好き」の割合が6割前後と高くなっている。一方で、60歳以上の高齢層では「嫌い」の割合がやや高く、2割を超えている。

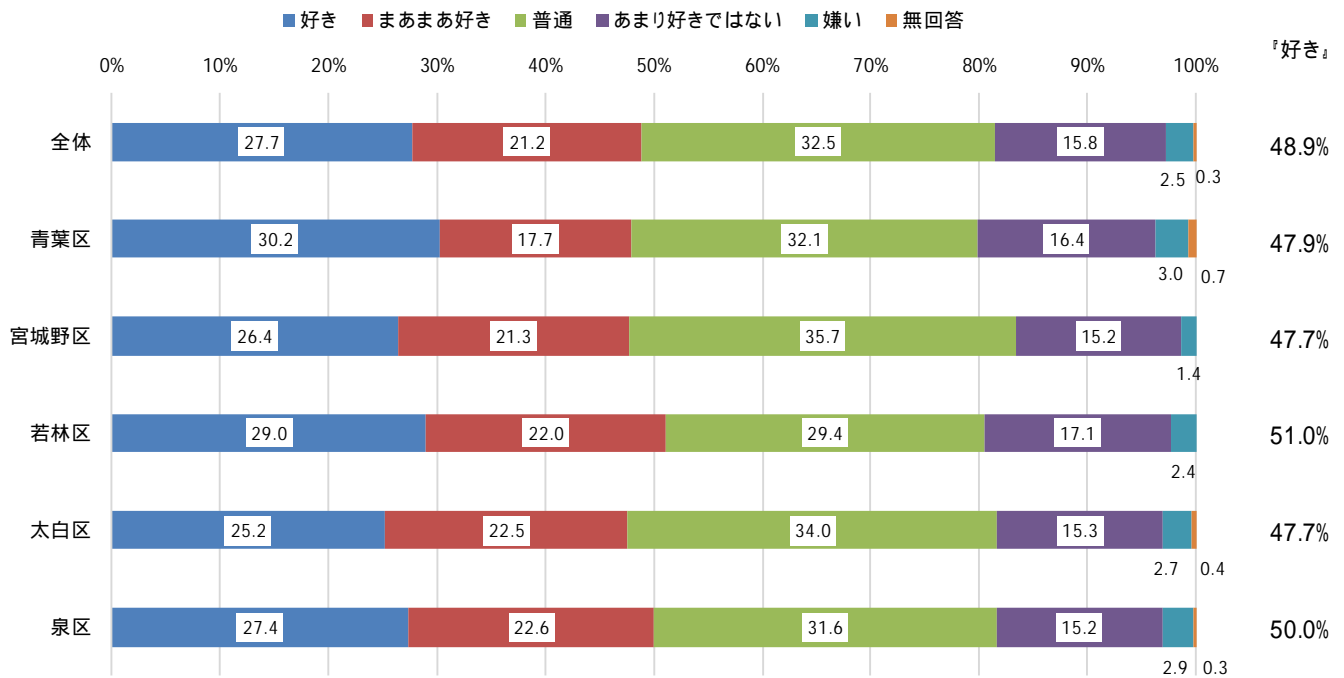
H20年度の選択肢は「非常に好き」、「まあまあ好き」、「普通」、「あまり好きではない」、「嫌い」となっている



[H20 : N = 1,143 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

運動やスポーツをすることが好きか ~ 居住区別の比較 ~

居住区別に見ると、「好き」はどの区もほぼ同じような割合であるが、若林区(計51.0%)、泉区(計50.0%)では5割となっている。



問2. スポーツ観戦が好きか (SA)

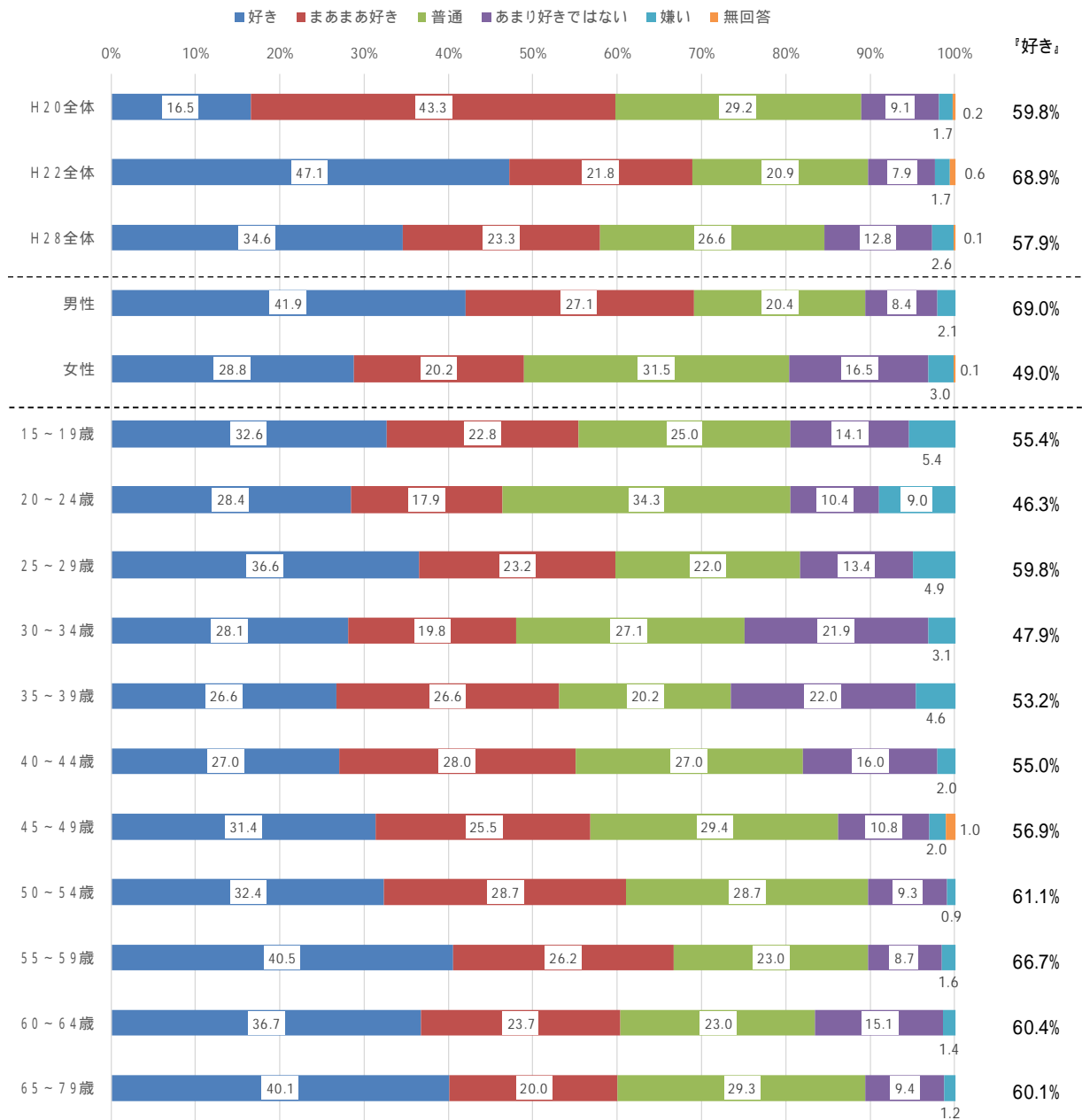
「好き」は6割弱。「嫌い」がこれまでで最も高い15%
 男性では「好き」が7割の一方、女性では5割にとどまる
 50歳以上の層で「好き」が6割を超える

全体で見ると、今回は前回 (H22年度: 計 68.9%) から「好き」(好き+まあまあ好き)の割合が1割強低下して過去最少 (計 57.9%) になったことに加え、「嫌い」(あまり好きではない+嫌い) は計 15.4% で過去最高となっている。

男性では「好き」が7割 (計 69.0%) と非常に高い。一方女性では、「好き」が5割 (計 49.0%) にとどまる上、「嫌い」が2割に達している (計 19.5%)。

年代別に見ると、前問1 (P5参照) とは違い、50歳以上の層で「好き」の割合が高く、6割を超えている。一方、30代では「嫌い」が回答者の1/4を占めている。

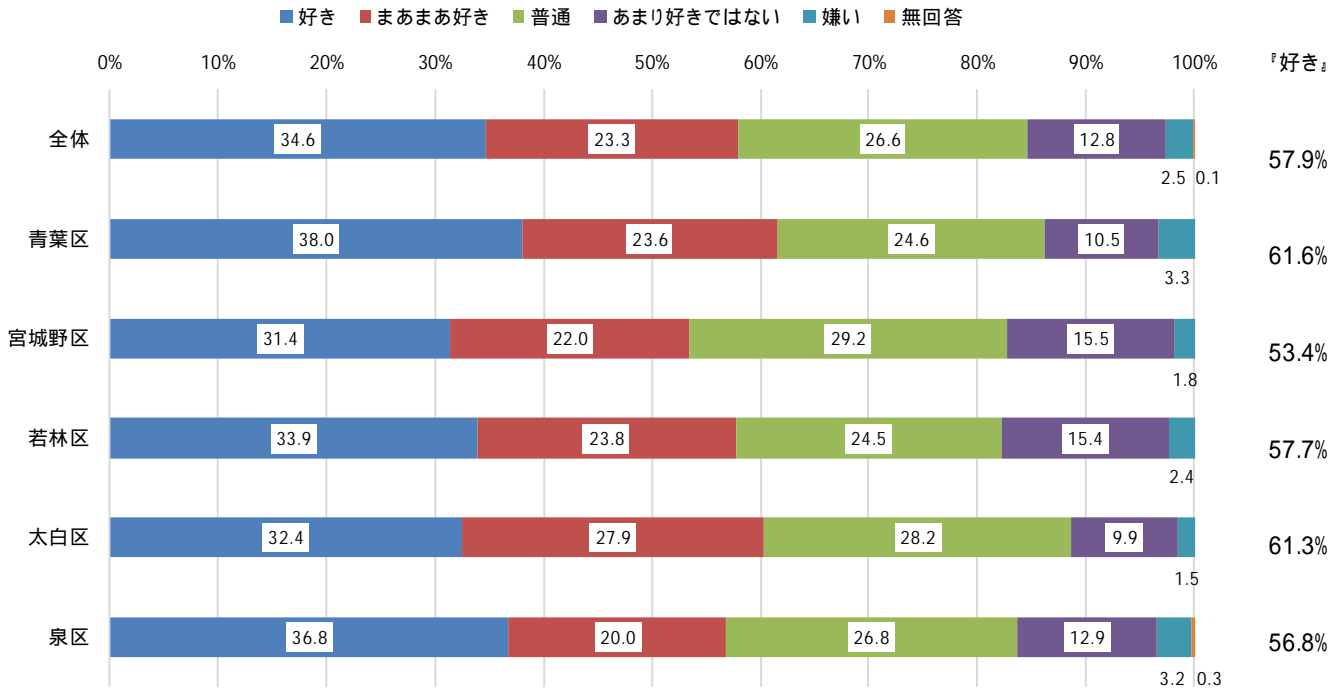
H20年度の選択肢は「非常に好き」、「まあまあ好き」、「普通」、「あまり好きではない」、「嫌い」となっている



[H20 : N = 1,143 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

スポーツ観戦が好きか ～ 居住区別の比較 ～

居住区別に見ると、青葉区（計 61.6%）、太白区（計 61.3%）で「好き」が6割を超えている。
また太白区では、「嫌い」の割合が他区に比べてやや低い（計 11.4%）。



問3. 1日あたりの平均歩数（数値回答） 【H28年度新規設定の設問】

集計表 は全体及び男女別の数値の表、集計表 は年代別の数値の表である。

全体、及び男女とも、最大値と最小値の差がかなりある。

女性（4,885歩）は男性（5,351歩）に比べ、平均歩数が500歩近く少ない。

（集計表）

前出男女別結果と同様、年代を問わず最大値と最小値の差がかなりある上、当然ながら、年代による差も見受けられる。

一番若い年代の15～19歳では平均歩数が7,000歩近くに達している（6,837歩）のに対し、最高齢である65歳以上の層では4,000歩を少し超える程度（4,195歩）となっており、この2つの年代では2,600歩ほどの差が存在する。基本的に、年代が上がるにつれて歩数がゆるやかに少なくなっていく傾向が見られるが、30～39歳では、前後の年代層に比べて若干少なくなっている（5,331歩）。

（集計表）

集計表

単位：歩

	全体	男性	女性
最大値	50,000	50,000	50,000
最小値	30	200	30
平均値	5,100	5,351	4,885

集計表

単位：歩

	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
最大値	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	15,000	30,000
最小値	500	500	300	200	30	300	30
平均値	6,837	5,530	5,331	5,521	5,465	4,655	4,195

問4. 直近1年間のスポーツの実施状況 (SA)

**「スポーツを行った」は今回初めて5割を下回った
男女とも「スポーツを行った」の割合は前回よりも低下。中でも男性の下落幅が大きい
30代以上の層では「スポーツを行った」が軒並み5割を切っている**

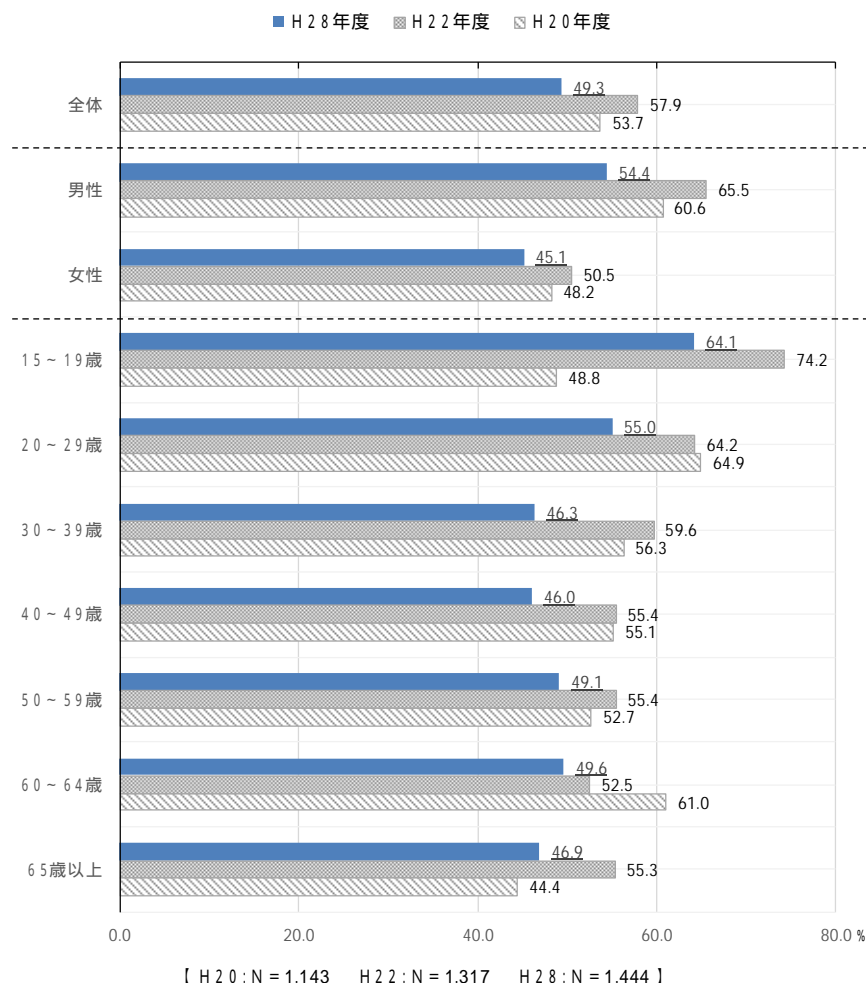
全体で見ると、今回初めて5割を切り(49.3%)、前回(H22年度:57.9%)より10%近くも低くなっている。

男女別に見ると、前問1(P5参照)・問2(P7参照)の結果と同様、当『スポーツの実施状況』も男性の割合が高いが、今回は男女ともに過去最少となっており。中でも男性では前回(H22年度)からの下落幅が大きい(65.5%→54.4%)。

年代別で見ると、30代以上の層で軒並み5割を切っている。一番若い15~19歳の層では、前回(H22年度:74.2%)からは低下したものの、全年代で唯一6割を超えている(64.1%)。また30~39歳の層では、前回(H22年度)からの下落幅が1割を超え、最も大幅に低下した年代となった(59.6%→46.3%)。60~64歳の層は、唯一実施年度ごとの減少傾向が見られるため、注意する必要がある。

当設問では、過去2回と同一基準で比較を行うため、「年代」を統合・集約した上で集計・分析を行っている

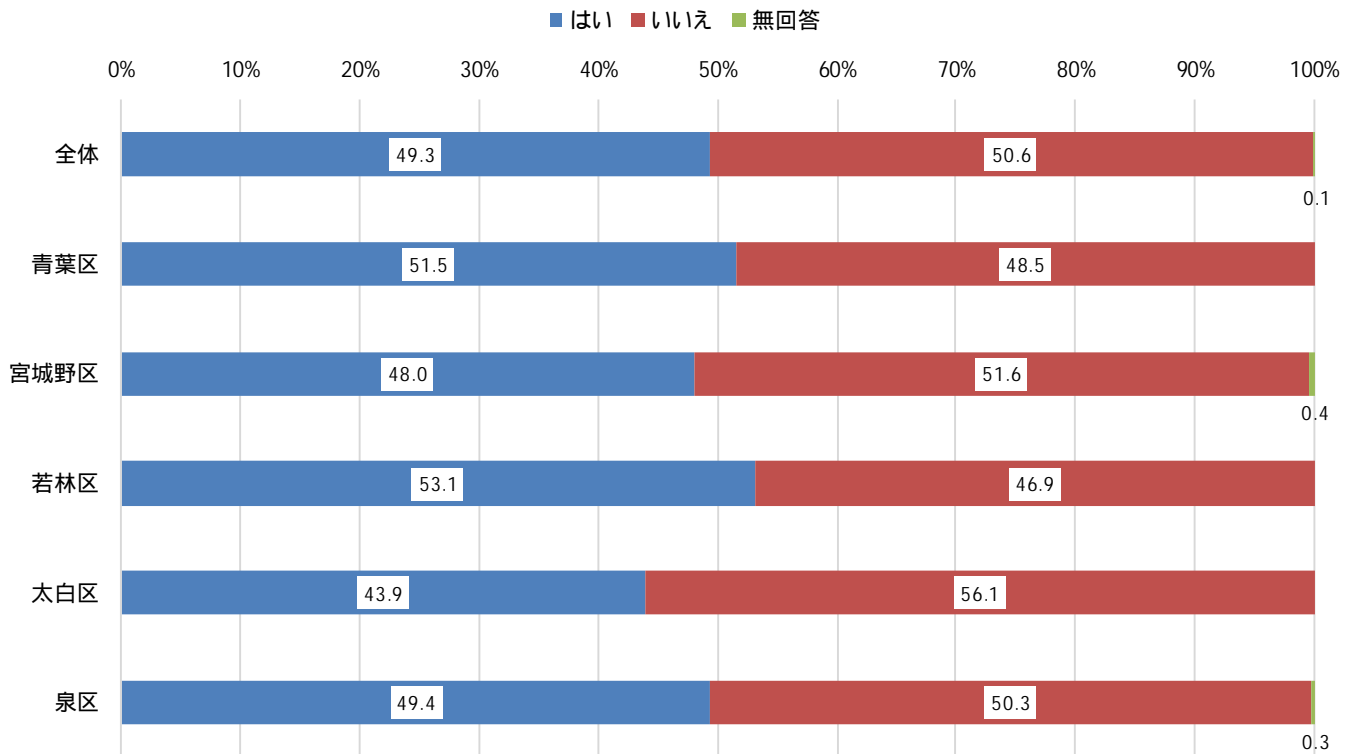
	H28年度		
	はい	いいえ	無回答
全体	49.3%	50.7%	0.1%
男性	54.4%	45.6%	0.0%
女性	45.1%	54.6%	0.3%



「はい(スポーツを行った)」のみを抽出したグラフである

直近1年間のスポーツの実施状況 ～ 居住区別の比較 ～

居住区別に見ると、若林区（53.1%）、青葉区（51.5%）で「はい」（スポーツを行った）が半数を超えている。
 その他の3区は「いいえ」（スポーツを行っていない）が5割を超えているが、中でも太白区（56.1%）の割合が大きい。



問5. 直近1年間のスポーツの実施回数・実施頻度（SA）

「週1回以上」の高頻度実施層は過去最高の63.1%

当設問は実施年度により回答対象者及び選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。よってここでは、H28単年度結果（集計表）及び選択肢の統合等を行った上でほぼ同じ条件で集計をした結果（集計表）について言及する。

今回の結果を見ると、「週1回以上」（ほとんど毎日＋週1～2回程度）の“高頻度”実施層は前回（H22年度：62.8%）よりごくわずかではあるが高くなっており、過去最高の数値となっている（63.1%）。前問4（P10参照）で今回のスポーツの実施状況は過去2回に比べて芳しくないという結果が出たが、少なくとも今回のスポーツ実施者における実施回数・実施頻度は、これまでと同等以上に高くなっていると考えることができる。

集計表（H28単年度結果）

カテゴリ	H28年度	
	件数	%
ほとんど毎日	158	22.2
週に1～2回程度	291	40.9
月に1～2回程度	151	21.2
年に1～2回程度	69	9.7
その他	33	4.6
無回答	10	1.4
合計	712	100.0

集計表（参考：過去年度結果との比較）

カテゴリ	H28年度		H22年度	H20年度
	件数	%	%	%
週1回以上	449	63.1	62.8	55.4
月1回以上	151	21.2	20.3	27.4
年1回以上	69	9.7	15.6	15.6
その他	33	4.6	-	-
無回答	10	1.4	1.6	1.6
合計	712	100.0	100.0	100.0

H20・22年度「その他」は未設定

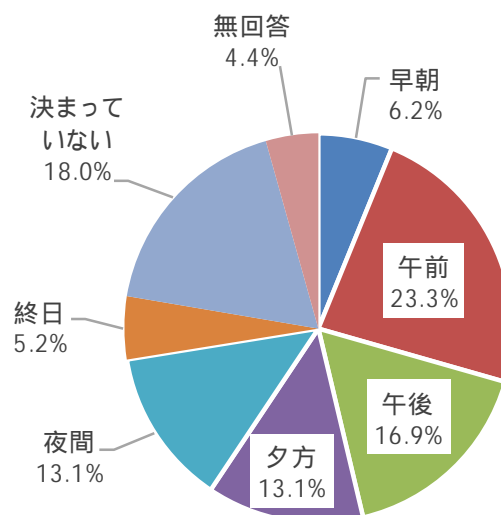
問6. スポーツを行う時間帯（SA） 【H28年度新規設定の設問】

**最多は「午前」の2割強。「決まっていない」も2割弱存在。全体として分散の傾向
夜間まで含めた“午後”にスポーツを行う方が4割を超える**

個別に見ると、最多は「午前」で2割強（23.3%）、以下「決まっていない」（18.0%）、「午後」（16.9%）、「夕方」・「夜間」（いずれも13.1%）と続く。特に大きく割合が集中している時間帯はなく、おしなべて分散の傾向が見られる。

1日を大まかな2つの区分に分けて見ると、“午前”（早朝+午前）は3割（計29.5%），“午後”（午後+夕方+夜間）は4割強（計43.1%）となっている。

性別や年代、職業、取り組んでいる競技等、考慮すべき背景はあるが、「終日」という強者も5%存在する（5.2%）。

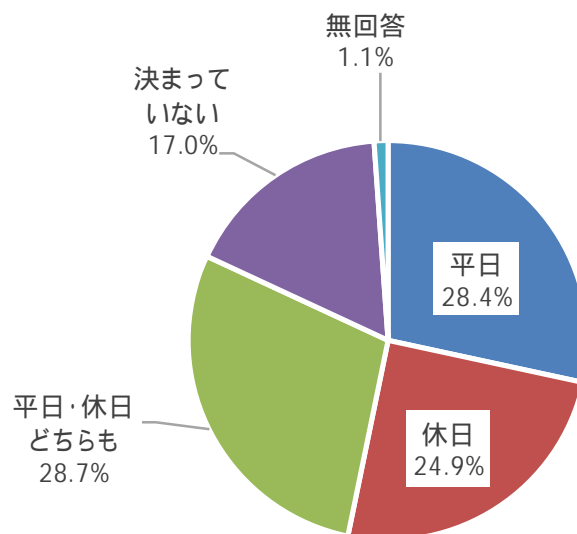


問7. スポーツを行う曜日（SA） 【H28年度新規設定の設問】

最多は「平日・休日どちらも」だが、他の曜日と特に大きな差はない

「平日・休日どちらも」(28.7%)が最多で、以下「平日」(28.4%)、「休日」(24.9%)、「決まっていない」(17.0%)の順となっている。

「決まっていない」を除くと、全ての項目（曜日）がほぼ同等の割合で、大きな差はない。



問8. スポーツを行う時間（SA）

「30分～2時間」で回答者の7割近くを占める

当設問は今回と前回（H22年度）では選択肢内容が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。よってここでは、H28単年度結果（集計表）及び選択肢の統合等を行った上でほぼ同じ条件で集計をした結果（集計表）について言及する。

今回の最多は「30分～1時間」（34.6%）で、僅差で「1～2時間」（34.0%）が続く。この2項目（実施時間 30分～2時間）で回答者の7割近くを占める（計68.6%）。

この他、「2時間以上」の層も2割存在する（19.8%）。

前回（H22年度）結果と比べると、「1時間以内」では前回の方が高い（H22年度：計49.2%・H28年度：計45.4%）が、「1時間以上」で見ると、今回の方がやや高くなっている（H22年度：49.0%・H28年度：計53.8%）。

集計表（H28単年度結果）

カテゴリ	H28年度	
	件数	%
30分以内	77	10.8
30分～1時間	246	34.6
1～2時間	242	34.0
2時間以上	141	19.8
無回答	6	0.8
合計	712	100.0

集計表（参考：過去年度結果との比較）

N = 762

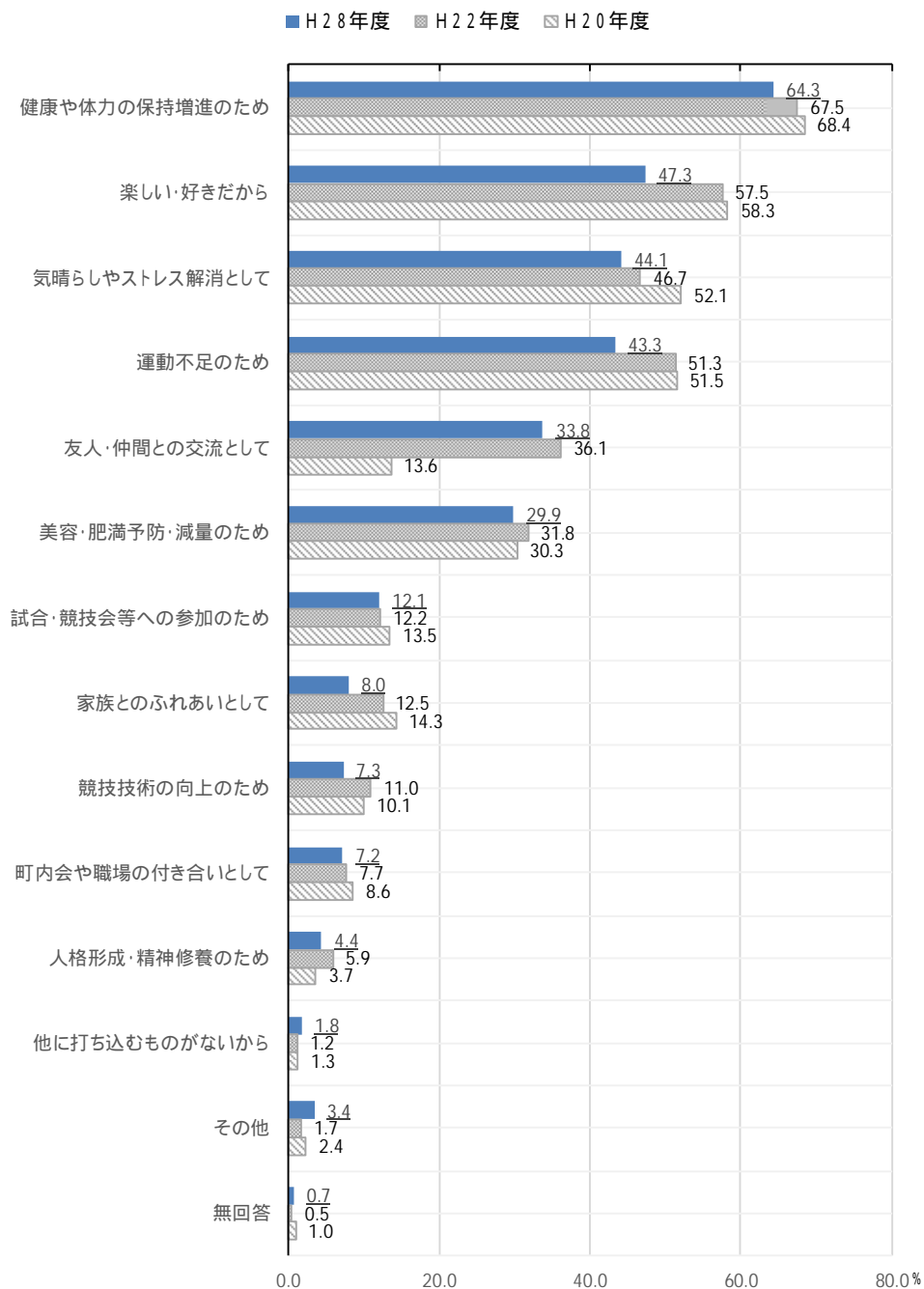
カテゴリ	H28年度		H22年度
	件数	%	%
30分以内	77	10.8	12.6
30分～1時間	246	34.6	36.6
1時間以上	383	53.8	49.0
無回答	6	0.8	1.8
合計	712	100.0	100.0

問9. スポーツを行った理由 (MA)

全体の順位に大きな変動はなく、今回も「健康・体力の保持増進」が最多
 「美容等のため」・「試合等への参加のため」・「町内会等の付き合いとして」は
 年度による数値変化が少ない

全体として見ると、項目別の順位に過去2回との大きな違いはなく、今回も「健康や体力の保持増進のため」が最多となっている(64.3%)。違いは以下の順位の項目と割合が開いていることで、2位の「楽しい・好きだから」(47.3%)とは17ポイントの差がついている。

どの項目も過去年度から数値を落としている中、「美容・肥満予防・減量のため」(29.9%)、「試合・競技会等への参加のため」(12.1%)、「町内会や職場の付き合いとして」(7.2%)は、多少の変動はあるものの、年度ごとの数値変化が少ないことが分かる。



[H20 : N = 614 H22 : N = 762 H28 : N = 712]

問9. スポーツを行った理由 ~ 男女別・年代別の比較 ~

男女別に見ると、1位は共通であるが、2位の順位に違い・特徴が現れており、女性では「運動不足のため」(47.3%)が2位となっている。また、「美容・肥満予防・減量のため」は女性の方で10ポイント以上高い(男性:23.2%・女性:36.8%)。

年代別で見ると、大まかな年代別に特徴が見られ、一番若い年代である15~19歳の層では、「楽しい・好きだから」(64.4%)、「友人・仲間との交流として」(52.5%)が高い。20~50代前半の層では「気晴らしやストレス解消として」が高くなっている。50歳以上の層では、「健康や体力の保持増進のため」の割合が一際高く、7~8割にも達している。

単位:%

	健康や体力の保持増進のため	楽しい・好きだから	気晴らしやストレス解消として	運動不足のため	友人・仲間との交流として	美容・肥満予防・減量のため	試合・競技会等への参加のため	家族とのふれあいとして	競技技術の向上のため	町内会や職場の付き合いとして	人格形成・精神修養のため	他に打ち込むものがないから	その他	無回答
全体	64.3	47.3	44.1	43.3	33.8	29.9	12.1	8.0	7.3	7.2	4.4	1.8	3.4	0.7
男性	62.5	52.9	43.4	39.5	36.4	23.2	16.2	7.3	10.1	9.8	5.9	1.4	3.1	0.6
女性	66.1	41.3	45.0	47.3	31.3	36.8	7.7	8.5	4.6	4.6	2.6	2.3	3.7	0.9
15~19歳	32.2	64.4	32.2	18.6	52.5	16.9	35.6	1.7	27.1	1.7	8.5	3.4	6.8	-
20~24歳	52.6	39.5	50.0	34.2	42.1	39.5	21.1	-	5.3	5.3	10.5	-	5.3	2.6
25~29歳	50.0	59.1	68.2	36.4	36.4	29.5	13.6	9.1	4.5	6.8	11.4	2.3	2.3	-
30~34歳	58.7	39.1	52.2	45.7	21.7	47.8	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3	2.2	2.2	-
35~39歳	44.9	49.0	57.1	53.1	28.6	46.9	8.2	20.4	8.2	4.1	2.0	4.1	2.0	-
40~44歳	53.1	46.9	55.1	36.7	24.5	28.6	10.2	24.5	10.2	10.2	6.1	2.0	4.1	-
45~49歳	56.8	54.5	47.7	29.5	31.8	25.0	11.4	13.6	2.3	13.6	4.5	-	2.3	-
50~54歳	70.8	47.9	60.4	45.8	31.3	35.4	8.3	12.5	4.2	10.4	2.1	-	-	-
55~59歳	70.1	52.2	41.8	55.2	29.9	37.3	9.0	3.0	6.0	4.5	1.5	-	3.0	1.5
60~64歳	82.6	36.2	31.9	53.6	30.4	27.5	5.8	2.9	5.8	1.4	1.4	1.4	2.9	-
65~79歳	80.0	43.1	32.8	47.2	36.4	21.5	8.2	4.6	5.1	10.8	3.1	2.6	4.1	1.5

第1位の項目
 第2位の項目
 第3位の項目

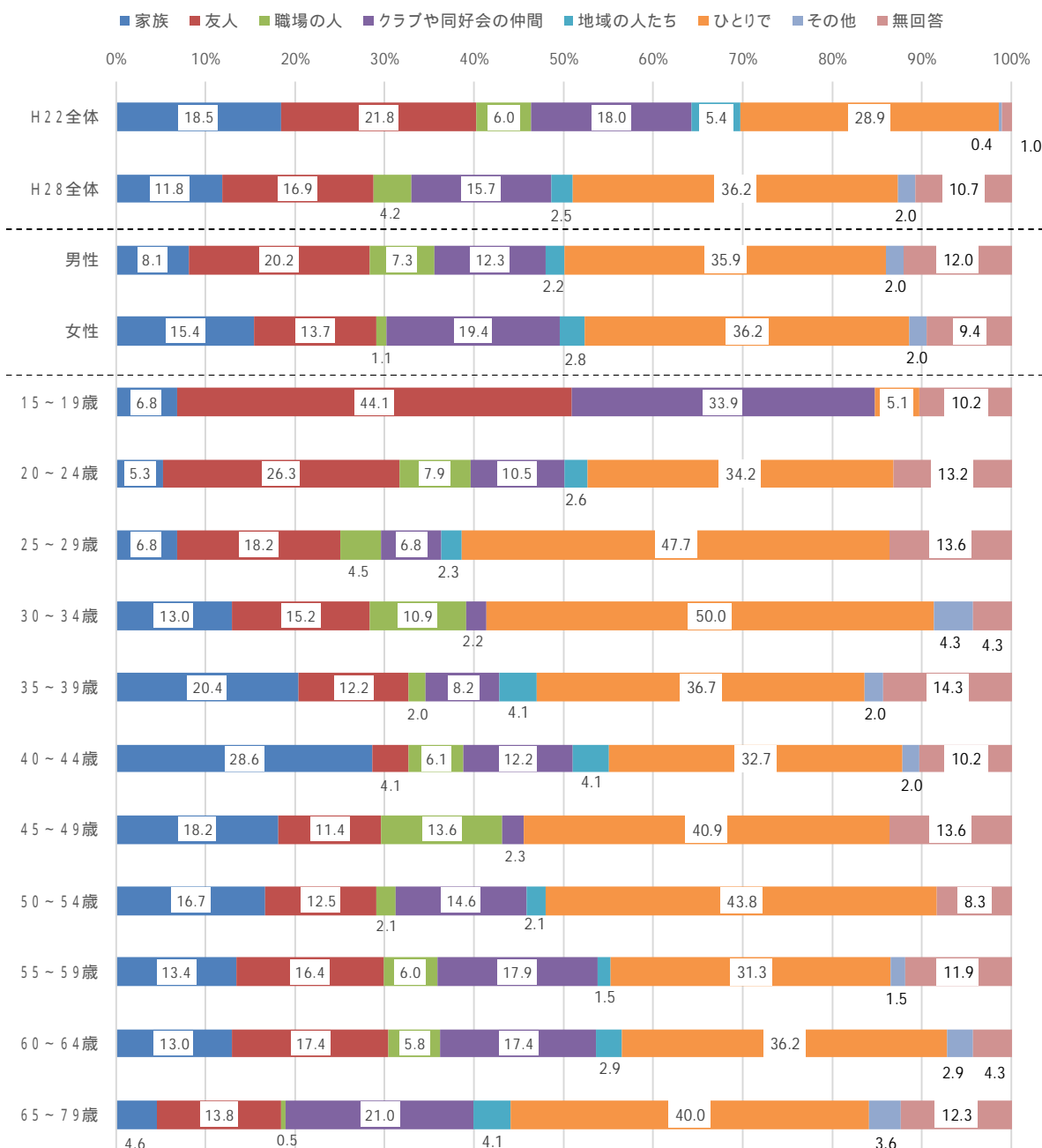
問10. スポーツを行う際の随伴者（SA）

「ひとりで」行うケースが最も多く、その割合はかなり拡大している
 女性では「クラブ等の仲間」・「家族」と行うケースが多い
 15～19歳では「友人」・「クラブ等の仲間」が群を抜いて高い

全体で見ると、前回同様1位は「ひとりで」であるが、今回（36.2%）は前回（H22年度：28.9%）に比べてその割合がかなり拡大している。

男女別に見ると、女性では「クラブや同好会の仲間」（19.4%）「家族」（15.4%）の割合が男性よりも高い。一方男性では、「友人」（20.2%）が女性よりも高く2割となっている。

年代別で見ると、一番若い年代である15～19歳で、部活やサークル活動を背景とした「友人」（44.1%）「クラブや同好会の仲間」（33.9%）が圧倒的に高く、この2項目だけで回答者の8割近くを占める。他年代では多い「ひとりで」は1割に満たない（5.1%）。30～34歳（50.0%）、25～29歳（47.7%）では「ひとりで」が5割ほどで高い。40～44歳では「家族」が群を抜いて高い（28.6%）。



【 H22 : N = 762 H28 : N = 712 】

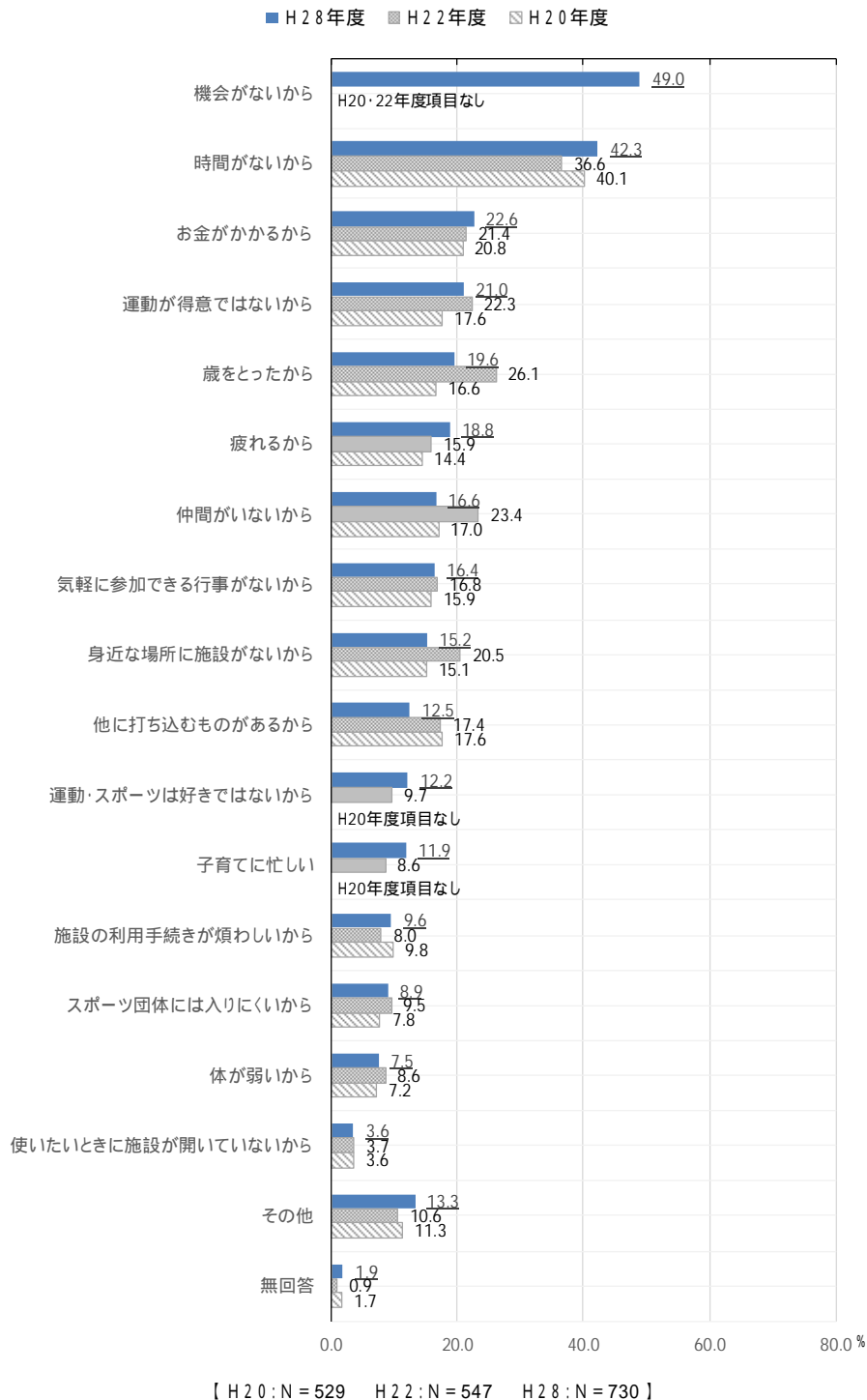
問 1 1 . スポーツを行わなかった理由 (M A)

今回は「機会がない」・「時間がない」が2大理由
 「お金がかかる」・「疲れる」・「子育てに忙しい」は過去最大となっている

当設問は実施年度により選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

全体で見ると、今回は「機会がないから」(49.0%)、「時間がないから」(42.3%)が2大理由となっており、他の項目との割合の差が大きい。

「お金がかかるから」(22.6%)、「疲れるから」(18.8%)、「子育てに忙しい」(11.9%)はわずかではあるが過去2回の結果を上回っており、過去最大の数値となっている。



問 1 1 . スポーツを行わなかった理由 ~ 男女別・年代別の比較 ~

男女別に見ると、1・2位の順位は同じだが、3位のみ違っている。女性は全体順位と全く同じであるが、男性では「歳をとったから」(26.4%)が3位となっている。

年代別で見ると、ある意味当然とも言えるが、最高齢の65～79歳では「歳をとったから」(34.5%)が最多となっている。両極にある一番若い15～19歳では、「機会がないから」、「時間がないから」(ともに63.6%)が同割合、かつ他項目より抜きん出て高くなっている。20～30代の層では「子育てに忙しい」が3～4割にも達している。

同じ“勤労者”の層でも、年代による差異が見られ、30～40代は「時間がないから」が1位のケースが多く、50～60代前半では「機会がないから」が1位となっている。

単位：%

	機会がないから	時間がないから	お金がかかるから	運動が得意ではないから	歳をとったから	疲れるから	仲間がいないから	気軽に参加できる行事がないから	身近な場所に施設がないから	他に打ち込むものがあるから	運動・スポーツは好きではないから	子育てに忙しい	施設の利用手続きが煩わしいから	スポーツ団体には入りにくいから	体が弱いから	使いたいときに施設が開かないから	その他	無回答
全体	49.0	42.3	22.6	21.0	19.6	18.8	16.6	16.4	15.2	12.5	12.2	11.9	9.6	8.9	7.5	3.6	13.3	1.9
男性	50.2	40.8	17.7	13.7	26.4	19.4	17.7	14.7	15.4	12.7	8.0	5.7	8.4	8.7	8.7	3.3	11.0	1.7
女性	48.5	43.3	26.1	25.9	15.1	18.4	16.0	17.9	15.3	12.5	15.3	16.5	10.6	9.2	6.8	3.8	14.8	1.9
15～19歳	63.6	63.6	12.1	33.3	-	24.2	3.0	9.1	12.1	21.2	21.2	-	9.1	9.1	3.0	3.0	6.1	-
20～24歳	69.0	44.8	6.9	31.0	-	31.0	20.7	10.3	24.1	20.7	20.7	10.3	3.4	6.9	6.9	-	6.9	-
25～29歳	57.9	42.1	18.4	28.9	10.5	18.4	26.3	18.4	5.3	10.5	21.1	31.6	5.3	7.9	2.6	-	10.5	5.3
30～34歳	62.0	66.0	36.0	14.0	2.0	18.0	28.0	14.0	20.0	12.0	16.0	46.0	14.0	12.0	-	8.0	2.0	-
35～39歳	51.7	58.3	28.3	23.3	5.0	28.3	20.0	18.3	11.7	3.3	11.7	43.3	16.7	10.0	3.3	1.7	15.0	-
40～44歳	51.0	58.8	27.5	19.6	9.8	17.6	21.6	13.7	15.7	7.8	17.6	25.5	11.8	11.8	3.9	2.0	11.8	2.0
45～49歳	56.1	63.2	45.6	17.5	12.3	19.3	14.0	14.0	17.5	10.5	7.0	12.3	14.0	15.8	3.5	5.3	7.0	-
50～54歳	61.7	48.3	36.7	20.0	20.0	25.0	16.7	28.3	16.7	11.7	10.0	5.0	13.3	15.0	6.7	3.3	10.0	-
55～59歳	59.3	55.9	25.4	11.9	28.8	16.9	22.0	20.3	20.3	6.8	5.1	-	8.5	10.2	5.1	6.8	13.6	1.7
60～64歳	45.7	37.1	20.0	24.3	24.3	11.4	18.6	20.0	12.9	17.1	14.3	-	12.9	10.0	8.6	5.7	17.1	2.9
65～79歳	31.4	16.4	11.4	19.5	34.5	14.5	10.0	13.6	14.5	14.5	9.1	-	5.0	3.6	14.5	2.7	19.5	3.2

第1位の項目
 第2位の項目
 第3位の項目

問12. スポーツを行うために必要なきっかけ（MA）

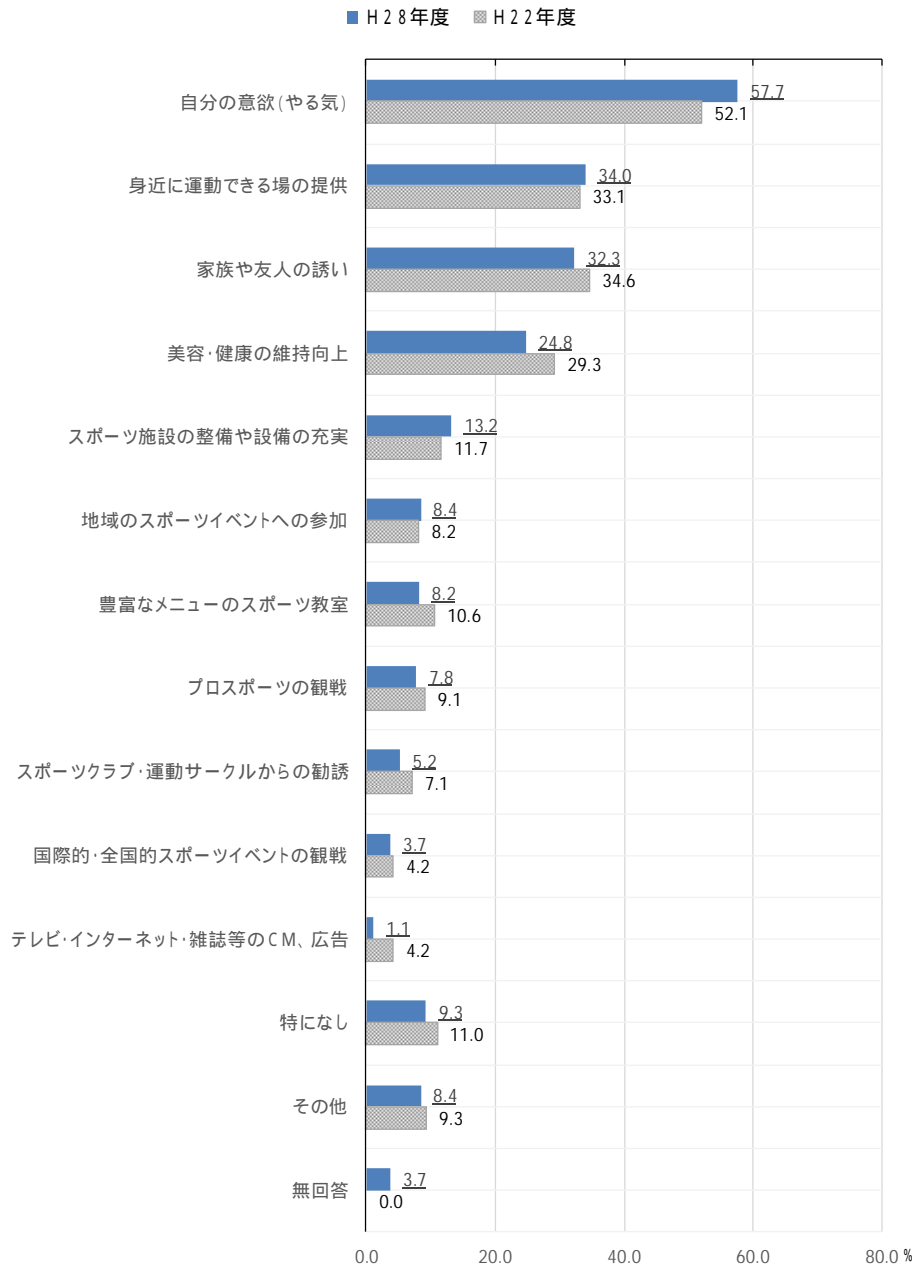
「自分の意欲（やる気）」は6割弱で前回は上回る どの項目も全体的に前回と大きな差は生じていない

全体として見ると、前回（H22年度）と順位や項目別割合に特に大きな差異は生じていない。

ただし、1位の「自分の意欲（やる気）」は前回以上に割合が高くなっており（H22年度：52.1%・H28年度：57.7%）、2位以下の項目との差も開いていることから、今回の場合、他者や周囲の環境ではなく、“自分次第”であると認識している方が多いことが分かる。

増減問わず、前回とさほど割合が変わらない中、「美容・健康の維持向上」（H22年度：29.3%・H28年度：24.8%）「テレビ・インターネット・雑誌等のCM、広告」（H22年度：4.2%・H28年度：1.1%）で今回の下がり幅がやや大きい。

また「身近に運動できる場の提供」（H22年度：33.1%・H28年度：34.0%）「スポーツ施設の整備や設備の充実」（H22年度：11.7%・H28年度：13.2%）「地域のスポーツイベントへの参加」（H22年度：8.2%・H28年度：8.4%）は若干ではあるが前回より増加している。



【 H22 : N = 547 H28 : N = 730 】

問13. 直近1年間に行ったスポーツ

実施の1位は「ウォーキング・散歩」で、今後の実施意向もTOP
 今後実施したい競技の1位は「ジムトレーニング」
 全ての項目でこの2競技が1・2位を占める

直近1年間に行ったスポーツは「ウォーキング・散歩」(29.8%)が飛び抜けて高く、以下「ジムトレーニング」(9.5)「ゴルフ」(7.5%)の順となっている。

直近1年間に行っており、今後も続けたいスポーツは、直近1年間に行ったスポーツと順位は全く同じで、「ウォーキング・散歩」(24.9%)「ジムトレーニング」(8.7%)「ゴルフ」(6.5%)となっており、やはり「ウォーキング・散歩」の支持割合が非常に高い。

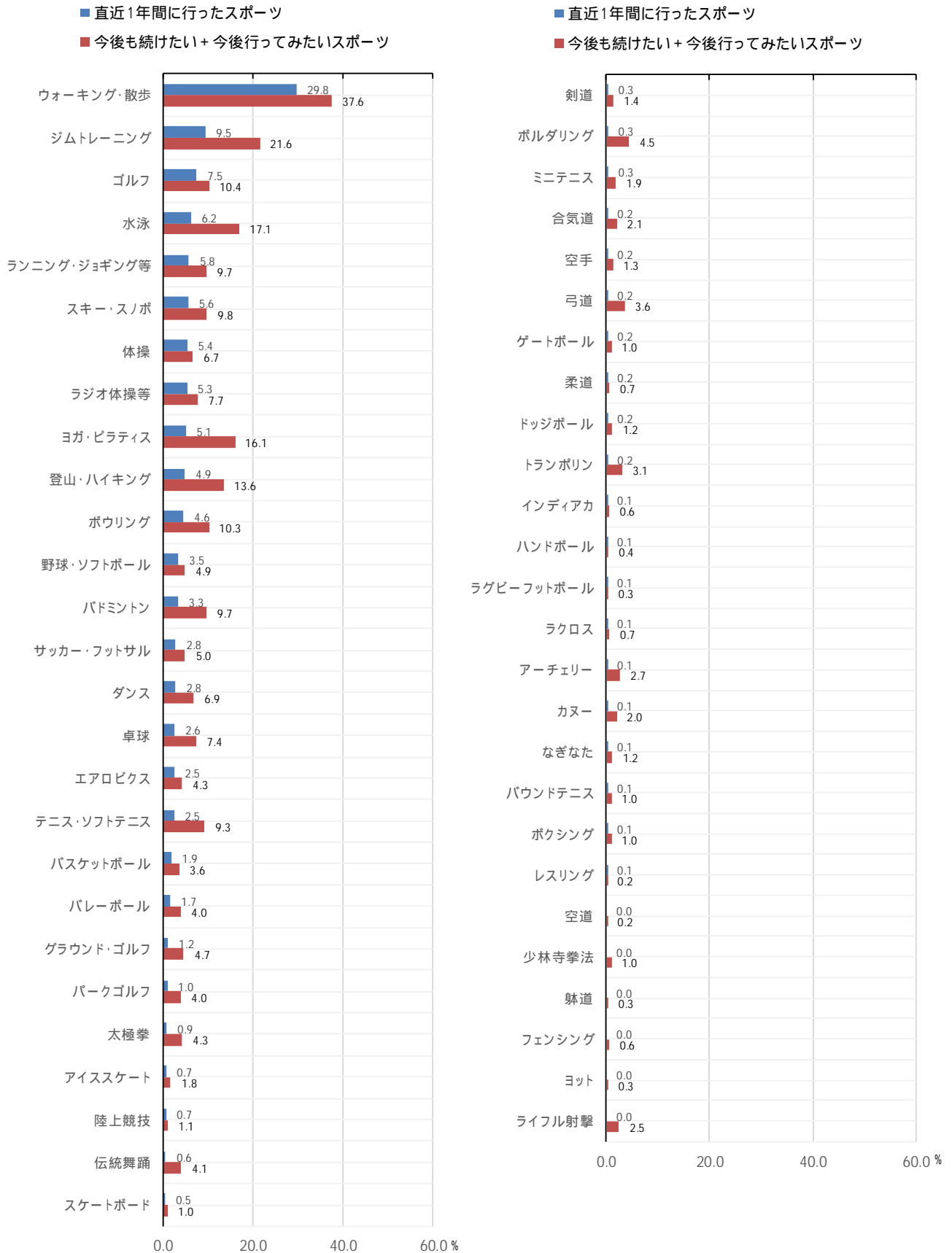
直近1年間で行っていないが、今後行ってみたいスポーツは、ここで初めて順位・項目に変動があり、「ジムトレーニング」(12.9%)「ウォーキング・散歩」(12.7%)「ヨガ・ピラティス」(11.9%)の順となっているが、各項目の支持割合は非常に僅差となっている。

今後も続けたい、今後行ってみたいスポーツは、「ウォーキング・散歩」(37.6%)「ジムトレーニング」(21.6%)の2競技が非常に強く、「水泳」(17.1%)「ヨガ・ピラティス」(16.1%)がほぼ同割合で上位2競技に続く。

各項目を見ると、高額な用具や料金、高度な技術等をあまり必要としない競技が上位を占めており、健康や美容の維持、体力増進等を目的として行っている、または行おうとしている様子が伺える。

順位	問13			問13								
	(イ)			(ロ)			(ハ)			(ニ) = (ロ) + (ハ)		
	直近1年間に行ったスポーツ			直近1年間に行っており、今後も続けたいスポーツ			直近1年間で行っていないが、今後行ってみたいスポーツ			今後も続けたい、今後行ってみたいスポーツ		
	競技名	人	%	競技名	人	%	競技名	人	%	競技名	人	%
1	ウォーキング・散歩	431	29.8	ウォーキング・散歩	359	24.9	ジムトレーニング	186	12.9	ウォーキング・散歩	543	37.6
2	ジムトレーニング	137	9.5	ジムトレーニング	126	8.7	ウォーキング・散歩	184	12.7	ジムトレーニング	312	21.6
3	ゴルフ	108	7.5	ゴルフ	94	6.5	ヨガ・ピラティス	172	11.9	水泳	247	17.1
4	水泳	90	6.2	水泳	80	5.5	水泳	167	11.6	ヨガ・ピラティス	233	16.1
5	ランニング・ジョギング等	84	5.8	スキー・スノボ	72	5.0	登山・ハイキング	136	9.4	登山・ハイキング	196	13.6
6	スキー・スノボ	81	5.6	ランニング・ジョギング等	71	4.9	テニス・ソフトテニス	103	7.1	ゴルフ	150	10.4
7	体操	78	5.4	ヨガ・ピラティス	61	4.2	バドミントン	100	6.9	ボウリング	149	10.3
8	ラジオ体操・3B体操	76	5.3	登山・ハイキング	60	4.2	ボウリング	93	6.4	スキー・スノボ		
9	ヨガ・ピラティス	73	5.1	体操	58	4.0	卓球	76	5.3	バドミントン	141	9.8
10	登山・ハイキング	71	4.9	ボウリング	56	3.9	ダンス			ランニング・ジョギング等		
11	ボウリング	67	4.6	ラジオ体操・3B体操	54	3.7	ランニング・ジョギング等	70	4.8	テニス・ソフトテニス	135	9.3
12	野球・ソフトボール	50	3.5	野球・ソフトボール	44	3.0	スキー・スノボ	69	4.8	ラジオ体操・3B体操	112	7.7
13	バドミントン	48	3.3	バドミントン	41	2.8	ボルダリング	60	4.2	卓球	107	7.4
14	サッカー・フットサル	41	2.8	サッカー・フットサル	38	2.6	ラジオ体操・3B体操	58	4.0	ダンス	101	6.9
15	ダンス	40	2.8	テニス・ソフトテニス	32	2.2	ゴルフ	56	3.9	体操	97	6.7
16	卓球	37	2.6	卓球			グラウンド・ゴルフ			サッカー・フットサル	73	5.0
17	エアロビクス	36	2.5	ダンス	31	2.1	太極拳	51	3.5	野球・ソフトボール	72	4.9
	テニス・ソフトテニス			エアロビクス	25	1.7	弓道			50	3.5	グラウンド・ゴルフ
19	バスケットボール	27	1.9	バスケットボール	21	1.5	伝統舞踊			ボルダリング	64	4.5
20	バレーボール	25	1.7	バレーボール	19	1.3	パークゴルフ	45	3.1	エアロビクス	62	4.3
										太極拳		

<参考> 「直近1年間に行ったスポーツ」・「今後も続けたい、今後行ってみたいスポーツ」の比較



直近1年間に行ったスポーツ ～ 男女別・年代別比較 ～

男女別に見ると、「ウォーキング・散歩」の1位は共通だが、2位以下に特徴がある。男性は2位「ゴルフ」(14.6%)、3位「ジムトレーニング」(8.5%)となっており、健康維持や体力増進の他に“趣味”の要素が見える。一方女性は2位「ジムトレーニング」(10.3%)、3位「ヨガ・ピラティス」(8.9%)となっており、健康維持・体力増進に加え“美容・肥満防止”の要素が含まれていると推測できる。

年代別で見ると、どの年代もきれいに「ウォーキング・散歩」が1位となっているが、2位以下の競技に年代ごとの特徴や嗜好といったものをうかがい知ることができる。20代以下では「スキー・スノーボード」、「バドミントン」、「サッカー・フットサル」など、手軽にも本格的にも取り組める上、“レジャー”の要素も含まれる競技が上位に来ている。一方中高年世代、高齢世代では、「ゴルフ」が混じるものの、「ジムトレーニング」や「水泳」が支持を集めるなど、より健康維持・体力増進の要素が強くなっている傾向が見える。

上段:競技名 下段:構成比

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 N = 1,444	ウォーキング・散歩 29.8%	ジムトレーニング 9.5%	ゴルフ 7.5%	水泳 6.2%	ランニング等 5.8%
男性	ウォーキング・散歩 28.8%	ゴルフ 14.6%	ジムトレーニング 8.5%	ランニング等 8.1%	スキー・スノボ 7.2%
女性	ウォーキング・散歩 30.8%	ジムトレーニング 10.3%	ヨガ・ピラティス 8.9%	体操 7.6%	水泳 6.6%
15～19歳	ウォーキング・散歩 13.0%	バドミントン 12.0%	サッカー・フットサル 10.9%	バスケットボール 9.8%	体操 6.5%
20～24歳	ウォーキング・散歩 35.8%	スキー・スノボ 13.4%	ジムトレーニング 11.9%	野球・ソフトボール 11.9%	バスケットボール 10.4%
25～29歳	ウォーキング・散歩 20.7%	ランニング等 17.1%	サッカー・フットサル 12.2%	スキー・スノボ 12.2%	ジムトレーニング 8.5%
30～34歳	ウォーキング・散歩 32.3%	ジムトレーニング 11.5%	スキー・スノボ 11.5%	ランニング等 10.4%	水泳 9.4%
35～39歳	ウォーキング・散歩 20.2%	ジムトレーニング 10.1%	ランニング等 8.3%	スキー・スノボ 7.3%	ヨガ・ピラティス 7.3%
40～44歳	ウォーキング・散歩 19.0%	スキー・スノボ 15.0%	ジムトレーニング 11.0%	水泳 10.0%	ランニング等 8.0%
45～49歳	ウォーキング・散歩 25.5%	ゴルフ 10.8%	スキー・スノボ 9.8%	ジムトレーニング 8.8%	登山・ハイキング 7.8%
50～54歳	ウォーキング・散歩 34.3%	ジムトレーニング 11.1%	ヨガ・ピラティス 9.3%	水泳 8.3%	ボウリング 7.4%
55～59歳	ウォーキング・散歩 30.2%	ゴルフ 12.7%	ジムトレーニング 12.7%	ヨガ・ピラティス 6.3%	エアロビクス 5.6%
60～64歳	ウォーキング・散歩 32.4%	ゴルフ 12.2%	ジムトレーニング 10.8%	水泳 7.9%	登山・ハイキング 5.8%
65～79歳	ウォーキング・散歩 38.0%	体操 11.3%	ゴルフ 9.9%	ラジオ体操等 9.6%	ジムトレーニング 7.5%

1 同率5位には「ラジオ体操等」

2 同率5位には「テニス・ソフトテニス」、「ボウリング」、「ミニテニス」

3 同率5位には「ランニング・ジョギング等」

4 同率5位には「ボウリング」、「野球・ソフトボール」

5 同率5位には「登山・ハイキング」、「ラジオ体操等」、「ランニング・ジョギング等」

直近1年間にスポーツを行っていない方の、今後行ってみたいスポーツ ～ 男女別・年代別比較 ～

男女別に見ると、全ての順位で競技が異なっている。男性では手軽に（ウォーキング・散歩）または本格的に（ジムトレーニング）健康維持や体力増進を目指せるもの以外に、“行楽やレジャー”（登山・ハイキング、ボウリング）の要素を含む競技が上位に来ている。一方女性では1位の「ヨガ・ピラティス」を筆頭に健康維持・体力増進+“美容・肥満防止”のための競技が上位となっていることが分かる。

年代別で見ると、一番若い15～19歳の層で独自の傾向が見られ、「スキー・スノーボード」(18.2%)、「トランポリン」(18.2%)、「バドミントン」(18.2%)が上位3競技となっている。以降の年代では、25～29歳の層でレジャー要素も含む競技が混じるが、基本的に全体結果にもある健康維持・体力増進目的の競技が上位に位置している。

上段:競技名 下段:構成比

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 N = 730	ジムトレーニング 12.9%	ウォーキング・散歩 12.7%	ヨガ・ピラティス 11.9%	水泳 11.6%	登山・ハイキング 9.4%
男性	ウォーキング・散歩 20.7%	ジムトレーニング 14.7%	登山・ハイキング 13.7%	ボウリング 12.4%	水泳 10.0%
女性	ヨガ・ピラティス 26.1%	ウォーキング・散歩 22.6%	ジムトレーニング 20.2%	水泳 18.1%	バドミントン 12.5%
15～19歳	スキー・スノボ 18.2%	トランポリン 18.2%	バドミントン 18.2%	ウォーキング・散歩 15.2%	ジムトレーニング 15.2%
20～24歳	ジムトレーニング 27.6%	ウォーキング・散歩 20.7%	水泳 13.8%	登山・ハイキング 13.8%	ヨガ・ピラティス 13.8%
25～29歳	ジムトレーニング 26.3%	スキー・スノボ 21.1%	バドミントン 21.1%	ヨガ・ピラティス 21.1%	ウォーキング・散歩 18.4%
30～34歳	ヨガ・ピラティス 34.0%	ジムトレーニング 28.0%	登山・ハイキング 20.0%	ウォーキング・散歩 18.0%	スキー・スノボ 18.0%
35～39歳	ジムトレーニング 28.3%	ウォーキング・散歩 25.0%	ヨガ・ピラティス 20.0%	登山・ハイキング 16.7%	水泳 15.0%
40～44歳	ヨガ・ピラティス 29.4%	ウォーキング・散歩 27.5%	水泳 23.5%	登山・ハイキング 21.6%	ジムトレーニング 19.6%
45～49歳	ヨガ・ピラティス 35.1%	ウォーキング・散歩 31.6%	ジムトレーニング 31.6%	水泳 21.1%	バドミントン 15.8%
50～54歳	ジムトレーニング 35.0%	ヨガ・ピラティス 35.0%	ウォーキング・散歩 30.0%	水泳 28.3%	ボウリング 25.0%
55～59歳	ウォーキング・散歩 25.4%	水泳 18.6%	ジムトレーニング 16.9%	ヨガ・ピラティス 16.9%	登山・ハイキング 15.3%
60～64歳	ウォーキング・散歩 24.3%	登山・ハイキング 20.0%	ボウリング 18.6%	水泳 17.1%	卓球 17.1%
65～79歳	ウォーキング・散歩 16.4%	水泳 6.8%	登山・ハイキング 5.5%	ラジオ体操等 5.5%	パークゴルフ 5.0%

1 同率4位には「水泳」、「ダンス」、「バレーボール」

2 同率4位には「テニス・ソフトテニス」、「バドミントン」、「ランニング・ジョギング等」

直近1年間に行ったスポーツの実施場所

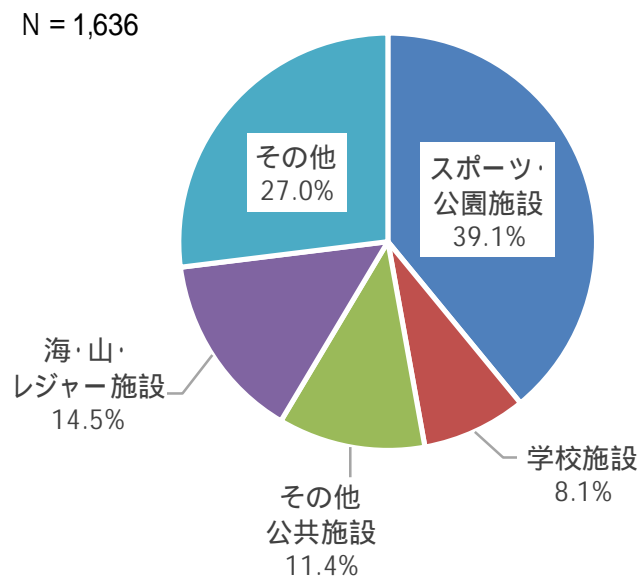
この1年間にスポーツを行った712人に、行ったスポーツ種目別の実施場所を伺ったものである。
その結果、延べ1,636件の回答が得られた。

最も多かったのは「スポーツ・公園施設」(39.1%)で、全体の4割を占める。以下「海・山・レジャー施設」(14.5%)、「その他公共施設」(11.4%)、「学校施設」(8.1%)の順となっている。

順位では2位となる「その他」(27.0%)は3割近くを占めるが、回答者と競技の数だけ実施場所も多種多様であり、上記の他項目(実施場所)と同じ基準で論じることは難しい。

ただし、当設問のP22~25の結果も含めて見ると、“手軽に”、“手近に”行える競技が上位に来ていることから、これを裏付けるような場所が多く挙げられている。

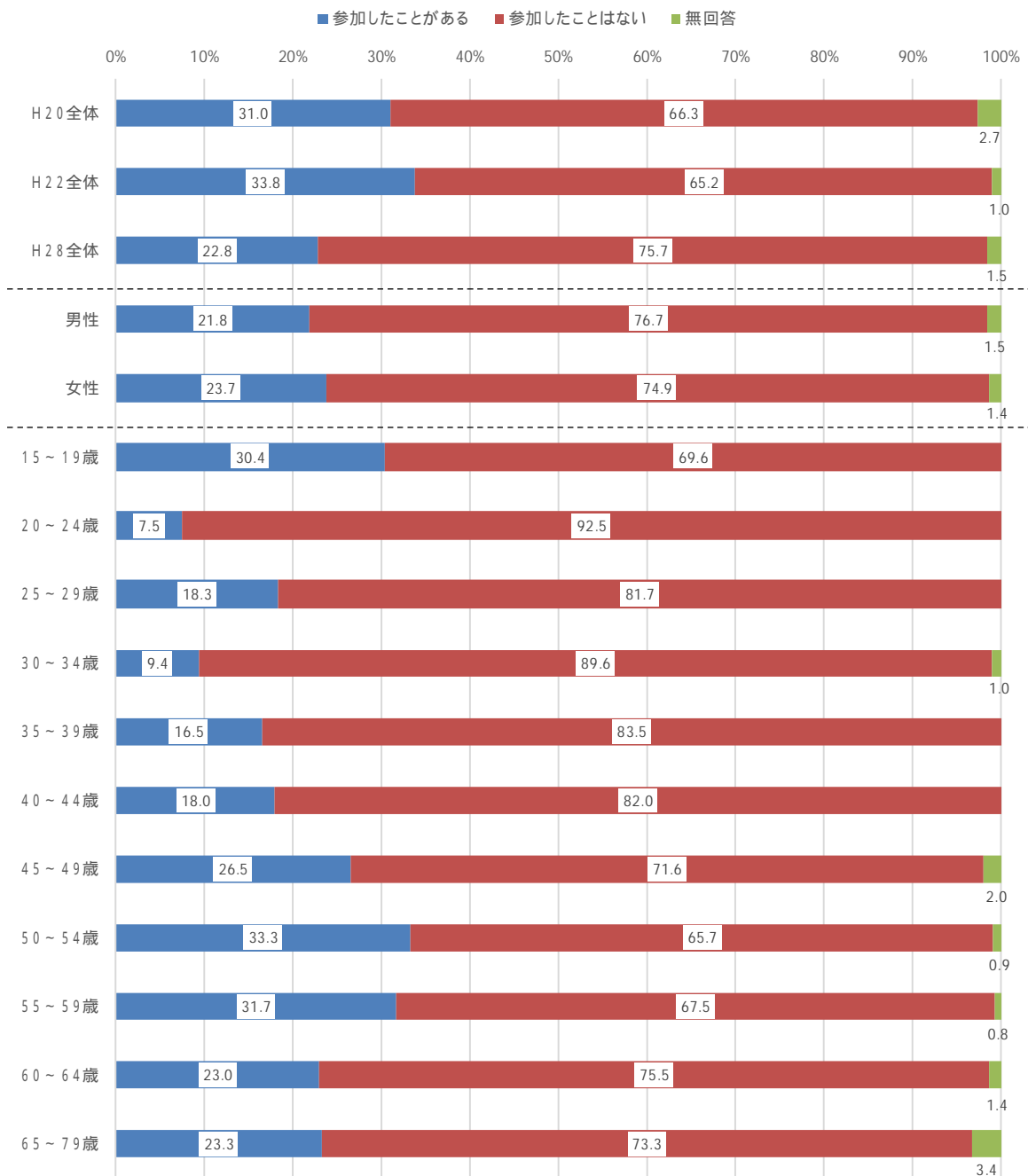
具体的には、自宅近所・自宅周辺、道路・歩道、河川敷、職場・職場の施設などであり、特別な施設や場所ではなく、いずれも日常生活の範囲内の場所であるケースが多い。



問14. 市・地域主催のスポーツ等行事への参加経験（SA）

今回は「参加したことがある」が3割を切る
 男女による参加度合いの差はほとんどない
 15～19歳、50代で「参加したことがある」が3割を超える

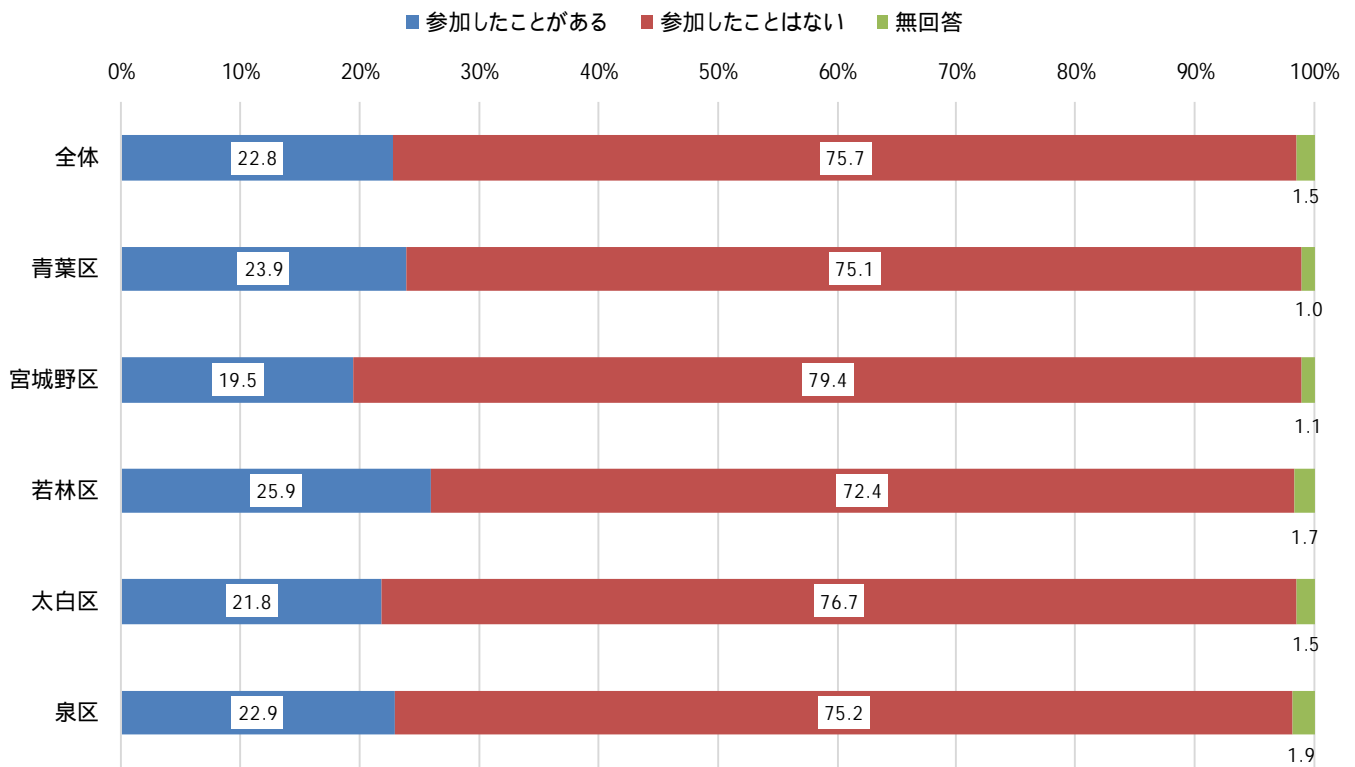
全体で見ると、今回「参加したことがある」が初めて3割を切り（22.8%）、「参加したことはない」が回答者の3/4（75.7%）を占める結果となった。
 男女別に見ると、女性で「参加したことがある」の割合が男性（21.8%）より若干高い（23.7%）が、基本的に男女による参加の度合いにほとんど差は見られない。
 年代別で見ると、15～19歳（30.4%）50代（50～54歳：33.3%・55～59歳：31.7%）で「参加したことがある」が3割を超える。一方20～24歳（7.5%）30～34歳（9.4%）では参加経験者が極端に少なく、「参加したことはない」が9割前後と非常に高い。



[H20 : N = 1,143 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

市・地域主催のスポーツ等行事への参加経験 ～ 居住区別の比較 ～

居住区別に見ると、若林区で「参加したことがある」がやや高い（25.9%）。どの区も「参加したことはない」が回答者の3 / 4ほどを占めるが、宮城野区では他区よりやや高い8割（79.4%）となっている。

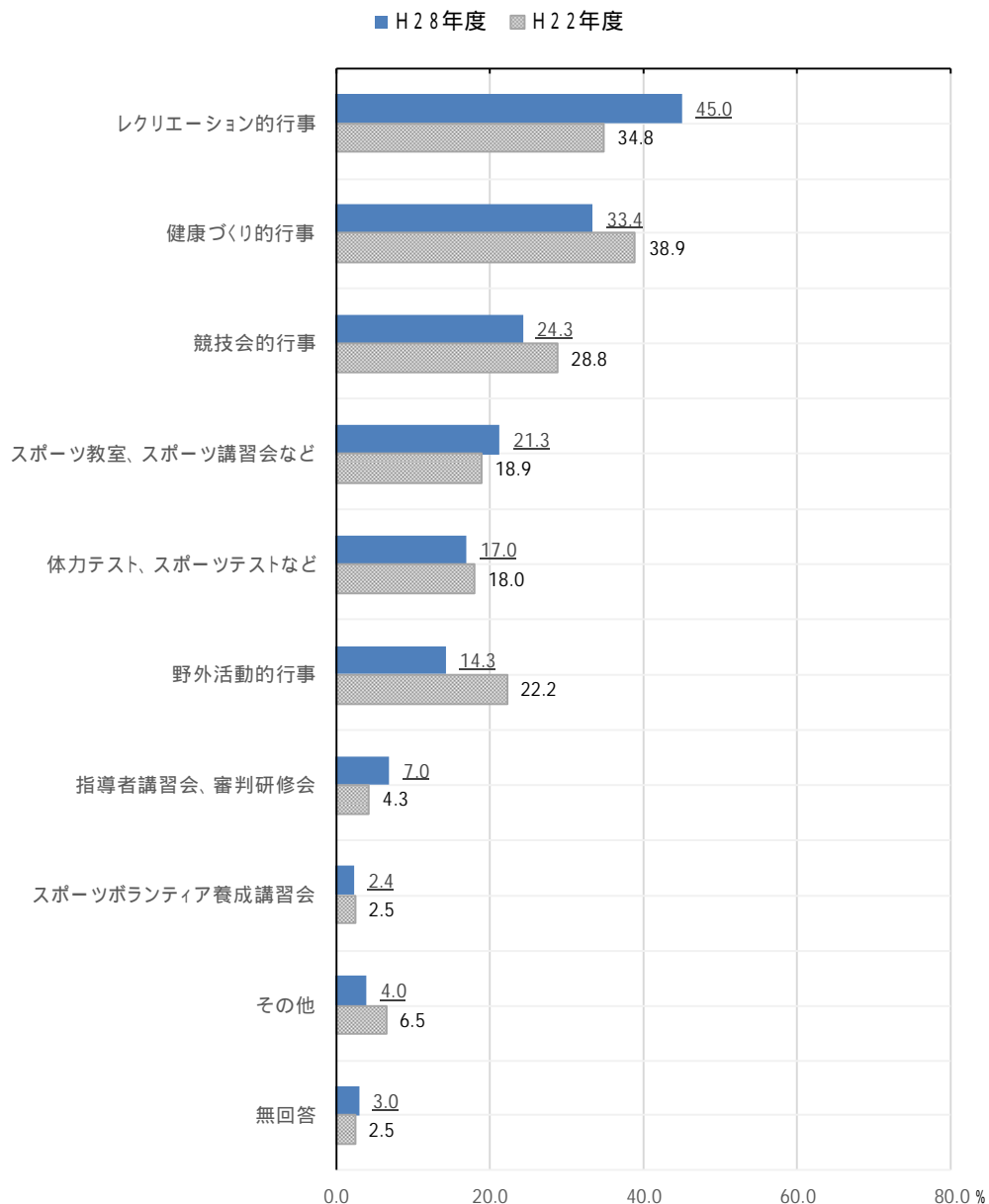


問15. 参加してみたい市・地域主催のスポーツ等行事（MA）

前回の「健康づくり的行事」に代わり、今回は「レクリエーション的行事」がTOP
 「健康づくり的行事」・「競技会的行事」・「野外活動的行事」は前回より低下
 「スポーツ教室等」・「指導者講習会等」は前回より若干ながら増加

全体で見ると、今回と前回（H22年度）とでは一部で割合・順位が異なっており、前回2位だった「レクリエーション的行事」が今回1位に、前回1位だった「健康づくり的行事」が今回2位となっている。今回「レクリエーション的行事」が前回より10ポイント増加している（H22年度：34.8%・H28年度：45.0%）。前回2～4割の支持を集めた「健康づくり的行事」、「競技会的行事」、「野外活動的行事」は今回割合を落としており、特に「野外活動的行事」は前回からの下がり幅が最も大きい（H22年度：22.2%・H28年度：14.3%）。

「スポーツ教室、スポーツ講習会など」（H22年度：18.9%・H28年度：21.3%）、「指導者講習会、審判研修会」（H22年度：4.3%・H28年度：7.0%）は若干ではあるが前回より増加となった。



[H22 : N = 445 H28 : N = 329]

問16. 市・地域主催のスポーツ等行事に参加しなかった理由（MA）

今回は「知らなかったから」が5割を超える
「地域交流があまりないから」は今回初めて3割を切っている

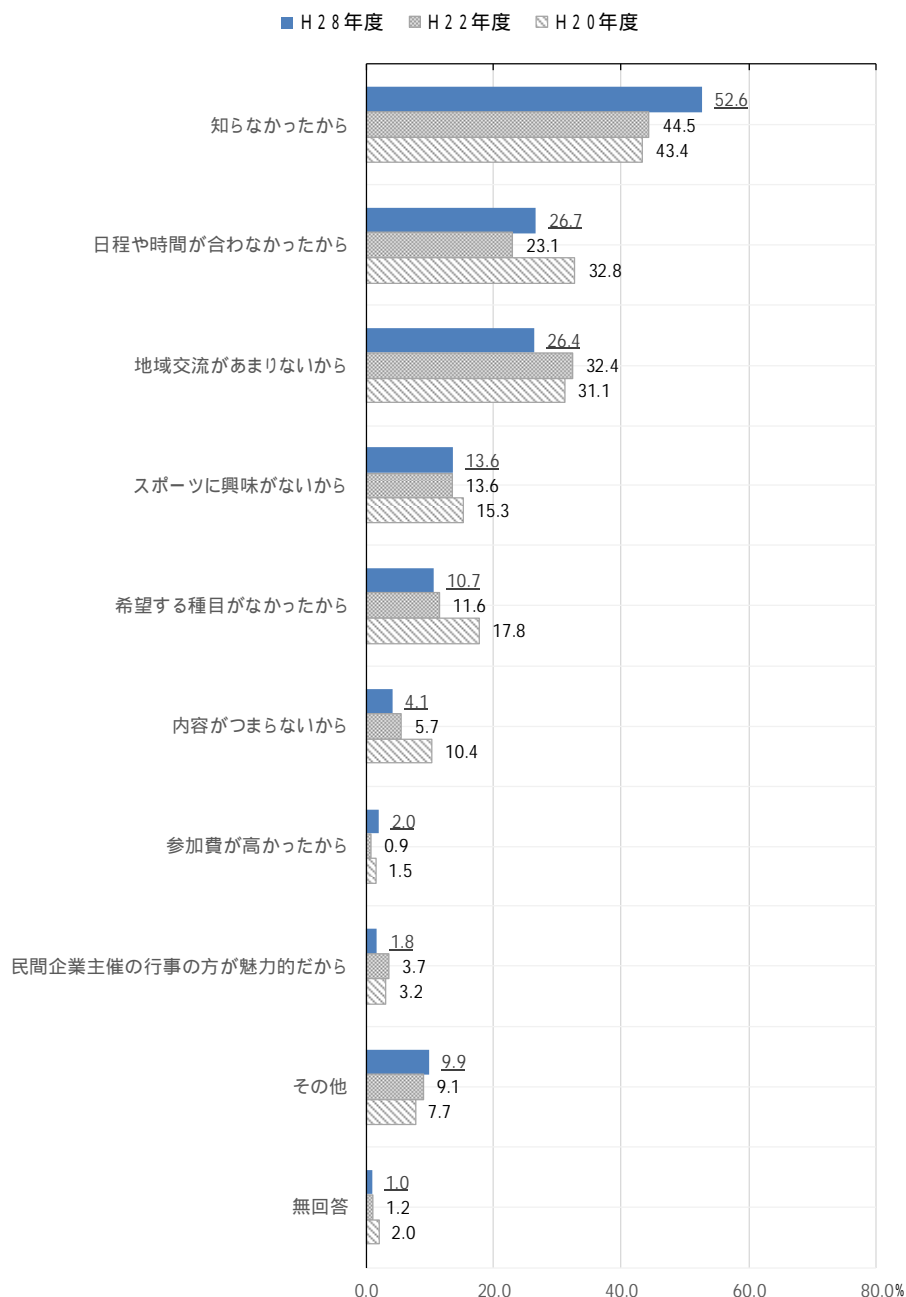
「スポーツに興味がないから」の選択肢については、H20・22年度の実施の際の「スポーツを行わないので関係がないから」と同一項目として集計・分析を行っている。

全体で見ると、今回は過去2回と同様「知らなかったから」が1位であるが、割合が増加し、5割を超えている（52.6%）。

過去2回では3割を超えていた「地域交流があまりないから」は、今回初めて3割を切っている（26.4%）。

「希望する種目がなかったから」、「内容がつまらないから」は実施年度ごとに減少の傾向が見られる。

「スポーツに興味がないから」（H20・22年度は「スポーツを行わないので関係がないから」）は、割合にほとんど変動が見られない。

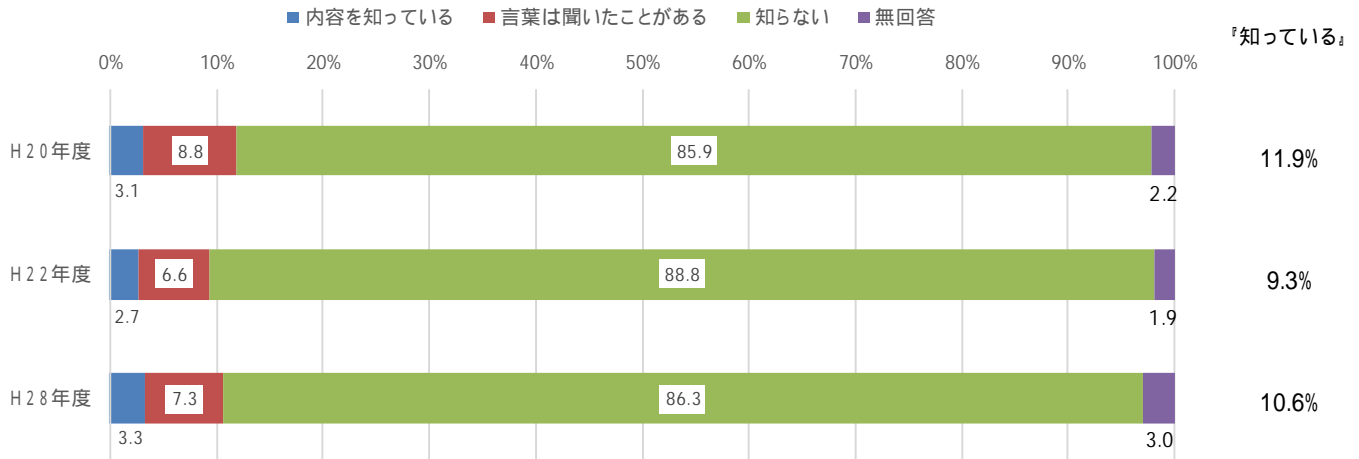


[H20 : N = 758 H22 : N = 859 H28 : N = 1,093]

問17. 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度（SA）

**“知っている”は1割にとどまる
実施年度による認知度の差はほとんど見られない**

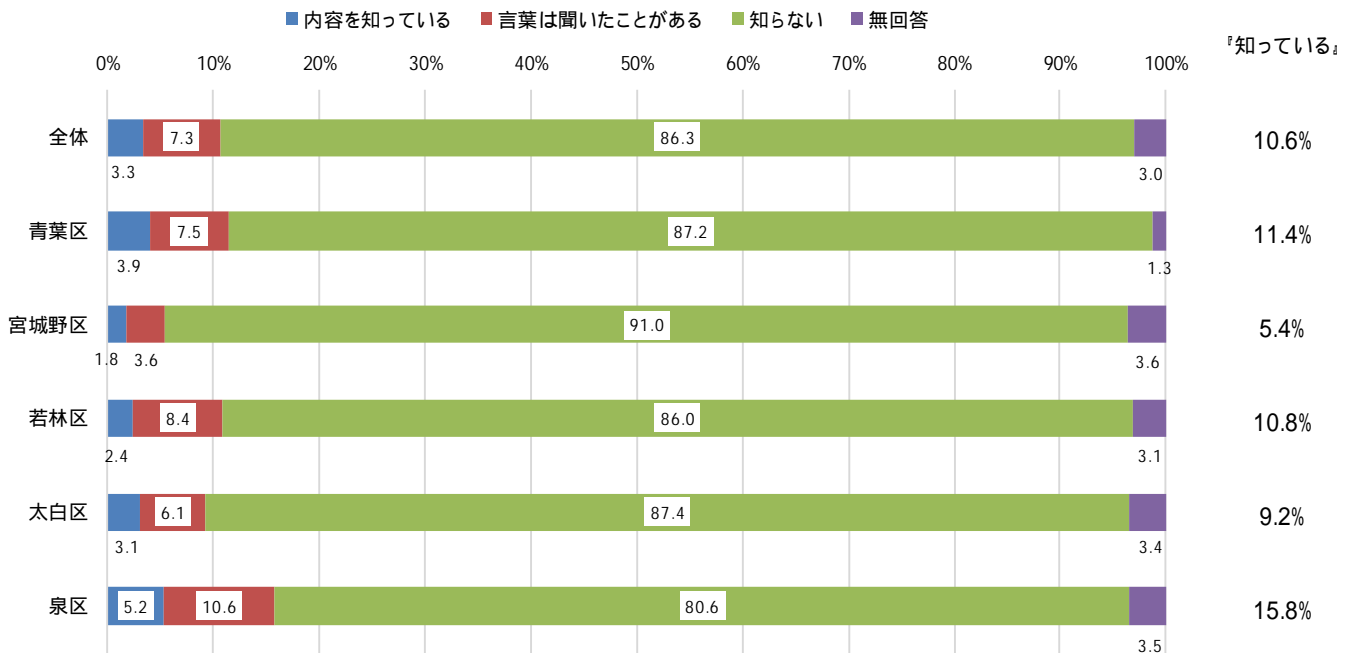
“知っている”（内容を知っている＋言葉は聞いたことがある）は、実施年度ごとの差はほとんど見られず、今回（計10.6%）を含めたいずれの実施年度も1割程度の認知度にとどまっている。ごくわずかな数値差ではあるが、今回「内容を知っている」が過去最高の数値となっている。（H20年度：3.1%・H22年度：2.7%・H28年度：3.3%）



【 H20 : N = 1,143 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444 】

「総合型地域スポーツクラブ」の認知度 ～ 居住区別の比較 ～

居住区別に見ると、“知っている”は泉区（計15.8%）で高い。逆に「知らない」は宮城野区で9割を超えており（91.0%）“知っている”は5%ほど（計5.4%）で全5区中最少となっている。

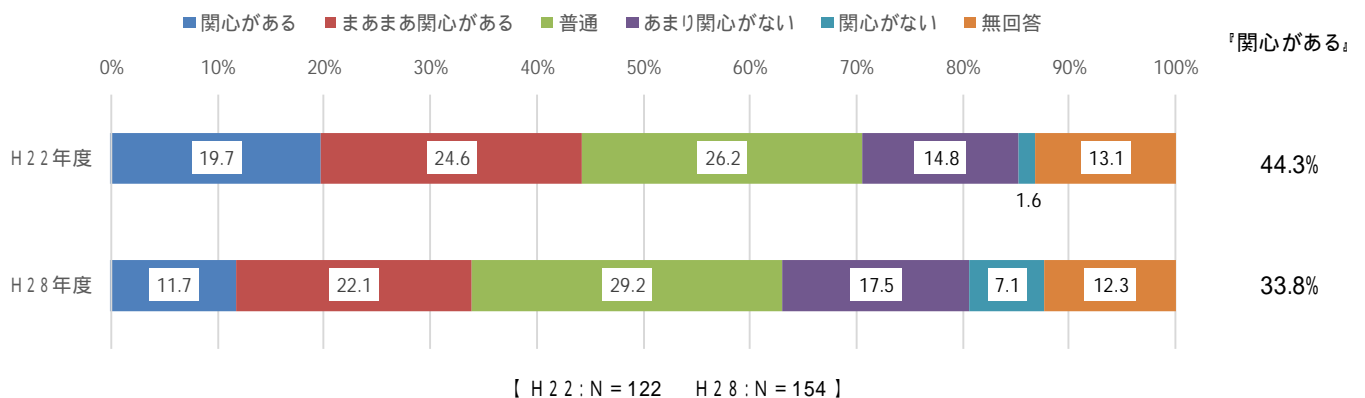


問18. 「総合型地域スポーツクラブ」への関心度合い(SA)

今回の「関心がある」は前回より1割低下。「関心がない」が回答者の1/4を占める

今回の“関心がある”(関心がある+まあまあ関心がある)は、前回(H22年度:計44.3%)より1割ほど低下している(計33.8%)

一方“関心がない”(あまり関心がない+関心がない)は、前回(H22年度:計16.4%)から増加。回答者の1/4(計24.6%)が“関心がない”と回答していることになる。



問19. 「総合型地域スポーツクラブ」への今後の参加意向（SA）

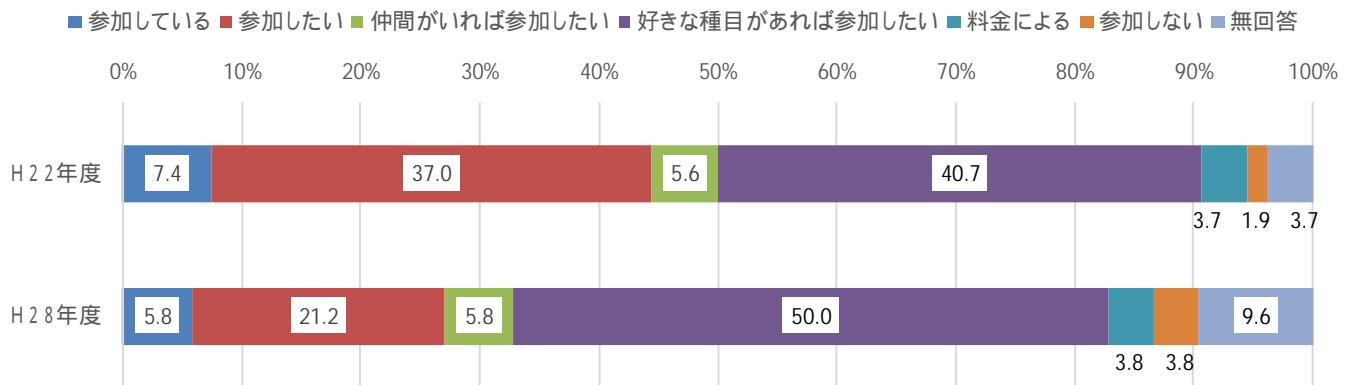
「参加したい」は大幅減。一部の“条件付き参加層”が増加

前回（H22年度）今回とも、サンプル数が非常に少ないため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

今回の「参加したい」（21.2%）は、前回（H22年度：37.0%）に比べ15ポイント以上的大幅減となっている。

仲間、種目、料金など、“条件付きでの参加”の意向を持つ層のうち、今回は「好きな種目があれば参加したい」が前回に比べ10%ほど増加している（H22年度：40.7%・H28年度：50.0%）。

割合的には少ないが、今回の「参加しない」は前回の倍の割合となっている（H22年度：1.9%・H28年度：3.8%）。



【 H22 : N = 54 H28 : N = 52 】

問 2 0 . スポーツクラブ等への加入状況 (S A)

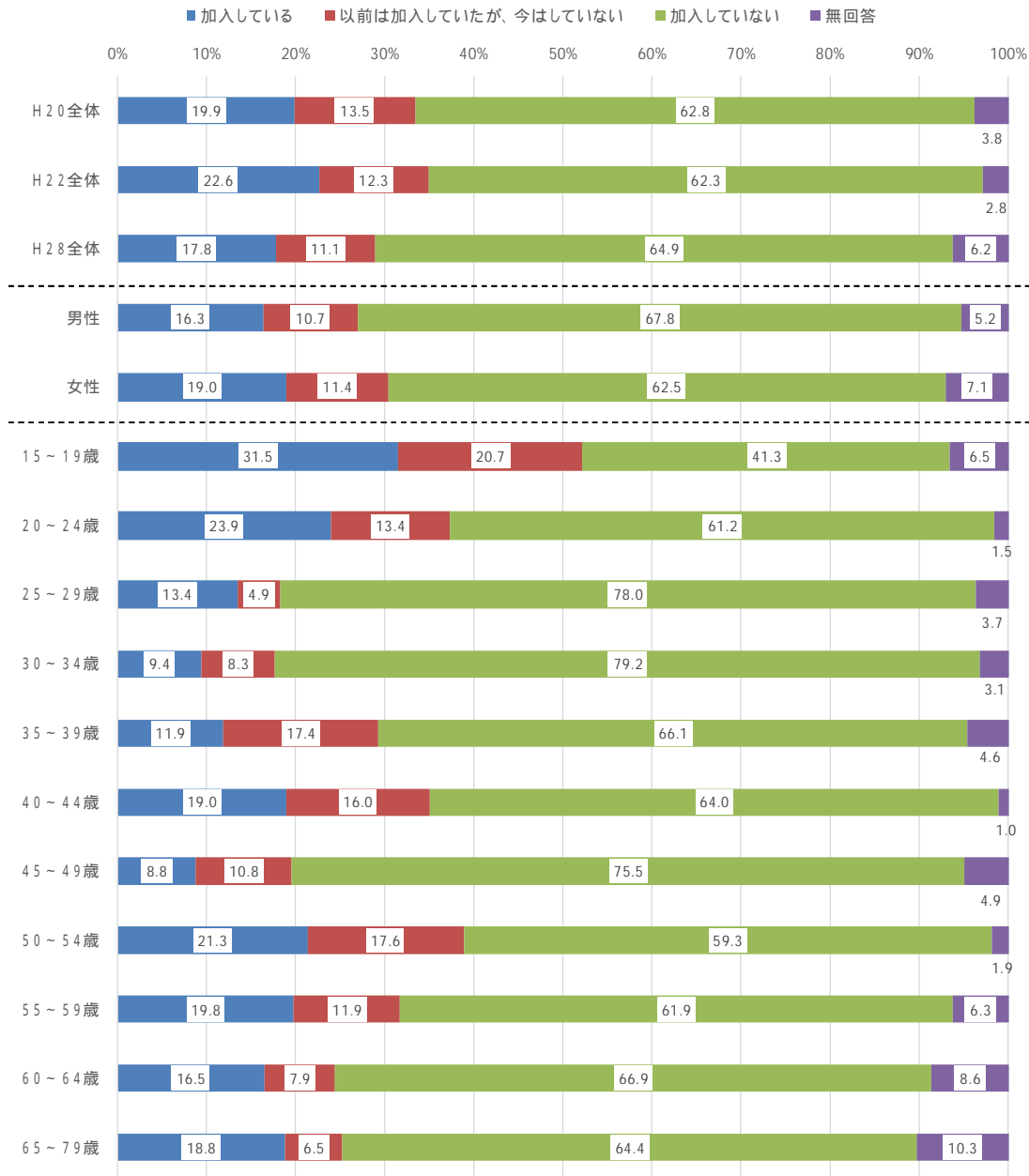
**今回は “ 加入経験者 ” が減少、3 割を切る
女性の方で “ 加入経験者 ” 比率が高い
年齢層による加入 / 非加入の差が非常に大きい**

全体で見ると、今回は「加入している」(17.8%) が前回 (H22 年度 : 22.6%) よりも低下。「以前は加入していたが、今はしていない」も加えた “ 加入経験者 ” で見ても、前回より低下、3 割を切っている (計 28.9%)

男女別に見ると、「加入している」(19.0%) 「以前は加入していたが、今はしていない」(11.4%) とともに女性の方で高くなっている。

年代別で見ると、部活やサークル活動で加入しているケースが多い 15 ~ 19 歳で “ 加入経験者 ” が 5 割を超えている (計 52.2%) 。この層では、現在「加入している」も 3 割を超えている (31.5%)

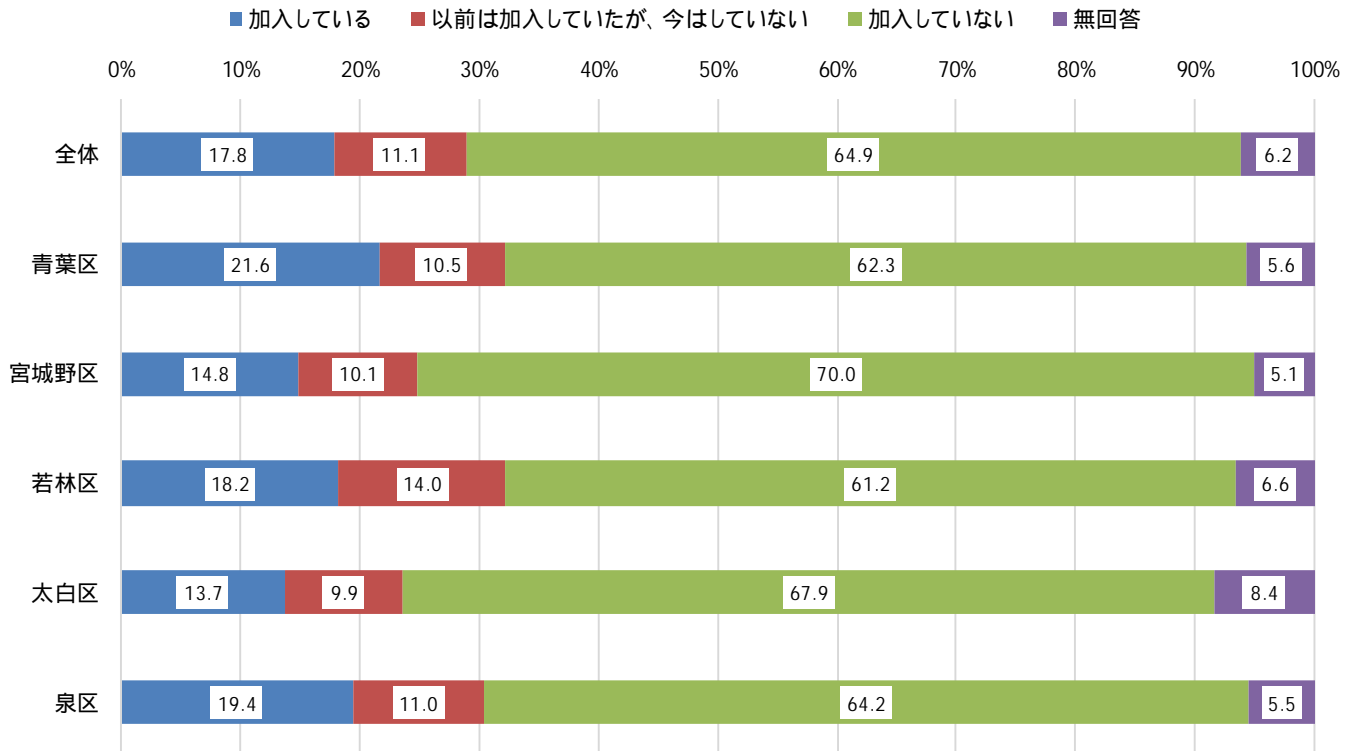
他年齢層を見ると、50 ~ 54 歳 (計 38.9%) 20 ~ 24 歳 (計 37.3%) 40 ~ 44 歳 (計 35.0%) で “ 加入経験者 ” 比率が高く、3 割を大きく超えている。25 ~ 34 歳の層では「加入していない」が 8 割近くに達する。



[H20 : N = 1,143 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

スポーツクラブ等への加入状況 ～ 居住区別の比較 ～

居住区別に見ると、青葉区で「加入している」が全5区中で唯一2割を超えている（21.6%）。
 「以前は加入していたが、今はしていない」も加えた“加入経験者”で見ると、若林区（計32.2%）、青葉区（計32.1%）、泉区（計30.4%）で3割を超える。
 一方、宮城野区（70.0%）、太白区（67.9%）では「加入していない」が7割ほどと高い。

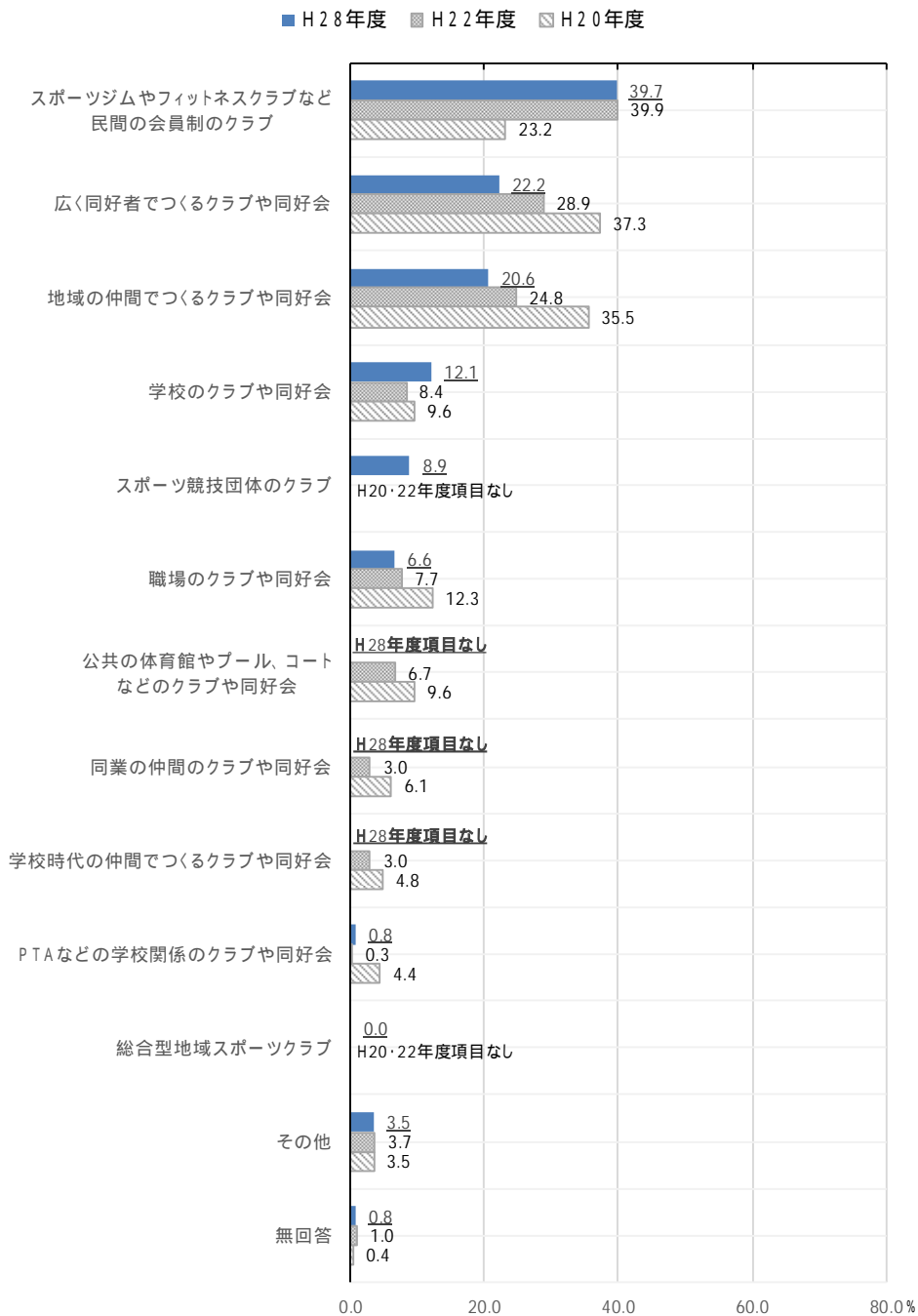


問 2 1 . 加入しているスポーツクラブ等 (M A)

**「民間の会員制クラブ」が前回同様高い。
「同好者でつくるクラブ等」・「地域の仲間をつくるクラブ等」が2割**

当設問は実施年度により選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

全体で見ると、今回は過去2回と同様「スポーツジム等民間の会員制クラブ」が1位であるが、前回（H22年度：39.9%）とほぼ変わらない高い割合となっている（39.7%）。
今回2位の「広く同好者でつくるクラブや同好会」（22.2%）、3位の「地域の仲間をつくるクラブや同好会」（20.6%）の割合が過去2回に比べて相対的に低下していることから、「民間の会員制クラブ」は見た目以上に利用（加入の）度合いが高いと推測される。

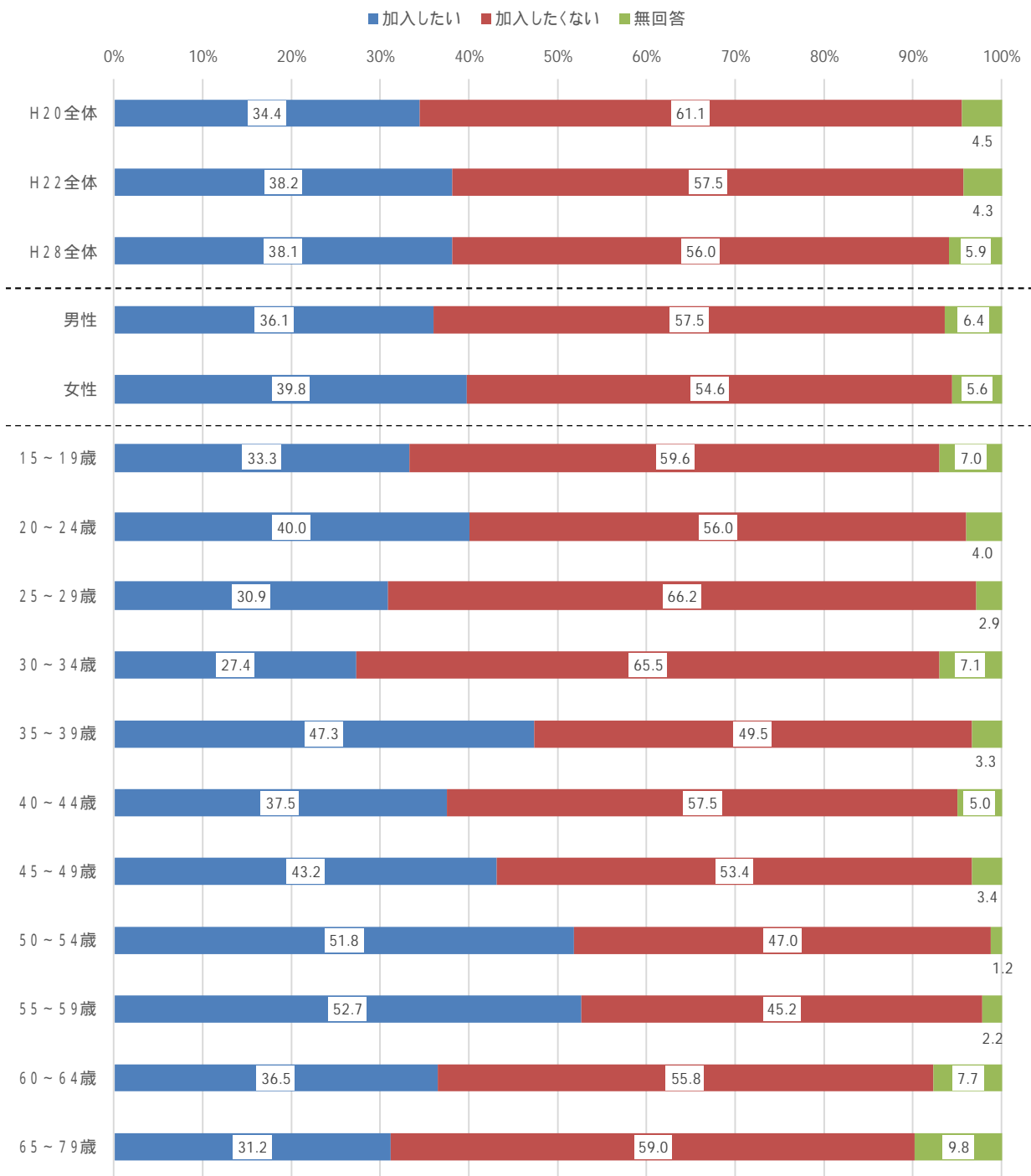


[H20 : N = 228 H22 : N = 298 H28 : N = 257]

問22. 今後のスポーツクラブ等への加入意向(SA)

加入意向者の割合はほとんど変わらず。非加入意向者は減少傾向にある
 女性での加入意向者比率がやや高い
 年齢による加入/非加入意向はかなりの差がある

全体で見ると、今回は「加入したい」(38.1%)の比率が前回(H22年度:38.2%)とほとんど変わっておらず、「加入したくない」(56.0%)の割合が微減、過去最少となっている。
 男女別に見ると、女性の方で「加入したい」(39.8%)の割合がやや高く、4割となっている。
 年代別で見ると、50代の層で「加入したい」の割合が5割を超えている。一方25~29歳(66.2%)、30~34歳(65.5%)では「加入したくない」が6割を大きく超えている。



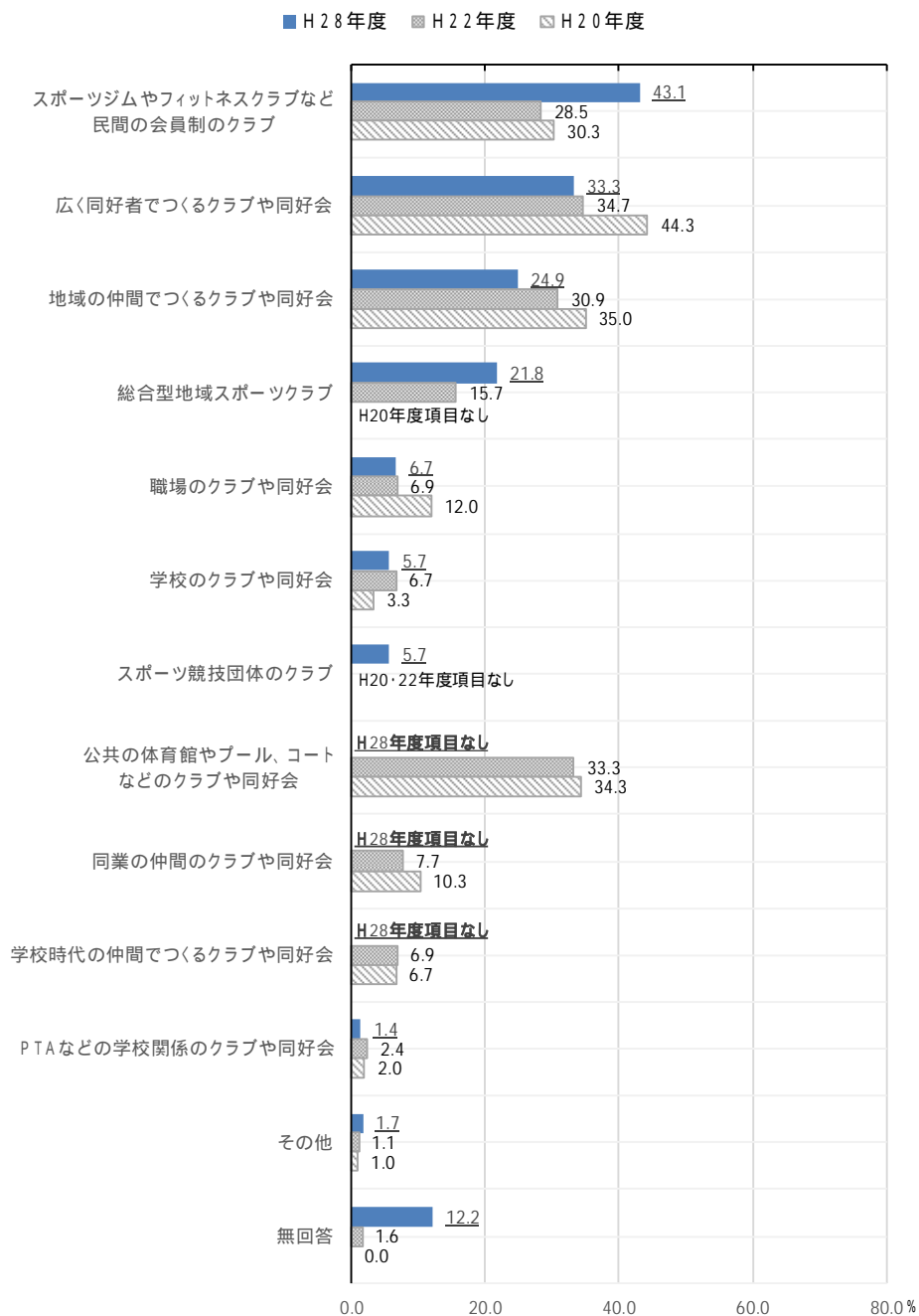
[H20 : N = 872 H22 : N = 982 H28 : N = 1,097]

問23. 加入したいと思うスポーツクラブ等(MA)

**「民間の会員制クラブ」の支持割合が4割を超える
「同好者でつくるクラブ等」・「地域の仲間をつくるクラブ等」にも一定以上の支持あり**

当設問は実施年度により選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

今回は過去2回で2～3位だった「スポーツジムやフィットネスクラブなど民間の会員制のクラブ」が1位となり、その支持割合も過去最高の4割超え(43.1%)となっている。
2位の「広く同好者でつくるクラブや同好会」(33.3%)、3位の「地域の仲間をつくるクラブや同好会」(24.9%)も過去2回に比べれば低下しているが、一定以上の支持割合を集めている。
前回(H22年度:15.7%)より設定された「総合型地域スポーツクラブ」は、今回支持割合が2割を超えている(21.8%)。



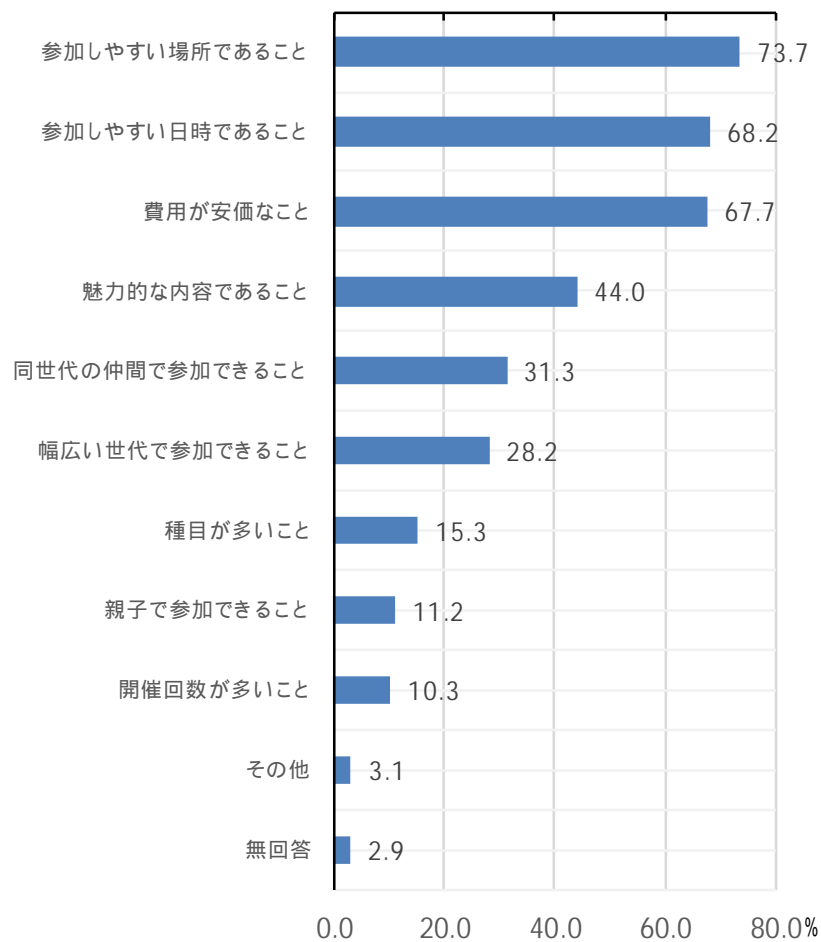
[H20 : N = 300 H22 : N = 375 H28 : N = 418]

問24 . スポーツクラブ等に参加したいと思う条件 (MA) 【H28年度新規設定の設問】

「場所」・「日時」・「費用」が3大参加条件

重視する参加条件は、最多が「参加しやすい場所であること」(73.7%)で7割強。以下、「参加しやすい日時であること」(68.2%)、「費用が安価であること」(67.7%)がほぼ同割合の7割弱で続く。「魅力的な内容であること」(44.0%)も4割を超えているが、他項目ともさらに割合の差があるため、実質この上位3項目が主要な参加条件であると捉えることができる。

“人間関係に関わる参加条件”(仲間・世代・親子)の項目は、一定の支持は集めているものの、さほど高い割合ではなく、順位も中～下位となっている。



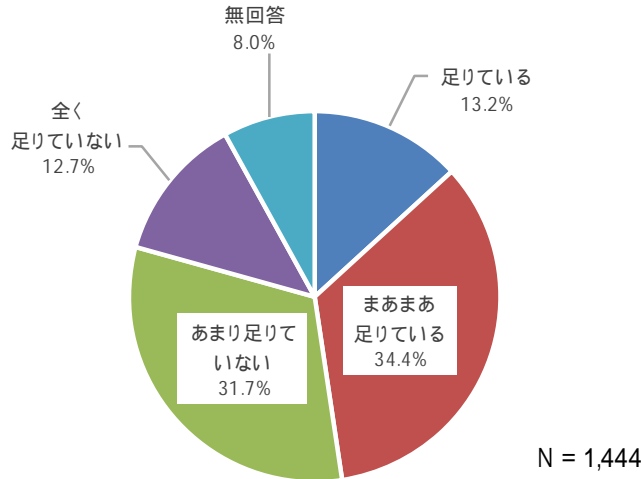
N = 418

問 2 5 . スポーツ施設の充足度に関する評価 (S A) 【 H 2 8 年度新規設定の設問】

施設の充足度に対しては “ 評価層 ” がやや多い

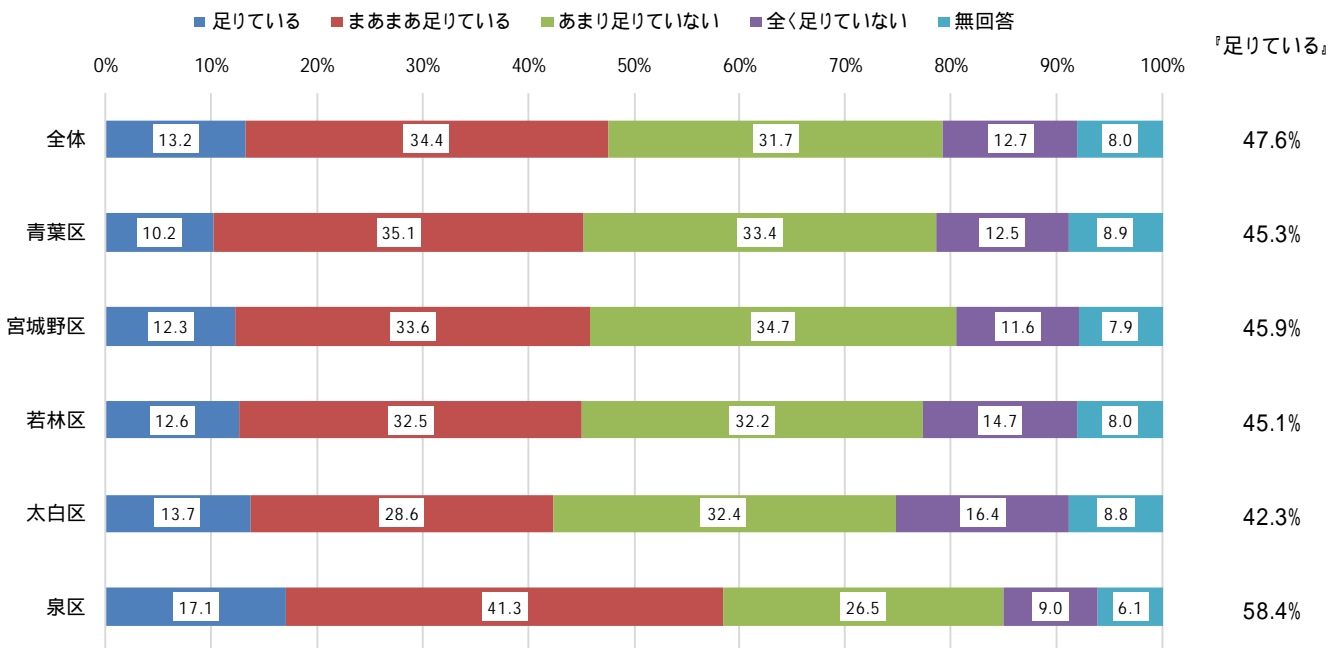
最多は「まあまあ足りている」(34.4%)で、次点は「あまり足りていない」(31.7%)となっている。両極の評価である「足りている」(13.2%)、「全く足りていない」(12.7%)はほぼ同割合で、いずれも1割を少し超える程度である。

評価 / 非評価の区分で見ると、“ 評価層 ”(足りている + まあまあ足りている : 計 47.6%) “ 非評価層 ”(あまり足りていない + 全く足りていない : 計 44.4%) では、“ 評価層 ” の方がやや高くなっている。



スポーツ施設の充足度に関する評価 ~ 居住区別の比較 ~

居住区別に見ると、泉区で“ 評価層 ” の割合がかなり高く、6割近く(計 58.4%)にも達している。また、「全く足りていない」も全5区中唯一1割を切る(9.0%)。太白区では“ 非評価層 ” が5割近くとなっている(計 48.8%)。

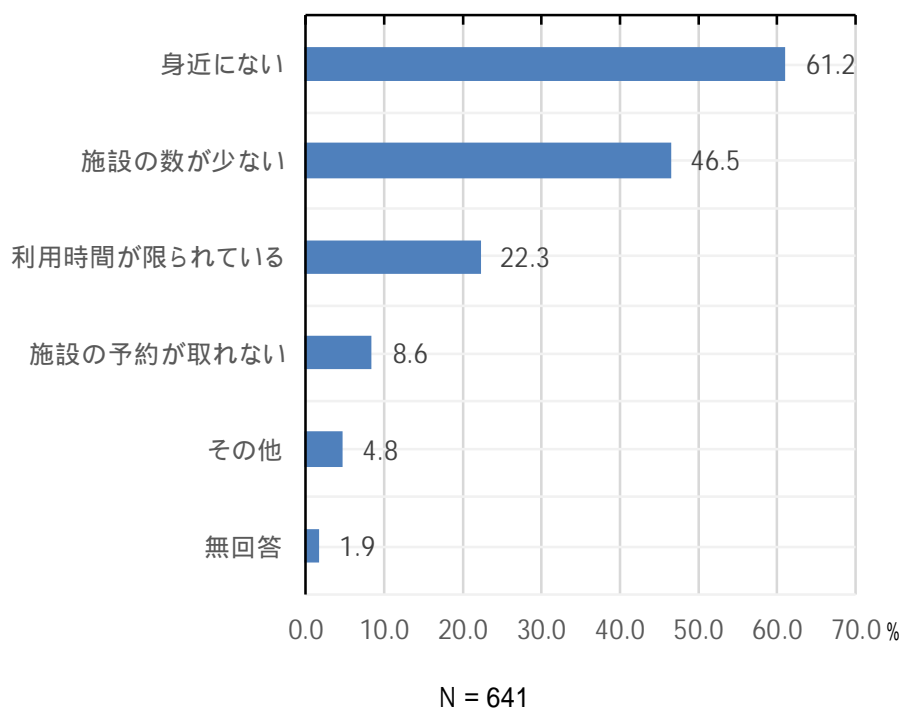


問 2 6 . スポーツ施設が「足りていない」と思う理由 (M A) 【 H 2 8 年度新規設定の設問】

足りていないと感じる主な理由は「身近にない」、「施設の数が少ない」

前問 25 で「あまり足りていない」・「全く足りていない」と回答した方 641 人に伺った。

最多は「身近にない」で 6 割強 (61.2%)、以下やや離れて「施設の数が少ない」(46.5%) と続く。この上位 2 項目が“足りていない”と感じる主な理由であると捉えることができる。



問 27 . 今後設置してほしいスポーツ施設 (M A) 【 H28 年度新規設定の設問】

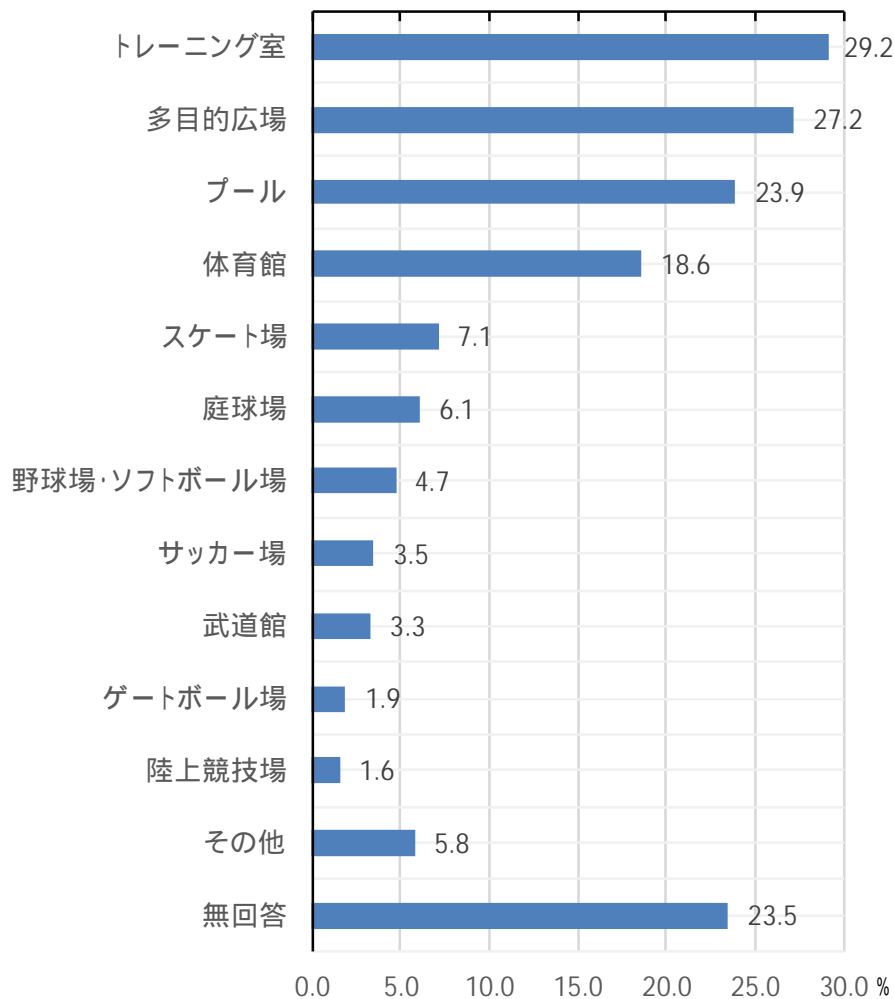
希望の最多は「トレーニング室」で3割
支持割合は屋内/屋外施設に比較的分散している
“競技専用”の施設は支持割合が低い傾向

最多は「トレーニング室」(29.2%)で、以下「多目的広場」(27.2%)、「プール」(23.9%)と続いており、この3項目の支持割合が2割を超えている。これに「体育館」(18.6%)までを含めた計4項目が主要な希望施設と捉えることができる。

上位/下位の差は出るが、全体として見ると、支持割合が大きく集中している項目はなく、屋内/屋外の施設に回答が比較的分散している様子が伺える。

「スケート場」や「サッカー場」など、“その競技専用”で用いる施設は概して支持割合が低い傾向が見られる。

問 13 (P22 ~ 参照) で「ジムトレーニング」や「水泳」、「ヨガ・ピラティス」の支持割合が高かったこともあり、(全てではないが)それを裏付ける結果になったと解釈することができる。



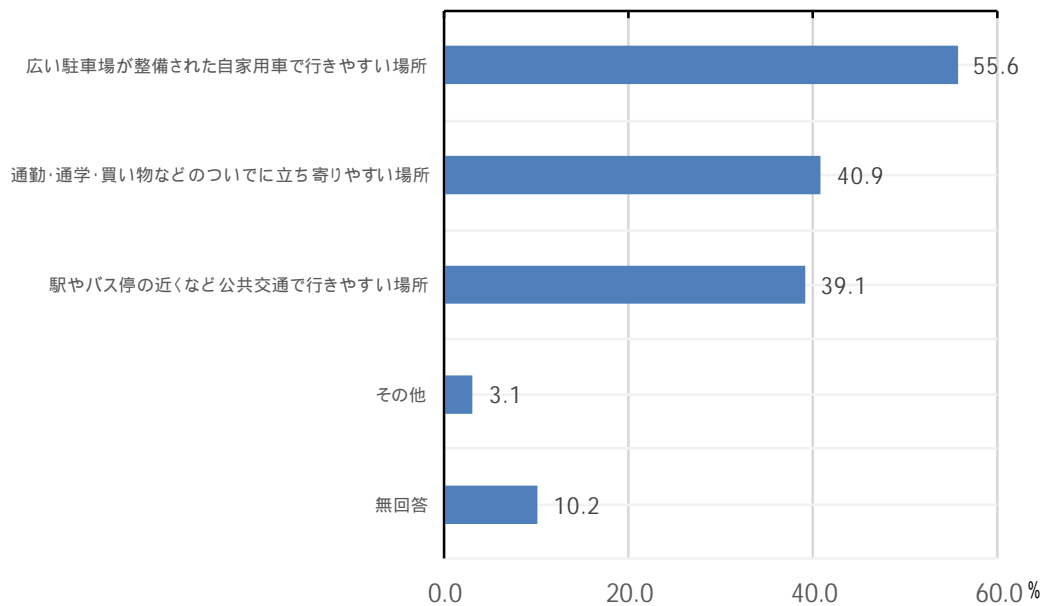
N = 1,444

問 2 8 . 利用しやすい施設の設置場所に関する条件 (M A) 【 H 2 8 年度新規設定の設問】

最多支持は「車で行きやすい場所」
項目数が少ないこともあり、回答は分散傾向

最多は「広い駐車場が整備された自家用車で行きやすい場所」で5割超(55.6%)、以下「通勤・通学・買い物などのついでに立ち寄りやすい場所」(40.9%)、「駅やバス停の近くなど公共交通で行きやすい場所」(39.1%)がほぼ同割合で続く。

「車で行きやすい場所」が5割を超える支持を集めてはいるが、他の2項目も一定以上の支持割合で、かつ差も大きく開いていないことから、支持はほぼ分散していると捉えることができる。



N = 1,444

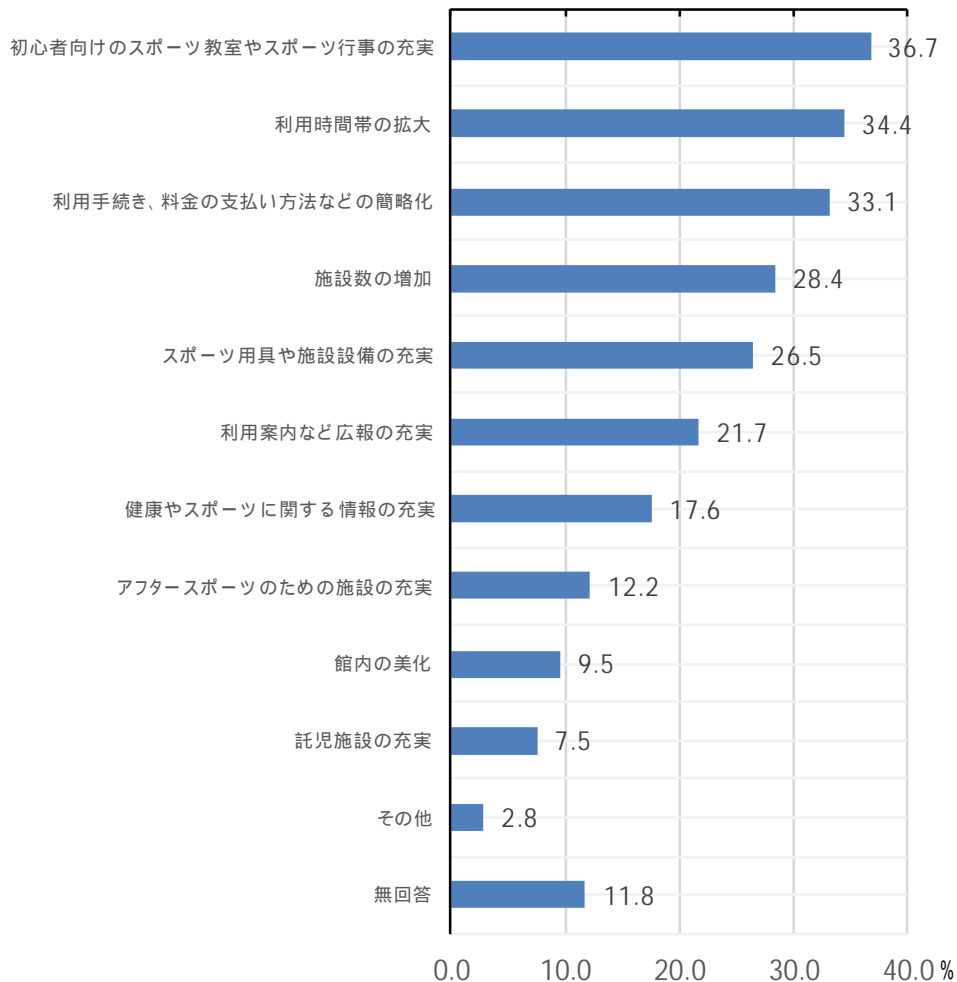
問 2 9 . 公共のスポーツ施設に望むこと (M A) 【 H 2 8 年度新規設定の設問】

「初心者向け行事の充実」、「利用時間帯の拡大」、「手続き・支払いの簡略化」が主要望

当設問は本来回答数が制限（は3つまで）された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』（MA設問）と同様に扱い、集計・分析を行っている。

最多は「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」（36.7%）で、以下「利用時間帯の拡大」（34.4%）、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」（33.1%）と続き、この3項目で支持割合が3割を超えている。

この他、「施設数の増加」（28.4%）、「スポーツ用具や施設設備の充実」（26.5%）も高い

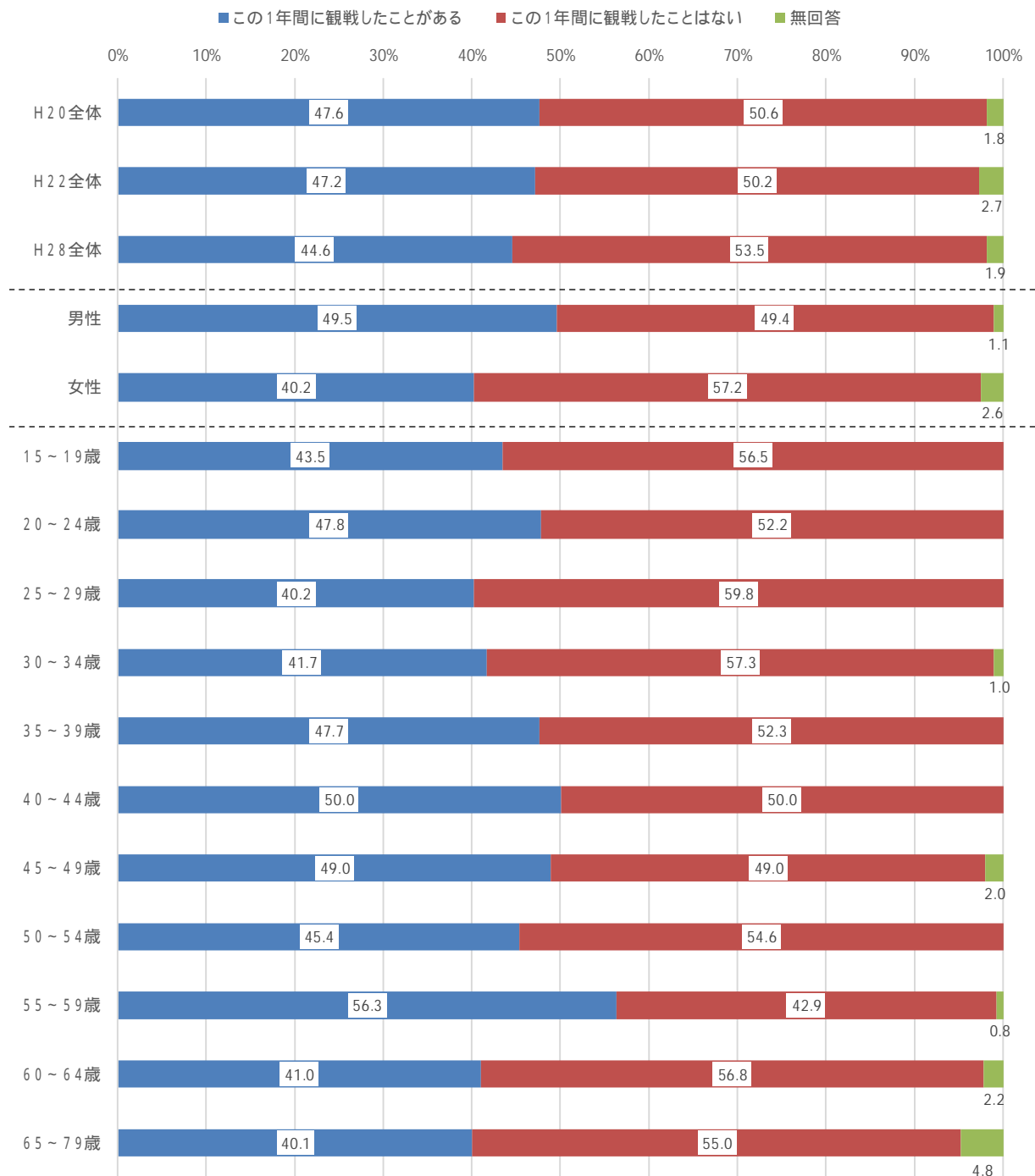


N = 1,444

問3 1. 直近1年間のプロスポーツ等観戦の有無（SA）

「観戦した」は微減、「観戦したことはない」は微増
 男性で「観戦した」が5割
 特定の年代で「観戦した」の割合が高い

全体で見ると、今回は「観戦したことがある」（44.6%）が過去2回に比べわずかに減少。「観戦したことはない」（53.5%）は微増だが、割合としては過去最大値となっている。
 男女別に見ると、男性の方で「観戦したことがある」（49.5%）が高く、5割となっている。
 年代別で見ると、20～24歳、30代中盤～50代後半までの層で「観戦したことがある」の割合が高く、中でも55～59歳では5割を大きく超えている（56.3%）。25～29歳では「観戦したことがない」が6割となっている（59.8%）。



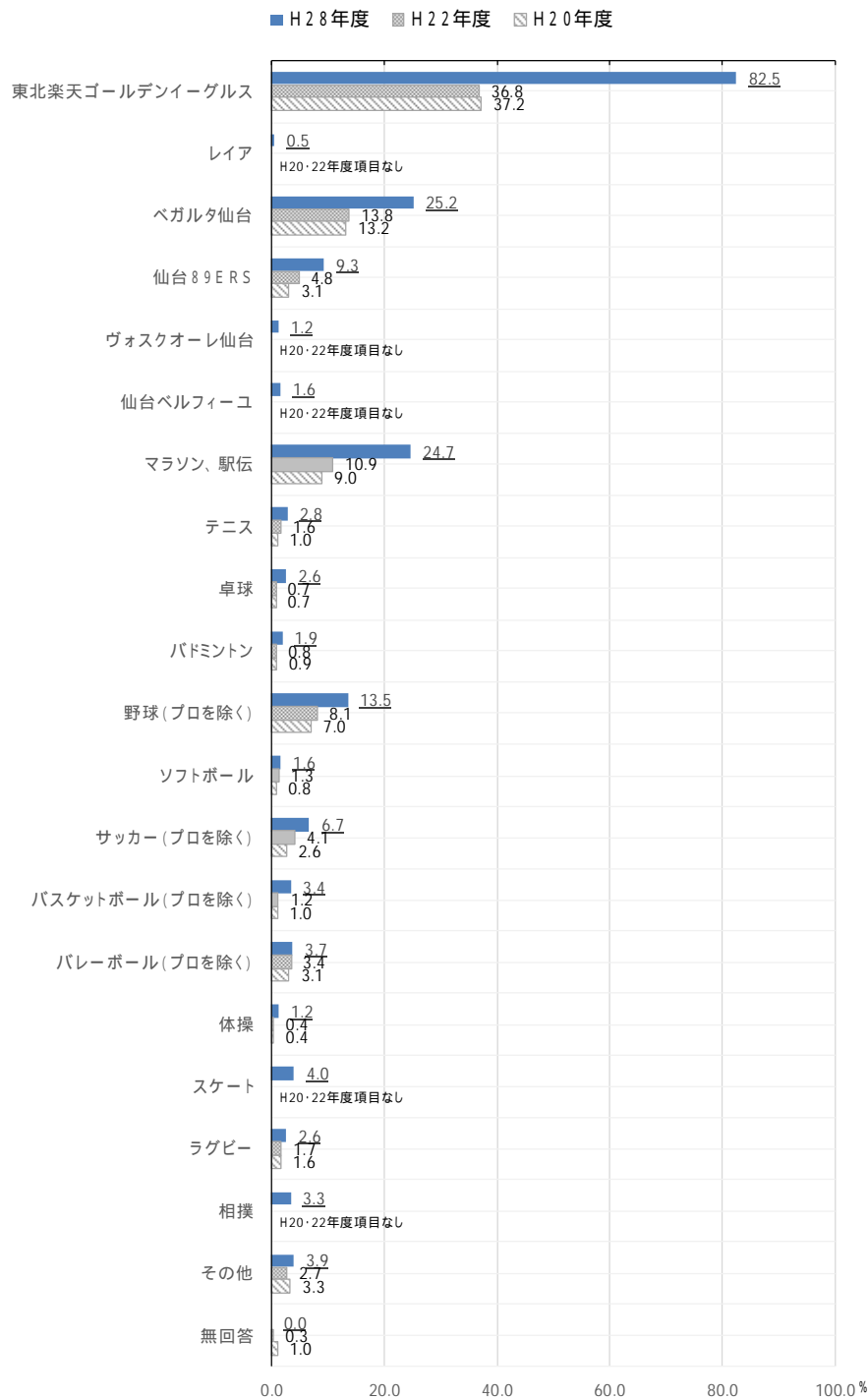
[H20 : N = 1,143 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

問32. 直近1年間で観戦したスポーツの種目(MA)

「楽天」が8割を超えている
 「ベガルタ」以外に、「マラソン、駅伝」人気も高い

当設問は実施年度により選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

今回は「東北楽天ゴールデンイーグルス」の支持割合が飛び抜けて高く、8割を超えている(82.5%)。その他項目を見ると、「ベガルタ仙台」(25.2%)、「マラソン、駅伝」(24.7%)が上位ではあるものの、「東北楽天ゴールデンイーグルス」との差は大きい。また、企業チームの他、スポ少なども考えられる「野球(プロを除く)」(13.5%)も一定以上の支持割合となっている。



[H20 : N = 544 H22 : N = 621 H28 : N = 644]

問33. 今後観戦したいスポーツの種目(MA)

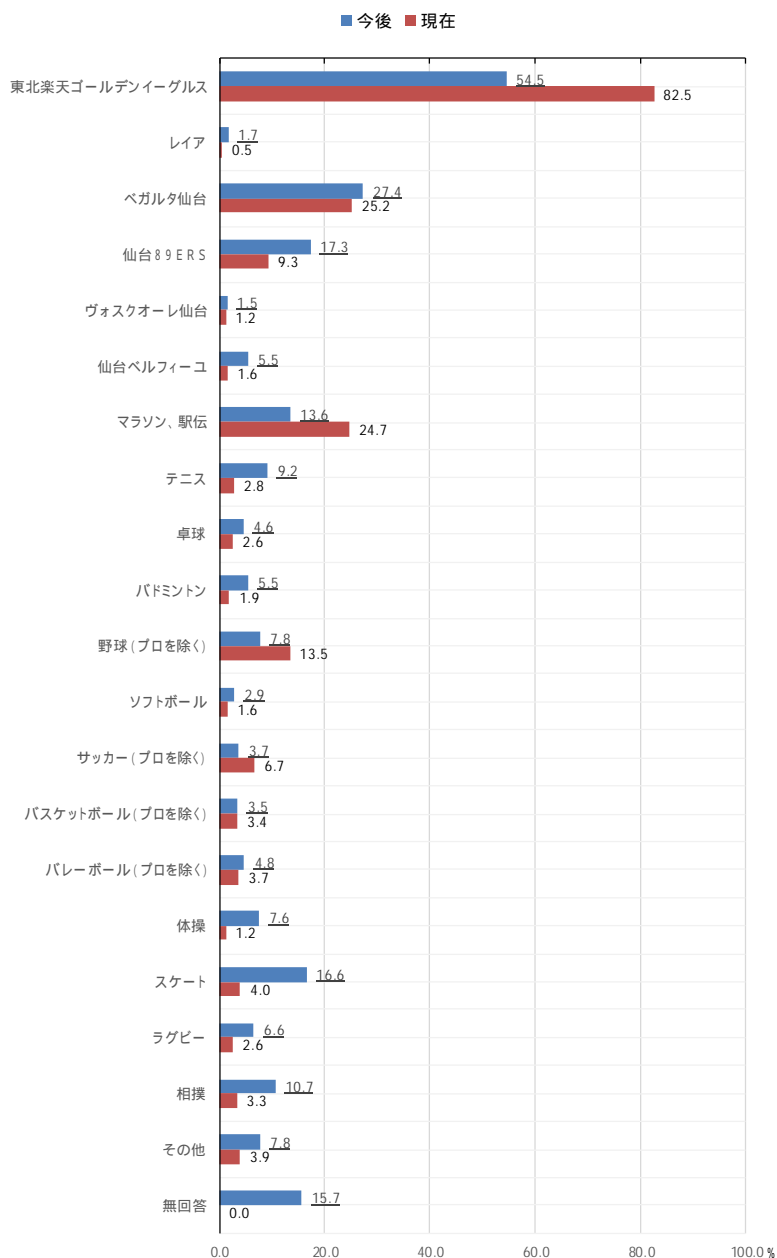
今後の観戦希望も「楽天」が1位、「ベガルタ」も順当に2位
 観戦率が高かった「マラソン、駅伝」は、観戦希望では支持割合が低い
 「89ERS」、「スケート」は観戦希望の割合が高い

当該問(今後)では、前問32の結果(現在・P46参照)と併せて分析を行っている。

観戦率が極めて高かった「東北楽天ゴールデンイーグルス」は割合こそ低下したものの、観戦希望の割合でも5割を超え(54.5%)1位となっている。

観戦率2位の「ベガルタ仙台」は観戦希望の割合も2位となっている(27.4%)。一方、観戦率3位の「マラソン、駅伝」は現状の観戦率に比して今後の観戦希望の割合がかなり低い(13.6%)。

観戦率が低かった「仙台89ERS」(17.3%)と「スケート」(16.6%)は、メジャーな競技で、地元チームと著名選手の輩出という特徴があるためか、観戦希望率が高くなっている。また割合こそ低めだが、「相撲」(10.7%)、「テニス」(9.2%)、「体操」(7.6%)の観戦希望率も比較的高い。



【 現在 : N = 644 今後 : N = 1,444 】

問34 . スポーツボランティア活動への参加経験 (S A)

**元々少ない参加経験者比率は、今回さらに低下
男性で前回からの下がり幅が大きい
15～19歳の層で過去最高・年代別最高の割合**

全体で見ると、元々の参加経験者比率がかなり少ない状況下、今回はさらに少なく（2.9%）、過去2回の半分ほどの割合となっている。

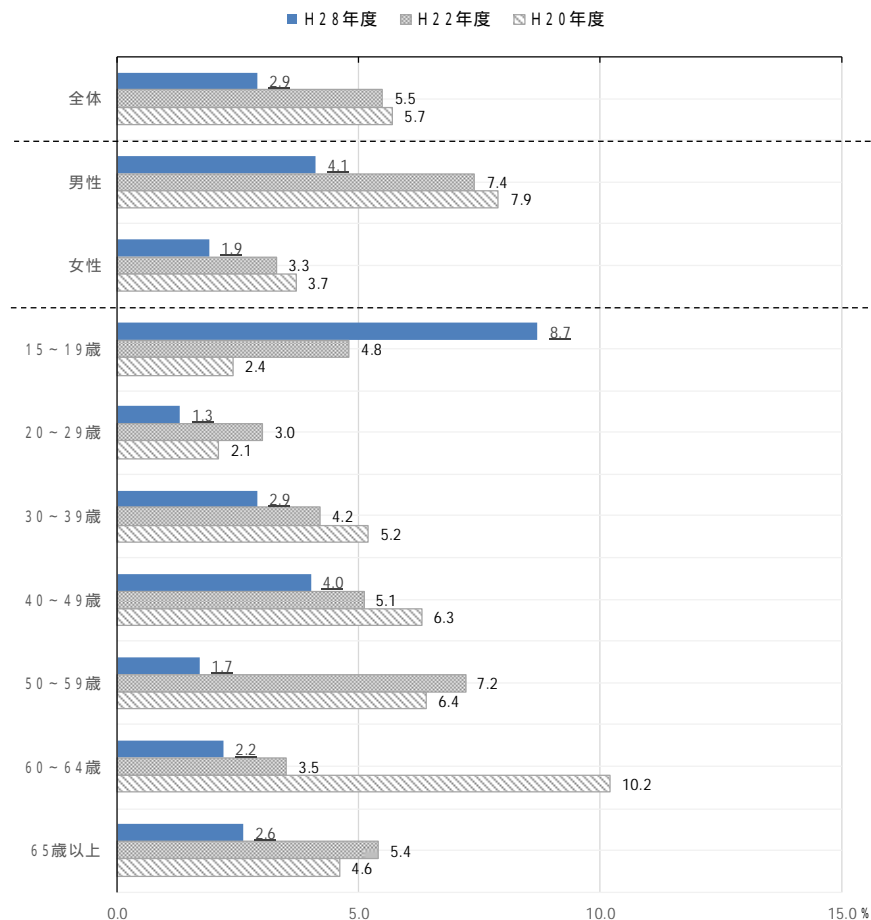
男女別に見ると、双方とも過去2回よりも参加経験者比率は低下しており、特に男性の前回からの下がり幅が大きい（H22年度：7.4%・H28年度：4.1%）。

年代別で見ると、最も若い15～19歳の層で、今回の参加経験者比率が過去最高を記録している（8.7%）。これは今回の全年代中最多であり、過去2回の結果全ての数値を含めても2位に相当する。

50～59歳の層は今回の参加経験者比率が低く（1.7%）、前回（H22年度：7.2%）からの下がり幅が全年代中で最も大きい。

当設問では「活動したことがある」のみを抽出し、集計、作表、分析を行っている

	H28年度		
	活動したことがある	活動したことはない	無回答
全体	2.9%	94.7%	2.4%
男性	4.1%	94.1%	1.8%
女性	1.9%	95.2%	2.8%



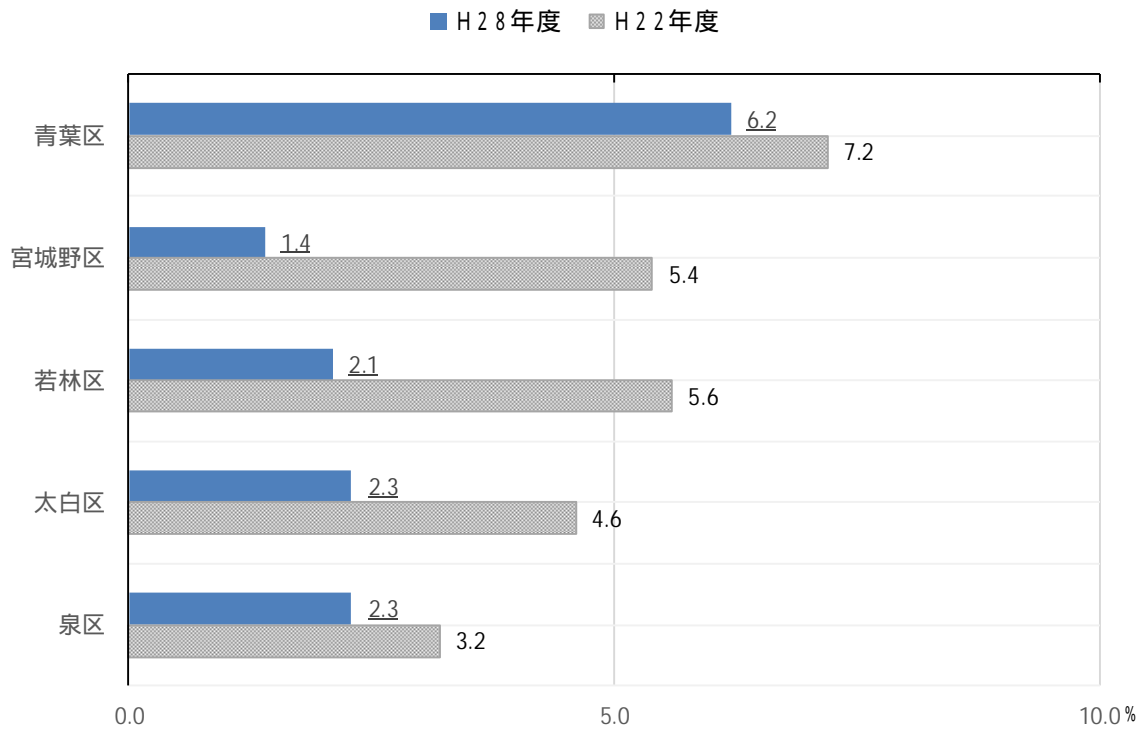
[H20 : N = 1,143 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

「活動したことがある」のみを抽出したグラフである

スポーツボランティア活動への参加経験 ～ 居住区別の比較 ～

前回（H22年度）は居住区ごとの割合に高低の差が見られたが、今回の場合は「青葉区」（6.2%）以外の4区は全て低く、ほぼ同等の割合（1～2%台）となっている。

前回3位（H22年度：5.4%）だった「宮城野区」は今回（1.4%）最下位となっており、前回からの下がり幅が全5区中で最も大きくなっている。



【 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444 】

「活動したことがある」のみを抽出したグラフである

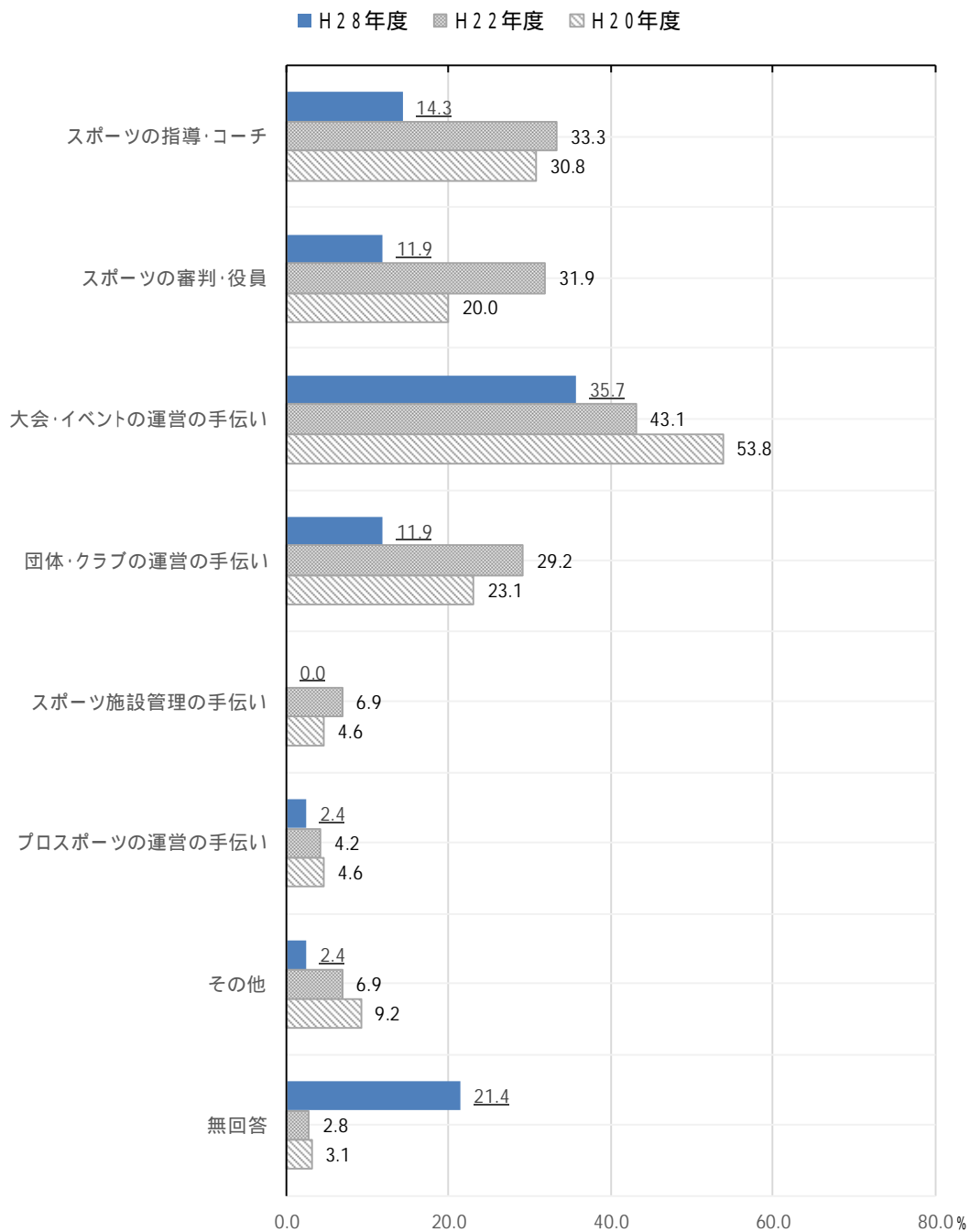
問35 . 直近1年間に従事したスポーツボランティア活動(SA)

1位は過去2回同様「大会・イベントの運営の手伝い」 順位等、全体的な傾向に特に大きな変化はない

当設問は今回と過去2回で設問形態が異なる(今回:単数回答設問・過去2回:複数回答設問)ため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

今回結果を見ると、過去2回同様「大会・イベントの運営の手伝い」が1位(35.7%)。以下、「スポーツの指導・コーチ」(14.3%)、「スポーツの審判・役員」(11.9%)、「スポーツの審判・役員」・「団体・クラブの運営の手伝い」(ともに11.9%)と続く。

設問形態の違い、実施年度ごとの割合の違いはあるが、順位等の全体的な傾向に大きな変化はない。



[H20 : N = 65 H22 : N = 72 H28 : N = 42]

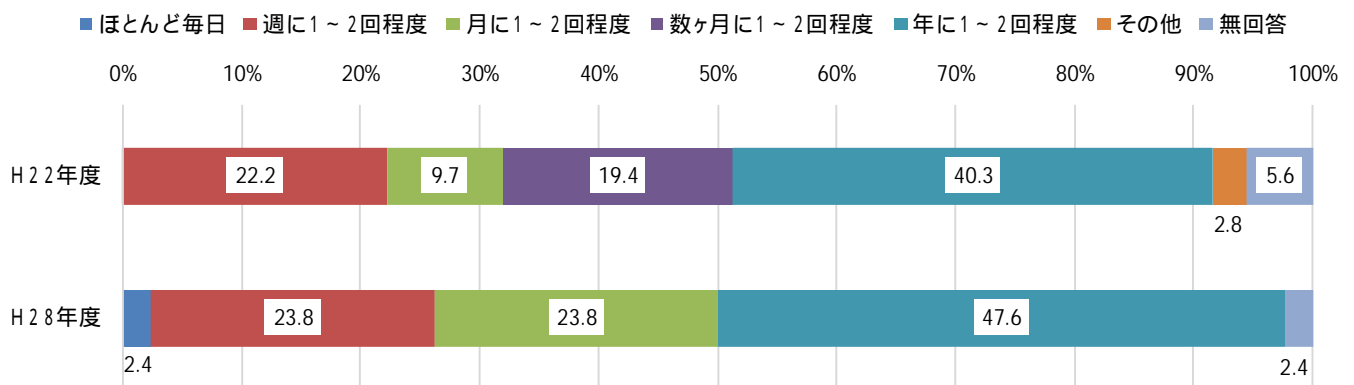
問36 . 直近1年間に従事したスポーツボランティア活動の頻度 (SA)

今回はごく少数ながら「ほとんど毎日」の方が存在する
 今回は“月に1回以上”の高頻度層が半数を占める

当設問は今回と前回で選択肢が一部異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

今回結果を見ると、前回は0であった「ほとんど毎日」がごく少数(2.4%)ながら存在している上、“月に1回以上”(ほとんど毎日+週に1~2回程度+月に1~2回程度)の高頻度層が回答者の半数を占めている(計50.0%)。

「数ヶ月に1~2回程度」はH22年度のみを設定



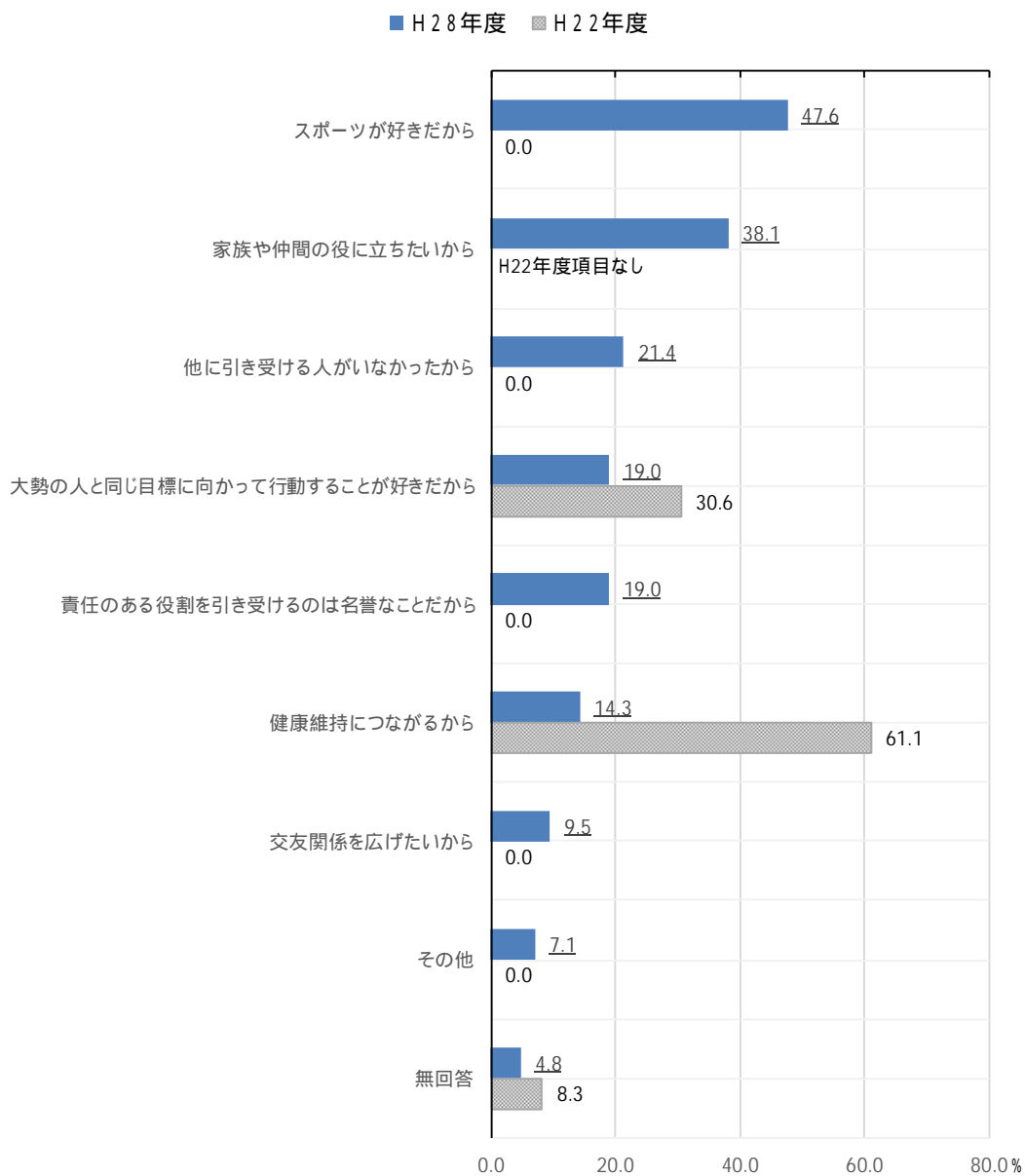
【 H22 : N = 72 H28 : N = 42 】

問37 . スポーツボランティア活動を行なった理由 (MA)

今回1位は「スポーツが好きだから」
 前回1位の「健康維持につながるから」は今回下位グループに

- 1 当設問は今回と前回では設問形態 (H28年度:複数回答設問・H22年度:単数回答設問)と選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。
- 2 当設問は本来回答数が制限 (は3つまで)された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』(MA設問)と同様に扱い、集計・分析を行っている。

今回結果を見ると、1位は「スポーツが好きだから」(47.6%)で、以下「家族や仲間の役に立ちたいから」(38.1%)、「他に引き受ける人がいなかったから」(21.4%)と続く。
 前回1位(61.1%)であった「健康維持につながるから」は、今回は1割超程度(14.3%)であり、下位の順位となっている。



[H22 : N = 72 H28 : N = 42]

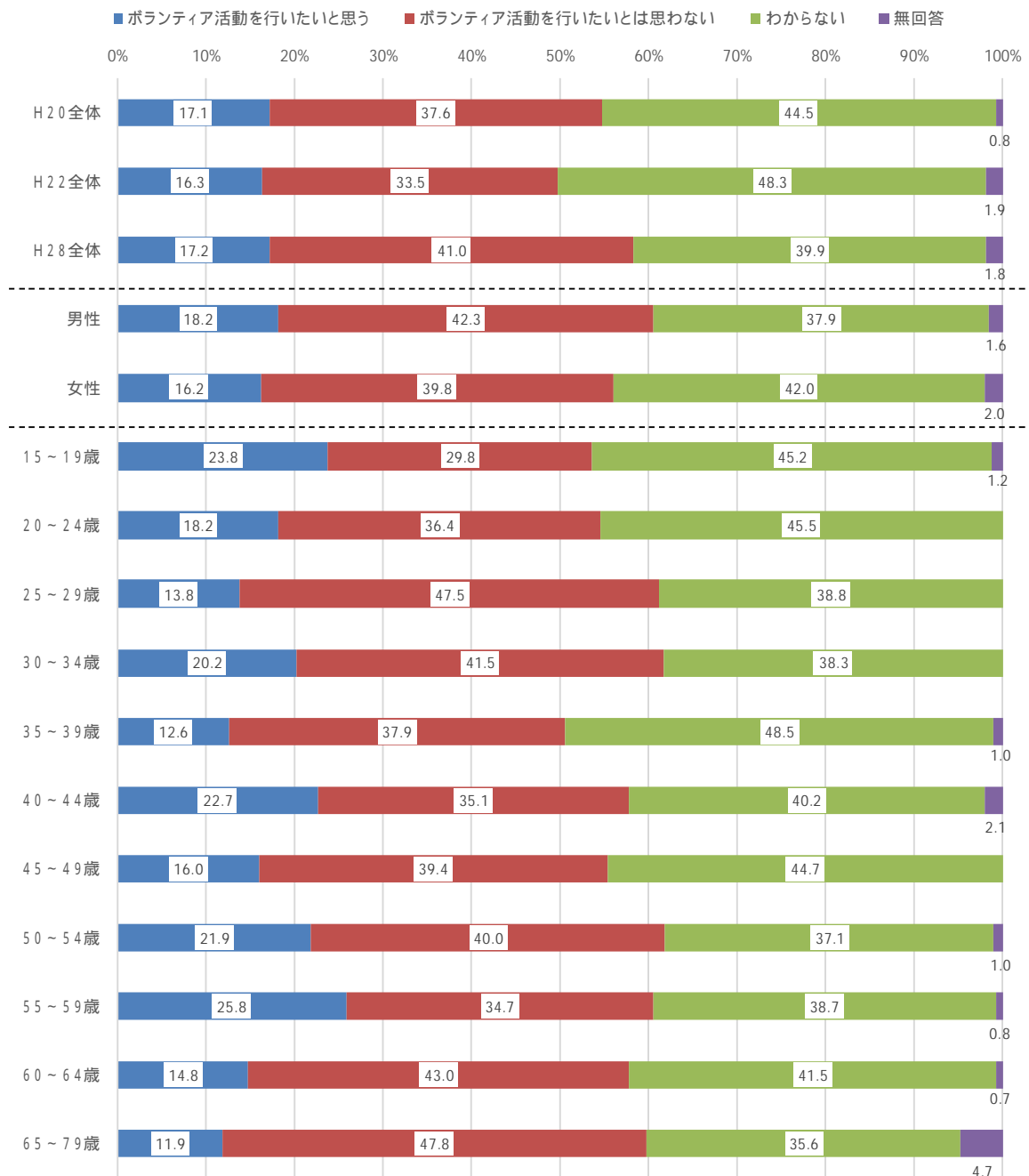
問38 . 今後のスポーツボランティア活動への参加意向 (S A)

**今回は「行いたいとは思わない」が4割を超える
男性では「行いたいと思う」・「行いたいとは思わない」ともに女性より高い
15～19歳、55～59歳で「行いたい」が高い**

全体で見ると、今回は「行いたいと思う」の割合は過去2回とほとんど変わらないものの、「行いたいとは思わない」は初めて4割を超えた(41.0%)

男女別に見ると、男性では「行いたいと思う」(18.2%)「行いたいとは思わない」(42.3%)とも女性より高くなっている。

年代別で見ると、15～19歳(23.8%)55～59歳(25.8%)の層では、各回答者の1/4前後が「行いたいと思う」と回答している。一方、25～29歳(47.5%)65～79歳(47.8%)では、「行いたいとは思わない」が5割近くにも達している。

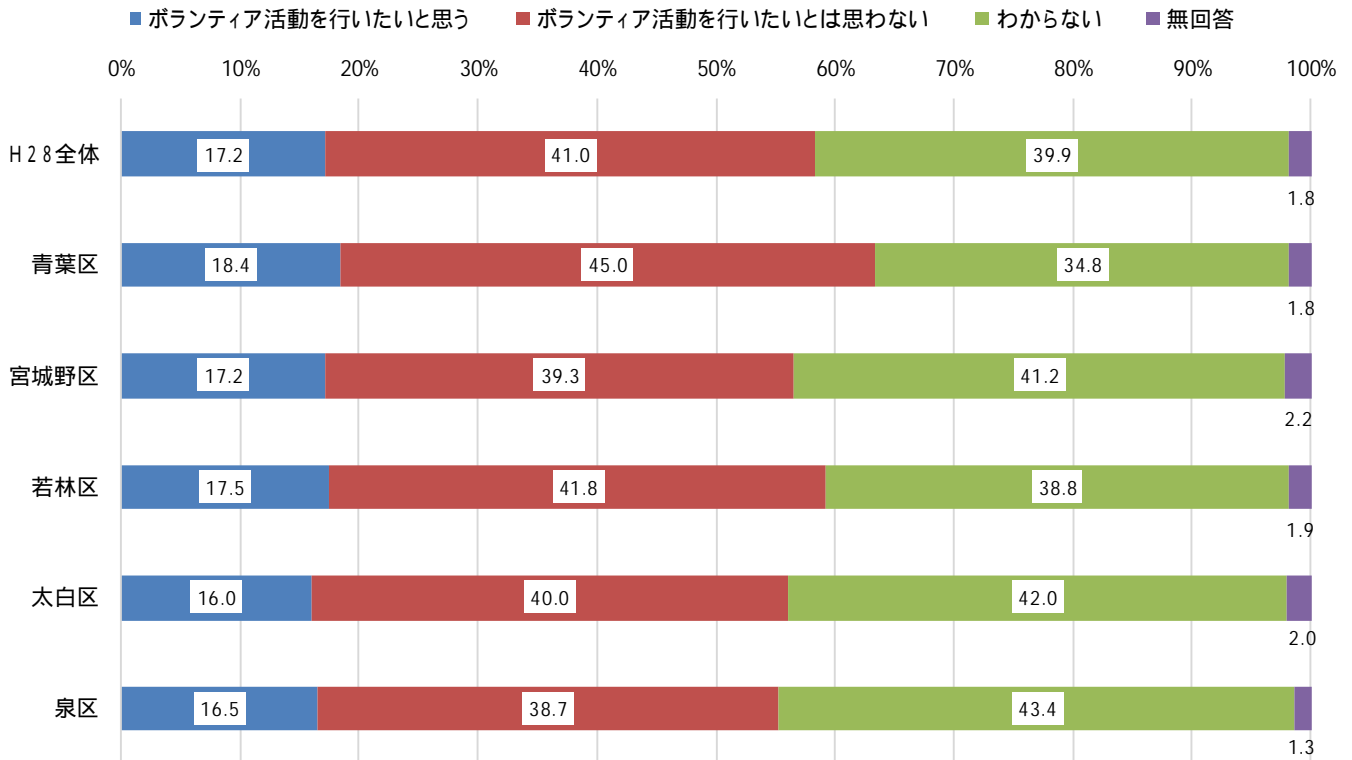


[H20 : N = 1,052 H22 : N = 1,231 H28 : N = 1,367]

今後のスポーツボランティア活動への参加意向 ～ 居住区別の比較 ～

居住区別に見ると、「行いたいと思う」は青葉区で最多（18.4％）となっはいるが、他の4区と差はあまりない状況である。

むしろ差が出ているのは「行いたいとは思わない」の方で、青葉区で4割を大きく超えている（45.0％）ほか、「泉区」（38.7％）、「宮城野区」（39.3％）では4割を切っている。



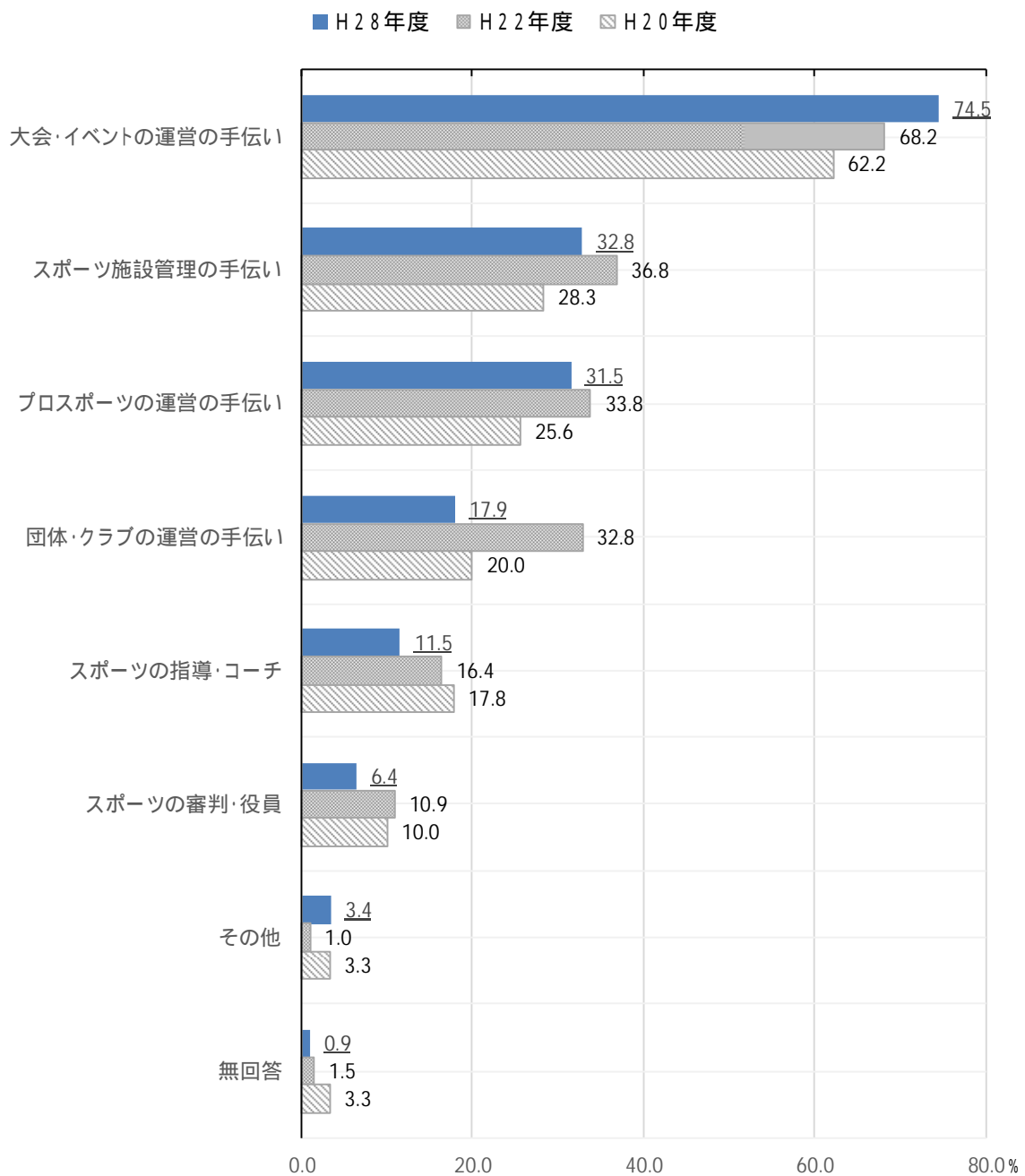
問39 . 希望するスポーツボランティア活動の内容 (MA)

**1位の「大会・イベントの運営の手伝い」は今回7割を超える
「団体・クラブの運営の手伝い」は前回からの下がり幅が非常に大きい**

過去2回の結果で増加の傾向が見られた1位の「大会・イベントの運営の手伝い」は、今回も希望割合がさらに増加、7割を超えている(74.5%)。

以下の項目の順位については、割合の差はあるものの、過去2回と大きく変わらない。

「団体・クラブの運営の手伝い」は、順位こそ過去2回と同じであるが、前回からの下がり幅が非常に大きい(H22年度:32.8%・H28年度:17.9%)。



[H20 : N = 180 H22 : N = 201 H28 : N = 235]

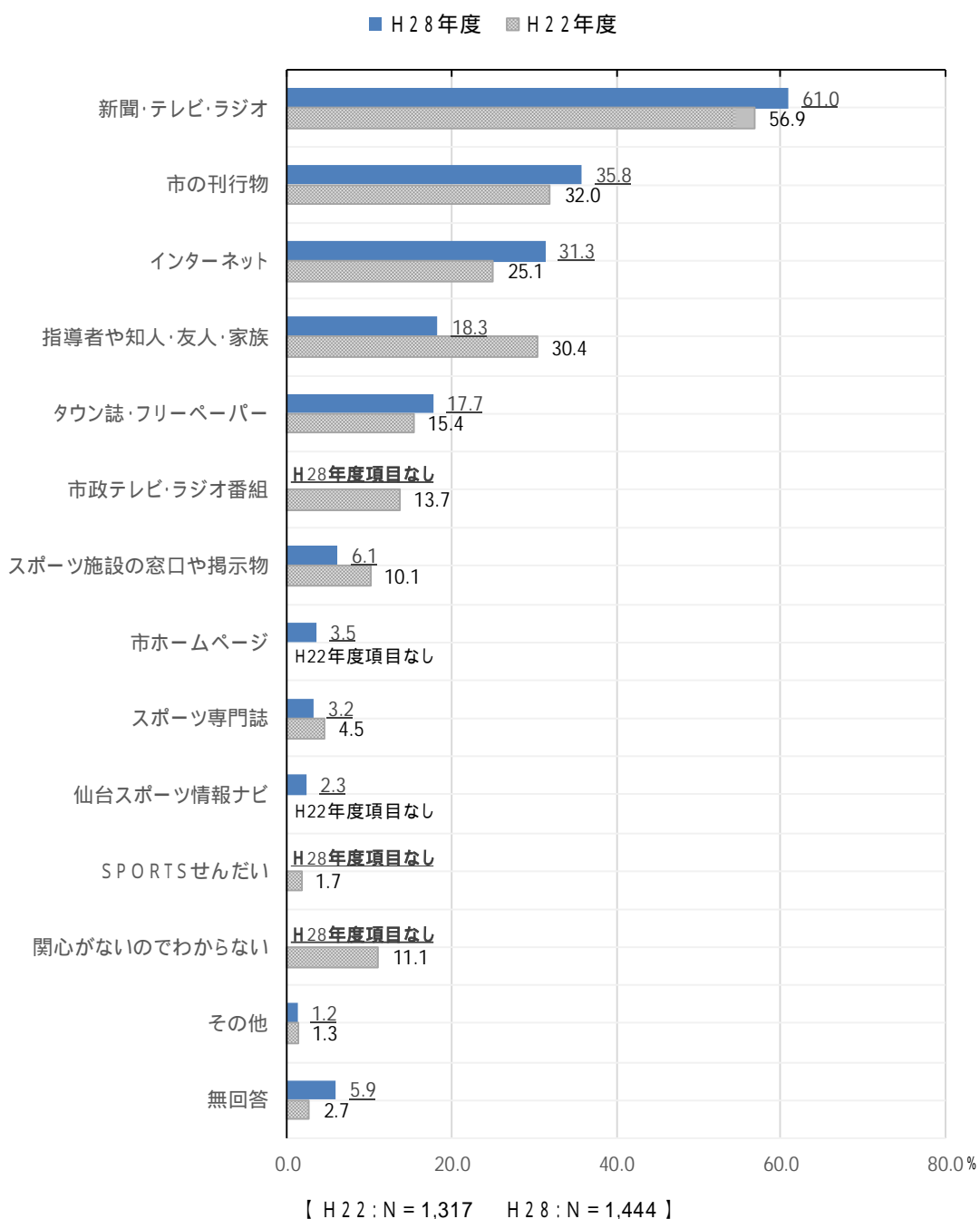
問 4 0 . スポーツ情報のソース・情報源 (M A)

1位の「新聞・テレビ・ラジオ」は今回6割を超える 「市の刊行物」「インターネット」「タウン誌等」は前回より増加

当設問は今回と前回で選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

今回の結果を見ると、前回の1位(56.9%)であった「新聞・テレビ・ラジオ」がさらに割合を伸ばし、6割を超えている(61.0%)。「市の刊行物」(35.8%)、「インターネット」(31.3%)、「タウン誌・フリーペーパー」(17.7%)も今回は希望割合が上昇している。

一方、「指導者や知人・友人・家族」(18.3%)、「スポーツ施設の窓口や掲示物」(6.1%)は、前回より希望割合が低く、特に「指導者や知人・友人・家族」の下落幅が大きい(H22年度:30.4%・H28年度:18.3%)。



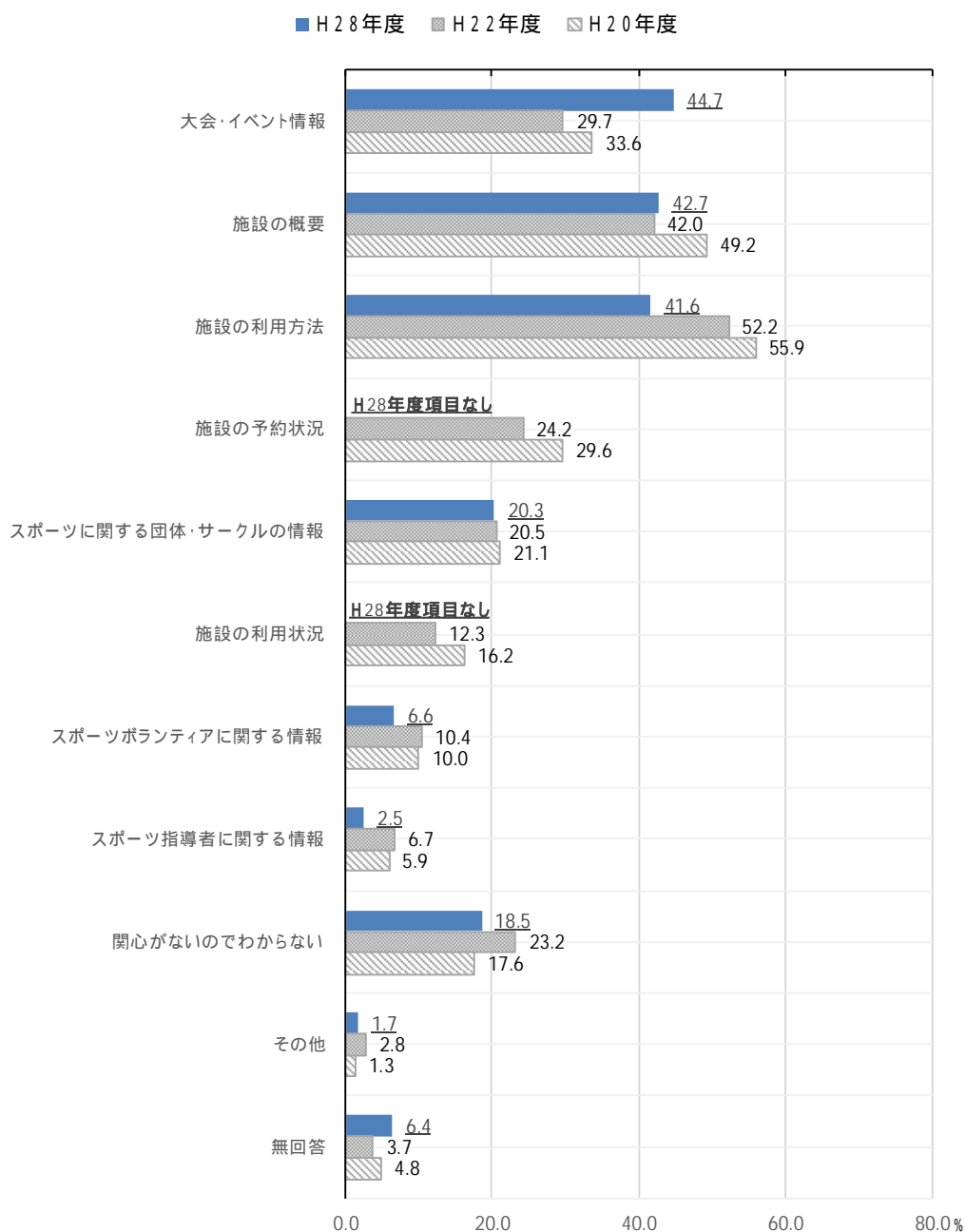
問 4 1 . 知りたいスポーツ情報 (M A)

今回は「大会・イベント情報」・「施設の概要」・「施設の利用方法」がほぼ同割合
「スポーツに関する団体等の情報」のニーズは不変

当設問は今回と過去2回で選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

今回の結果を見ると、最多は「大会・イベント情報」(44.7%)で、以下「施設の概要」(42.7%)、「施設の利用方法」(41.6%)となっているが、過去2回とは順位・項目別割合がかなり変動している上、この3項目はほぼ同じ支持割合となっている。

大概の場合、各項目の支持割合は実施年度ごとにかなり違うものであるが、「スポーツに関する団体・サークルの情報」は選択肢の構成が変わっても、どの実施年度でも2割をキープしており、根強いニーズがある項目だと言える。(H20年度:21.1%・H22年度:20.5%・H28年度:20.3%)



[H20 : N = 1,143 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

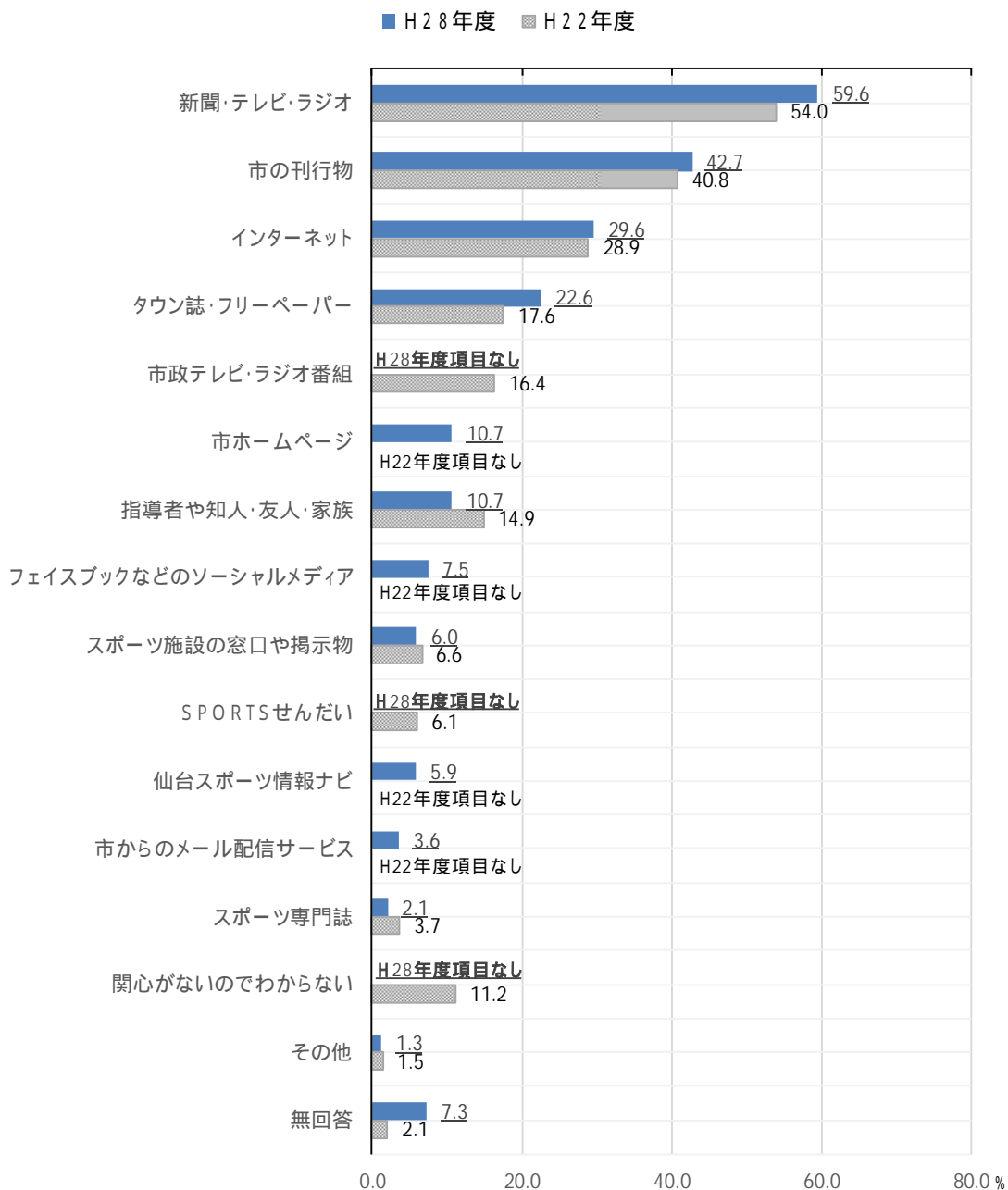
問 4 2 . 今後スポーツ情報を入手したいソース・情報源 (M A)

1位の「新聞・テレビ・ラジオ」は今回6割に達する 上位項目の「市の刊行物」・「インターネット」・「タウン誌」も上昇

- 1 当設問は今回と前回で選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。
- 2 当設問は本来回答数が制限（は3つまで）された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』（MA設問）と同様に扱い、集計、分析を行っている。

今回の結果を見ると、基本順位は前回（H22年度）と同じであるが、「新聞・テレビ・ラジオ」（59.6%）、「市の刊行物」（42.7%）、「インターネット」（29.6%）、「タウン誌・フリーペーパー」（22.6%）の上位4項目の割合が、全て前回結果より上昇している。

「インターネット」（29.6%）は3割だが、同系統の「市ホームページ」（10.7%）、「フェイスブックなどのソーシャルメディア」（7.5%）は1割程度でしかない。



【 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444 】

< 参考 > スポーツ情報のソース・情報源 (問40) ~ 男女別・年代別 ~

単位: %

	新聞・テレビ・ラジオ	市の刊行物	インターネット	族指導者や知人・友人・家族	タウン誌・フリーペーパー	スポーツ施設の窓口や掲示物	市ホームページ	スポーツ専門誌	仙台スポーツ情報ナビ	その他	無回答
H28全体	61.0	35.8	31.3	18.3	17.7	6.1	3.5	3.2	2.3	1.2	5.9
男性	64.0	27.6	38.1	17.0	11.5	5.2	4.0	5.7	2.6	1.1	6.0
15～19歳	58.5	12.2	53.7	34.1	4.9	7.3	2.4	14.6	9.8	-	-
20～24歳	30.0	10.0	56.7	23.3	-	10.0	6.7	16.7	13.3	3.3	13.3
25～29歳	39.4	9.1	66.7	18.2	9.1	6.1	6.1	15.2	-	-	6.1
30～34歳	47.4	21.1	50.0	10.5	13.2	5.3	2.6	-	-	2.6	10.5
35～39歳	40.9	31.8	50.0	27.3	13.6	6.8	6.8	9.1	2.3	-	2.3
40～44歳	42.9	23.8	50.0	28.6	21.4	-	2.4	-	-	-	11.9
45～49歳	68.9	17.8	46.7	20.0	11.1	-	-	4.4	-	4.4	6.7
50～54歳	46.2	41.0	56.4	17.9	20.5	7.7	10.3	2.6	5.1	2.6	5.1
55～59歳	70.7	20.7	43.1	10.3	12.1	6.9	3.4	-	-	-	5.2
60～64歳	76.1	23.9	34.3	13.4	10.4	6.0	1.5	7.5	1.5	-	3.0
65～79歳	80.6	39.4	15.7	11.1	10.6	4.2	4.2	4.2	2.3	0.9	6.0
女性	59.0	43.4	25.8	19.6	23.2	7.0	3.1	1.0	1.8	1.3	5.8
15～19歳	45.1	5.9	45.1	31.4	-	5.9	2.0	-	2.0	2.0	7.8
20～24歳	58.3	19.4	50.0	22.2	11.1	5.6	2.8	2.8	2.8	-	5.6
25～29歳	49.0	32.7	42.9	10.2	20.4	6.1	2.0	-	2.0	4.1	4.1
30～34歳	29.3	46.6	37.9	20.7	31.0	6.9	3.4	3.4	1.7	-	5.2
35～39歳	36.9	43.1	36.9	27.7	35.4	4.6	4.6	1.5	1.5	1.5	4.6
40～44歳	65.5	43.1	46.6	27.6	41.4	12.1	5.2	3.4	3.4	-	1.7
45～49歳	50.9	47.2	26.4	20.8	37.7	5.7	3.8	-	3.8	-	7.5
50～54歳	73.5	57.4	32.4	16.2	30.9	7.4	1.5	-	2.9	1.5	-
55～59歳	69.1	51.5	23.5	17.6	23.5	5.9	4.4	-	-	-	2.9
60～64歳	65.7	58.6	5.7	15.7	21.4	5.7	4.3	-	-	1.4	2.9
65～79歳	69.8	43.7	3.0	15.6	13.6	8.0	1.0	0.5	1.5	2.0	11.1

第1位の項目

第2位の項目

第3位の項目

< 参考 > 知りたいスポーツ情報（問41） ～ 男女別・年代別 ～

単位：%

	大会・イベント情報	施設の概要	施設の利用方法	スポーツに関する団体・サークルの情報	スポーツボランティアに関する情報	スポーツ指導者に関する情報	い関心が無いのでわからない	その他	無回答
H28全体	44.7	42.7	41.6	20.3	6.6	2.5	18.5	1.7	6.4
男性	50.5	43.0	39.5	17.9	6.6	3.2	16.8	1.7	6.4
15～19歳	48.8	48.8	29.3	24.4	2.4	4.9	17.1	-	2.4
20～24歳	36.7	50.0	46.7	23.3	10.0	3.3	23.3	-	3.3
25～29歳	66.7	36.4	45.5	18.2	3.0	-	12.1	3.0	6.1
30～34歳	50.0	52.6	44.7	23.7	2.6	2.6	7.9	2.6	7.9
35～39歳	52.3	52.3	45.5	18.2	6.8	6.8	22.7	-	4.5
40～44歳	52.4	50.0	52.4	16.7	4.8	-	19.0	-	2.4
45～49歳	62.2	51.1	46.7	22.2	11.1	8.9	11.1	-	6.7
50～54歳	53.8	38.5	51.3	20.5	5.1	2.6	15.4	2.6	2.6
55～59歳	51.7	43.1	41.4	24.1	10.3	3.4	15.5	1.7	3.4
60～64歳	53.7	46.3	49.3	19.4	6.0	3.0	11.9	-	4.5
65～79歳	44.9	34.7	27.3	11.6	6.9	2.3	19.0	3.2	10.6
女性	39.9	43.1	43.9	22.6	6.7	1.9	20.1	1.8	6.5
15～19歳	39.2	35.3	31.4	25.5	13.7	2.0	33.3	-	-
20～24歳	38.9	41.7	47.2	30.6	11.1	5.6	30.6	-	-
25～29歳	34.7	49.0	57.1	20.4	4.1	2.0	20.4	2.0	4.1
30～34歳	51.7	60.3	51.7	31.0	8.6	5.2	17.2	-	-
35～39歳	46.2	47.7	52.3	23.1	4.6	1.5	12.3	3.1	4.6
40～44歳	41.4	56.9	62.1	29.3	12.1	1.7	13.8	-	1.7
45～49歳	58.5	41.5	47.2	30.2	7.5	3.8	9.4	-	3.8
50～54歳	54.4	44.1	39.7	22.1	5.9	2.9	19.1	1.5	1.5
55～59歳	48.5	55.9	54.4	23.5	10.3	1.5	10.3	2.9	1.5
60～64歳	32.9	45.7	41.4	30.0	5.7	-	21.4	-	4.3
65～79歳	24.1	27.1	29.6	11.1	2.0	0.5	26.1	4.0	18.6

第1位の項目

第2位の項目

第3位の項目

< 参考 > 今後スポーツ情報を入手したいソース・情報源(問42) ~ 男女別・年代別 ~

単位: %

	新聞・テレビ・ラジオ	市の刊行物	インターネット	タウン誌・フリーペーパー	市ホームページ	族指導者や知人・友人・家族	フェイスブックなどのソーシャルメディア	スポーツ施設の窓口や掲示物	仙台スポーツ情報ナビ	市からのメール配信サービス	スポーツ専門誌	その他	無回答
H28全体	59.6	42.7	29.6	22.6	10.7	10.7	7.5	6.0	5.9	3.6	2.1	1.3	7.3
男性	61.4	35.2	36.1	15.3	12.7	9.8	7.4	6.1	7.4	4.4	3.2	1.8	7.2
15～19歳	53.7	19.5	68.3	17.1	12.2	29.3	14.6	9.8	4.9	-	4.9	-	2.4
20～24歳	53.3	20.0	50.0	6.7	6.7	16.7	33.3	6.7	6.7	-	6.7	3.3	6.7
25～29歳	24.2	21.2	57.6	27.3	15.2	12.1	12.1	6.1	12.1	3.0	6.1	3.0	9.1
30～34歳	50.0	21.1	47.4	18.4	18.4	2.6	13.2	2.6	5.3	2.6	-	2.6	7.9
35～39歳	50.0	36.4	43.2	25.0	15.9	6.8	6.8	11.4	9.1	4.5	2.3	4.5	6.8
40～44歳	42.9	38.1	47.6	19.0	16.7	4.8	7.1	7.1	11.9	7.1	7.1	2.4	9.5
45～49歳	55.6	26.7	42.2	20.0	8.9	11.1	13.3	-	8.9	11.1	-	4.4	6.7
50～54歳	46.2	41.0	53.8	15.4	15.4	15.4	12.8	2.6	7.7	2.6	2.6	-	5.1
55～59歳	62.1	25.9	39.7	19.0	17.2	8.6	5.2	6.9	12.1	3.4	1.7	-	6.9
60～64歳	68.7	35.8	26.9	13.4	14.9	7.5	4.5	11.9	9.0	7.5	6.0	-	6.0
65～79歳	78.2	46.3	16.2	9.7	9.3	7.4	-	4.6	3.7	3.2	2.3	1.9	8.3
女性	58.5	49.7	24.3	28.8	9.2	11.5	7.7	6.1	4.6	3.0	1.2	0.9	7.5
15～19歳	51.0	9.8	45.1	7.8	11.8	23.5	19.6	7.8	5.9	7.8	2.0	2.0	3.9
20～24歳	52.8	25.0	52.8	27.8	8.3	19.4	22.2	11.1	-	-	5.6	-	2.8
25～29歳	42.9	38.8	40.8	32.7	16.3	6.1	28.6	4.1	8.2	-	-	2.0	10.2
30～34歳	27.6	51.7	36.2	48.3	15.5	17.2	15.5	5.2	10.3	3.4	-	-	-
35～39歳	35.4	50.8	38.5	33.8	13.8	16.9	10.8	3.1	10.8	3.1	3.1	-	3.1
40～44歳	56.9	41.4	27.6	46.6	10.3	13.8	12.1	3.4	10.3	6.9	1.7	1.7	3.4
45～49歳	58.5	60.4	24.5	37.7	5.7	9.4	3.8	3.8	3.8	3.8	1.9	-	5.7
50～54歳	69.1	52.9	27.9	33.8	7.4	7.4	-	1.5	2.9	4.4	1.5	-	1.5
55～59歳	70.6	63.2	22.1	30.9	11.8	5.9	2.9	5.9	2.9	2.9	-	-	5.9
60～64歳	70.0	68.6	10.0	30.0	8.6	8.6	-	7.1	2.9	-	-	-	2.9
65～79歳	69.3	52.3	3.5	14.6	3.0	9.0	0.5	8.5	1.0	1.5	0.5	2.0	18.1

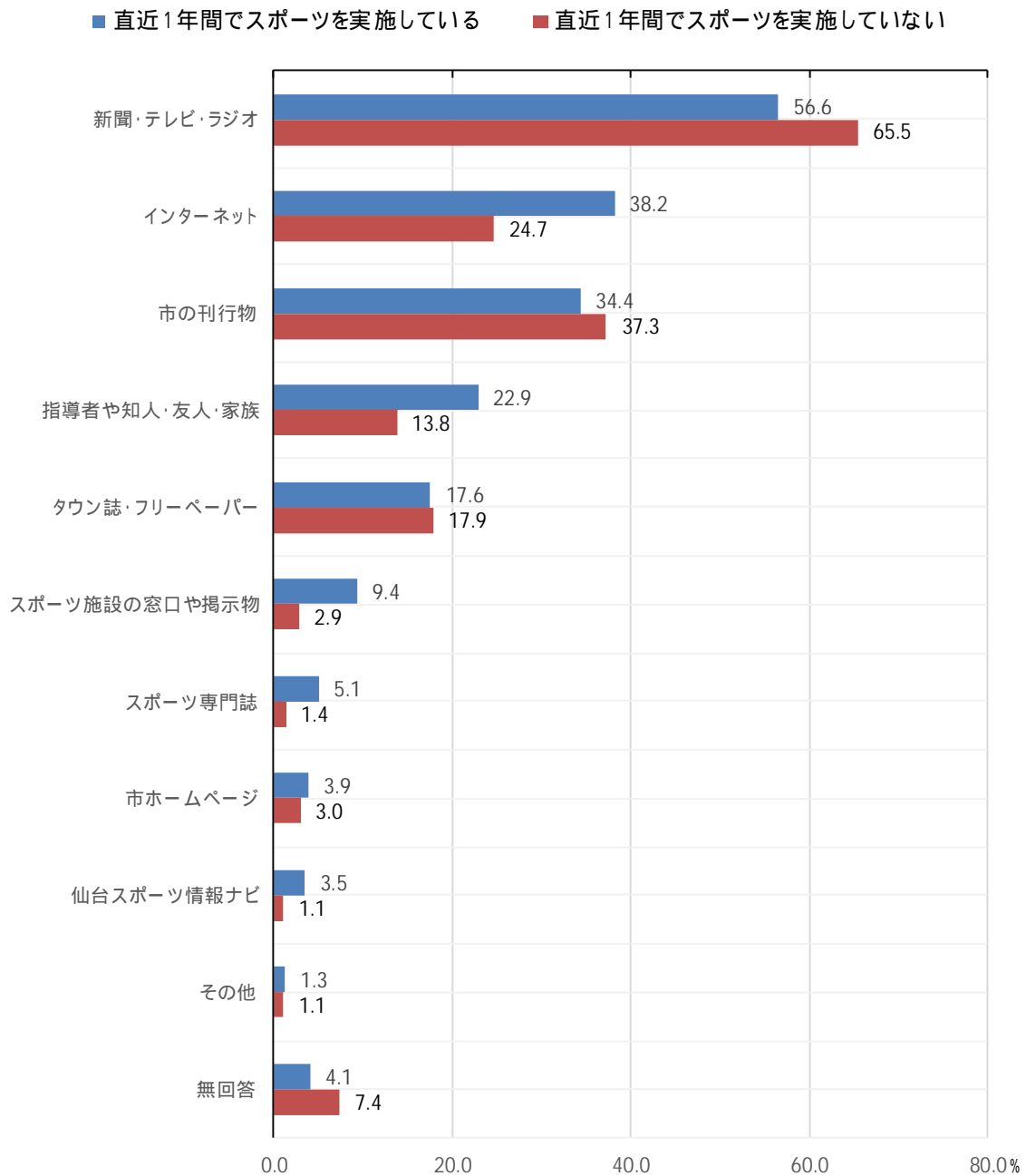
第1位の項目

第2位の項目

第3位の項目

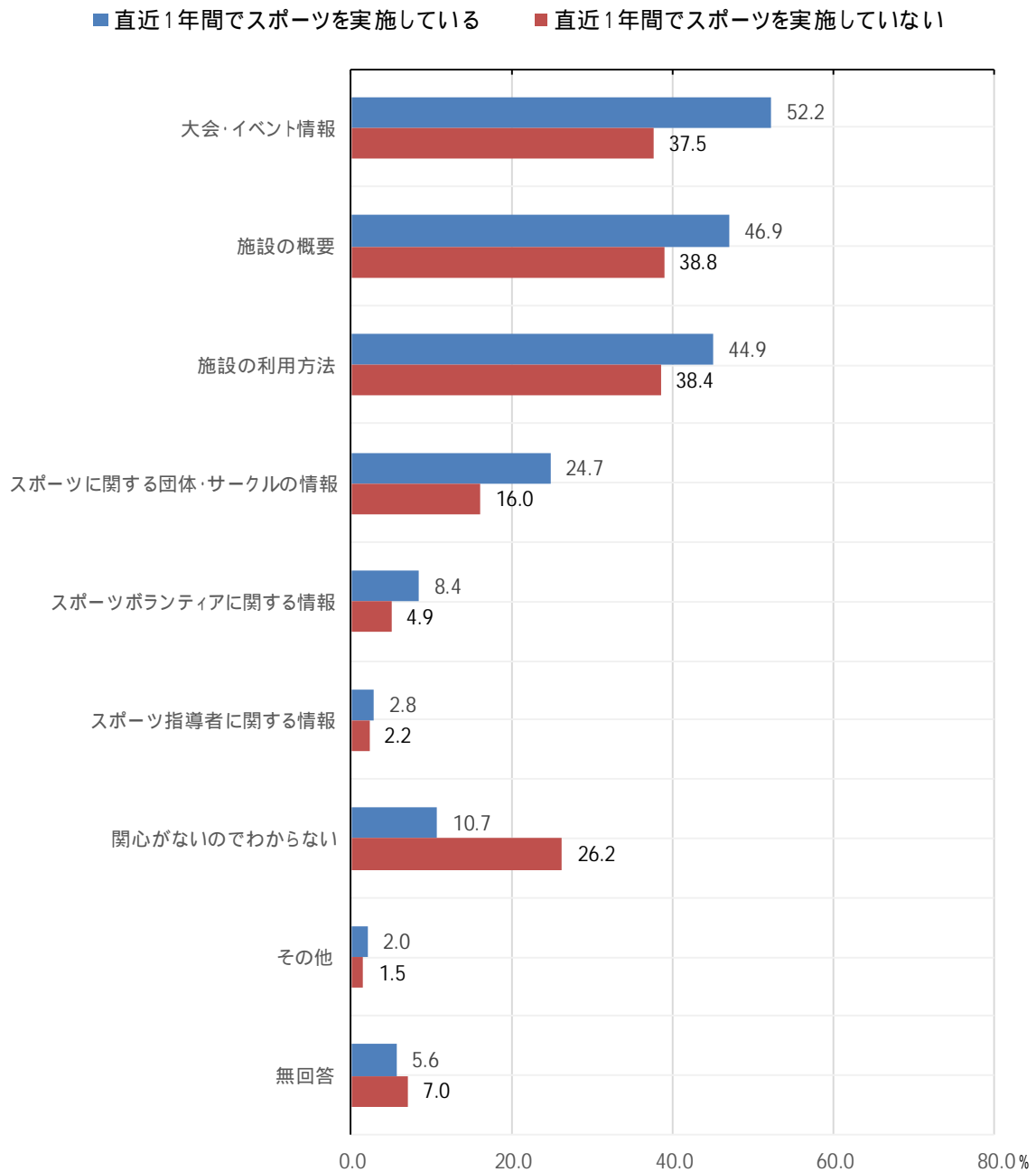
< 参考 > スポーツに関する情報について ~ 直近1年間のスポーツの有無別 ~

問40 . スポーツ情報のソース・情報源



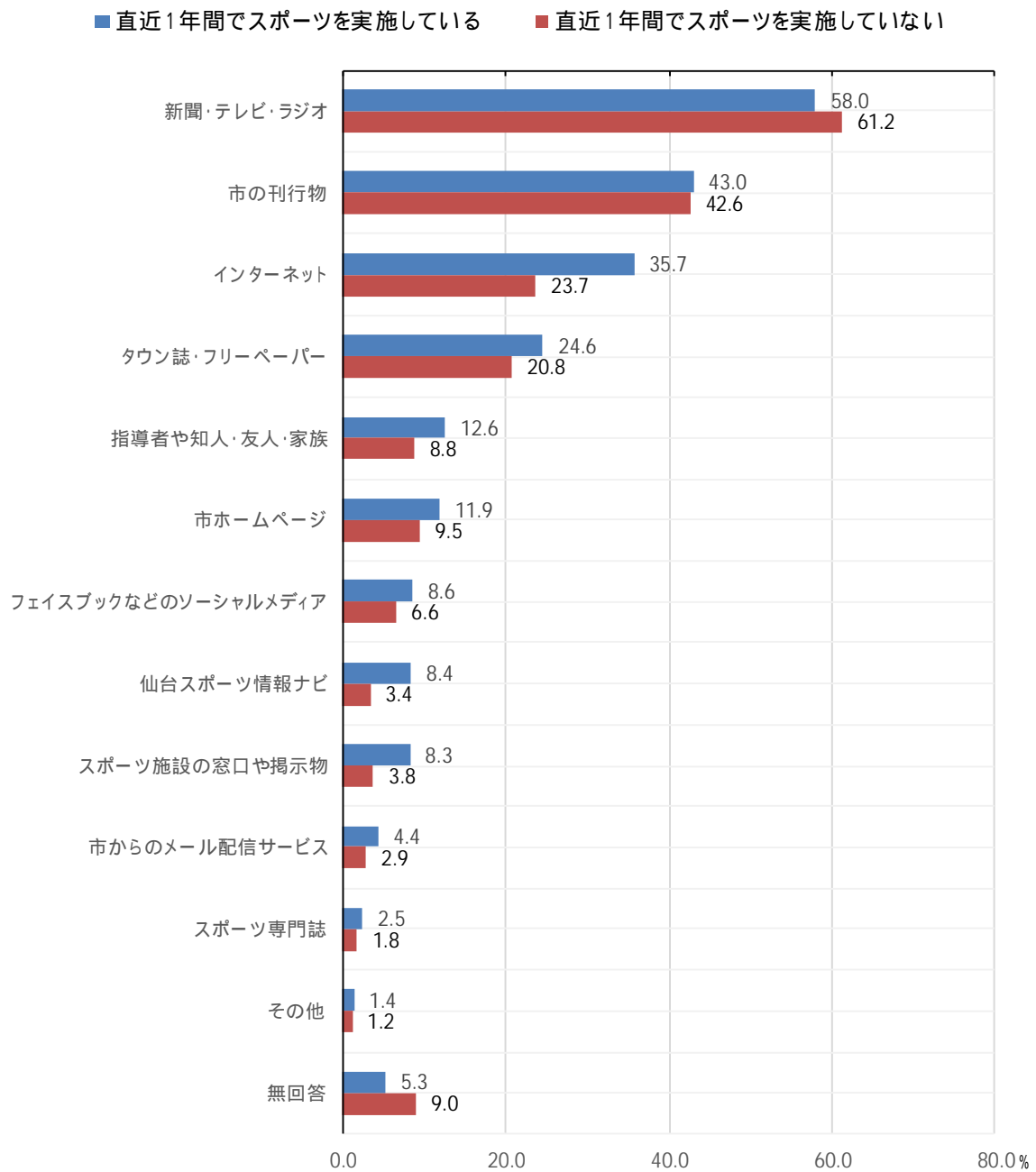
【 直近1年間でスポーツを実施している：N = 712 直近1年間でスポーツを実施していない：N = 730 】

問 4 1 . 知りたいスポーツ情報



【 直近1年間でスポーツを実施している : N = 712 直近1年間でスポーツを実施していない : N = 730 】

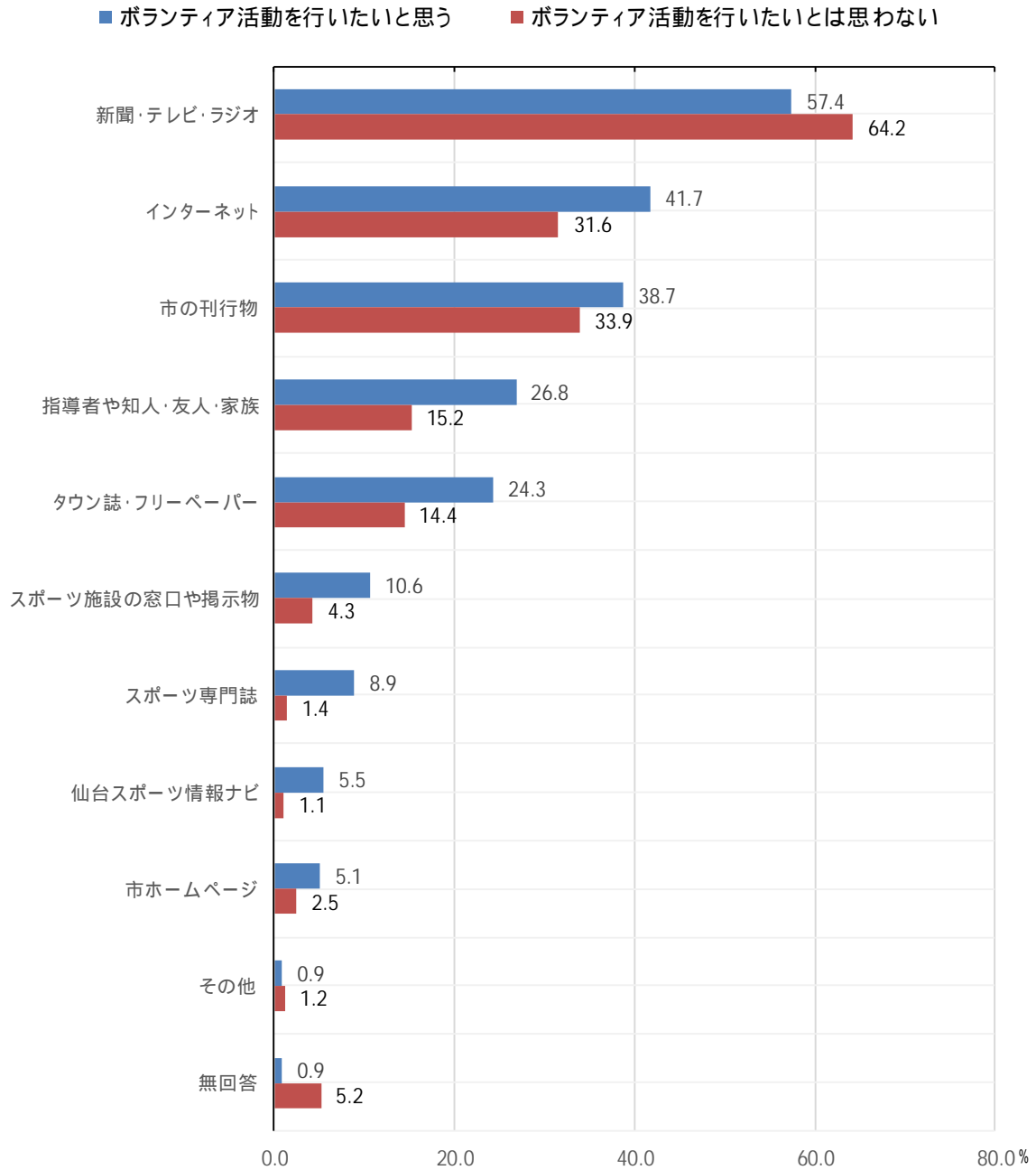
問 4 2 . 今後スポーツ情報を入手したいソース・情報源



【 直近1年間でスポーツを実施している：N = 712 直近1年間でスポーツを実施していない：N = 730 】

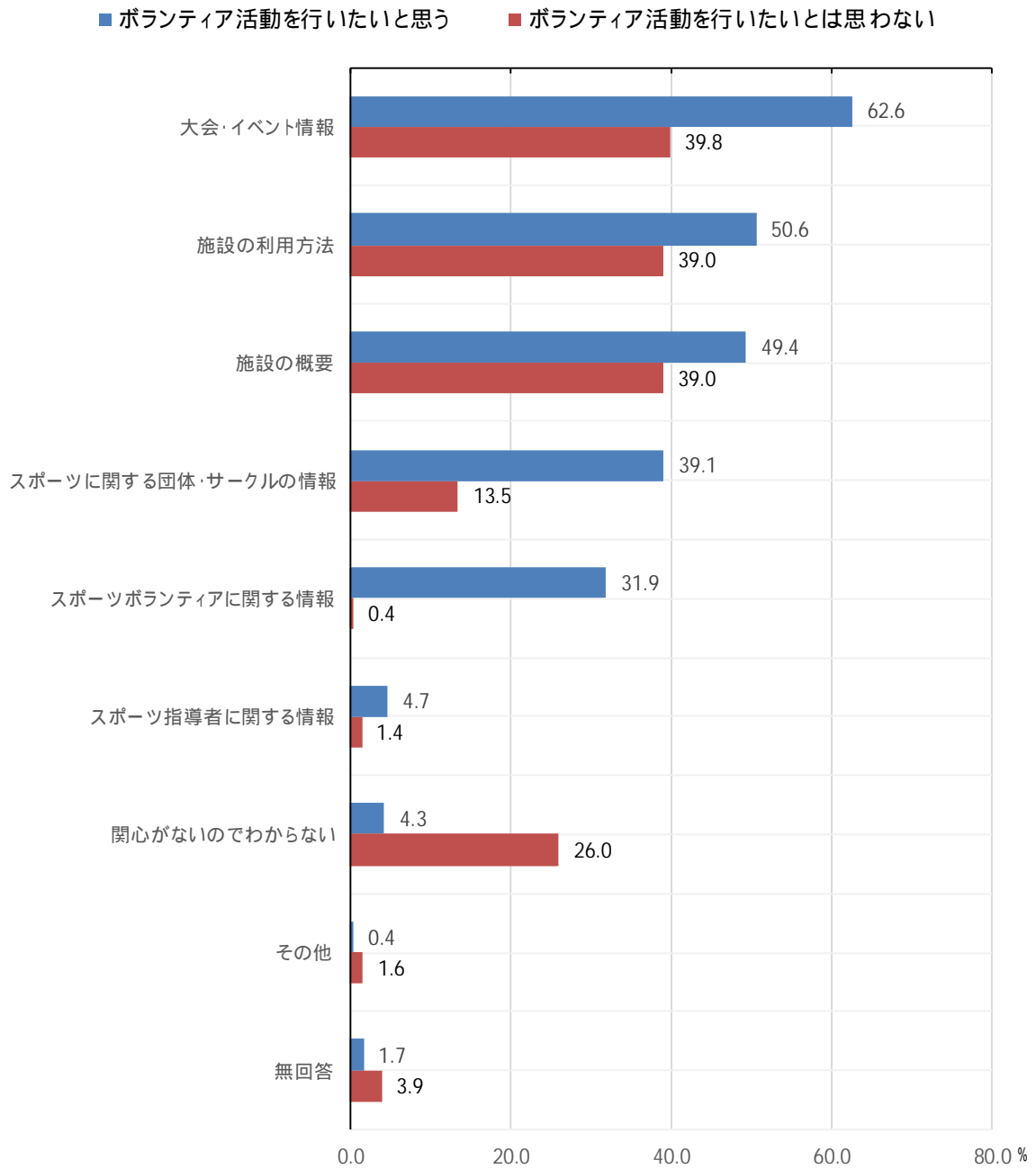
< 参考 > スポーツに関する情報について ~ 今後のスポーツボランティアの参加意向別 ~

問 4 0 . スポーツ情報のソース・情報源



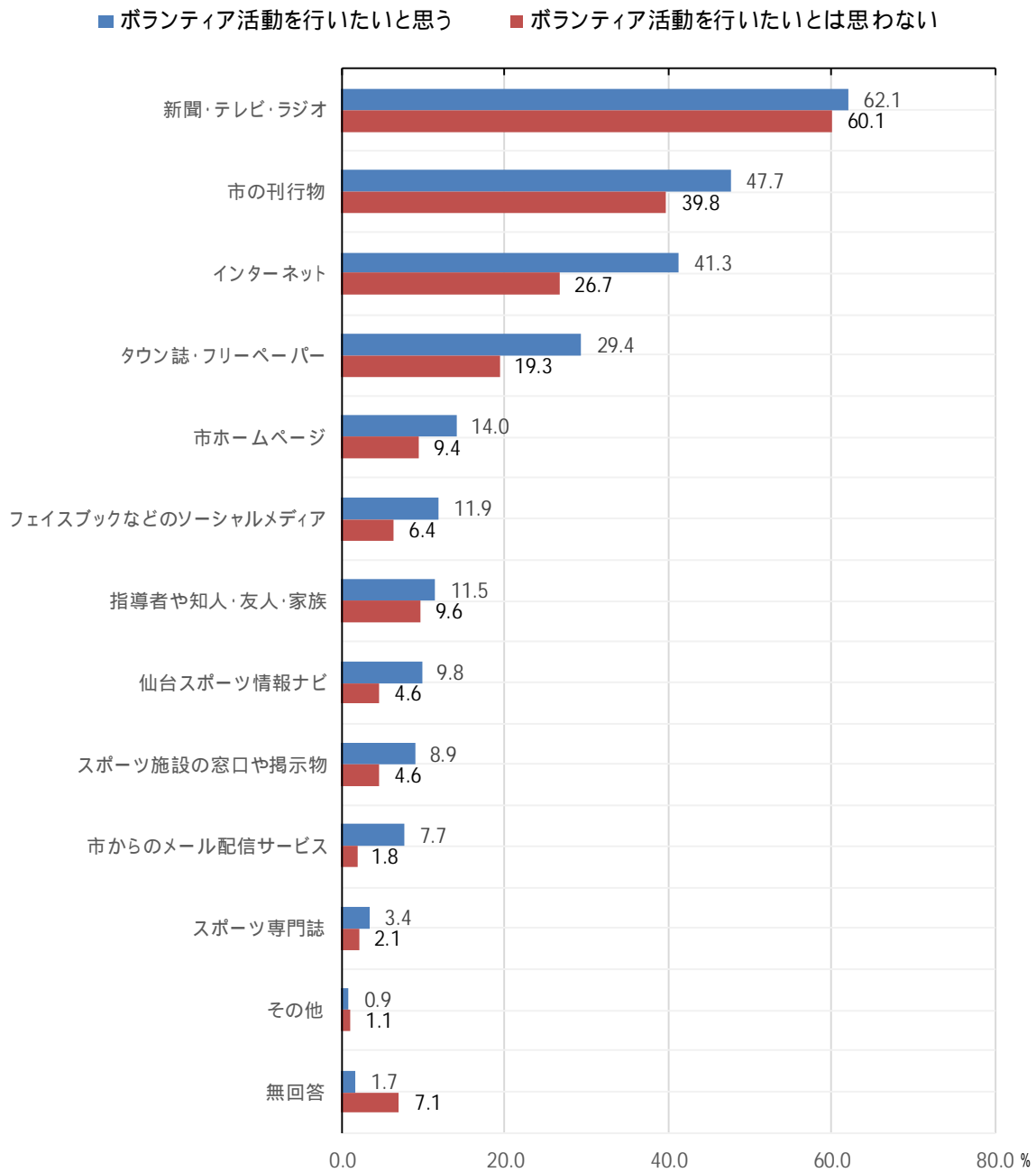
【 ボランティア活動を行いたいと思う: N = 235 ボランティア活動を行いたいとは思わない: N = 561 】

問 4 1 . 知りたいスポーツ情報



【 ボランティア活動を行いたいと思う: N = 235 ボランティア活動を行いたいとは思わない: N = 561 】

問 4 2 . 今後スポーツ情報を入手したいソース・情報源

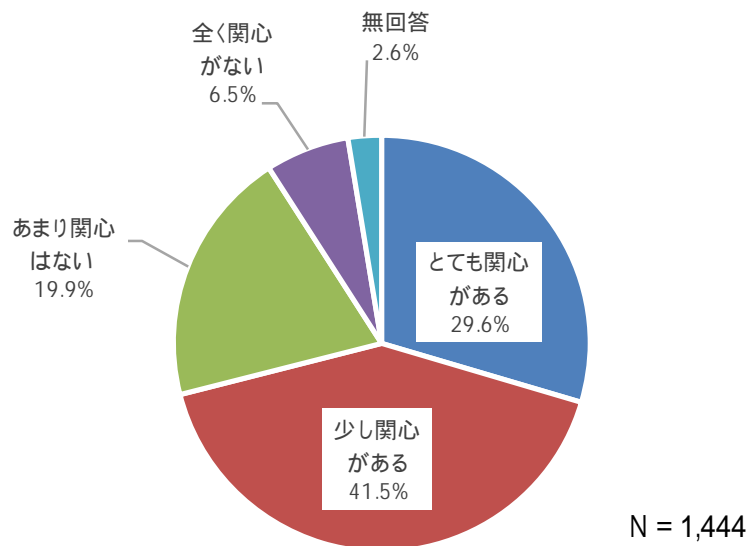


【 ボランティア活動を行いたいと思う: N = 235 ボランティア活動を行いたいとは思わない: N = 561 】

問43 . 東京オリンピック・パラリンピックへの関心度合い (SA) 【H28年度新規設定の設問】

“関心がある”が7割を超える

“関心がある”(とても関心がある+少し関心がある)は7割を超えている(計71.1%)。
 「とても関心がある」だけで3割(29.6%)となっている。
 一方で、“関心はない”(あまり関心はない+全く関心がない)層も1/4強存在する(計26.4%)。



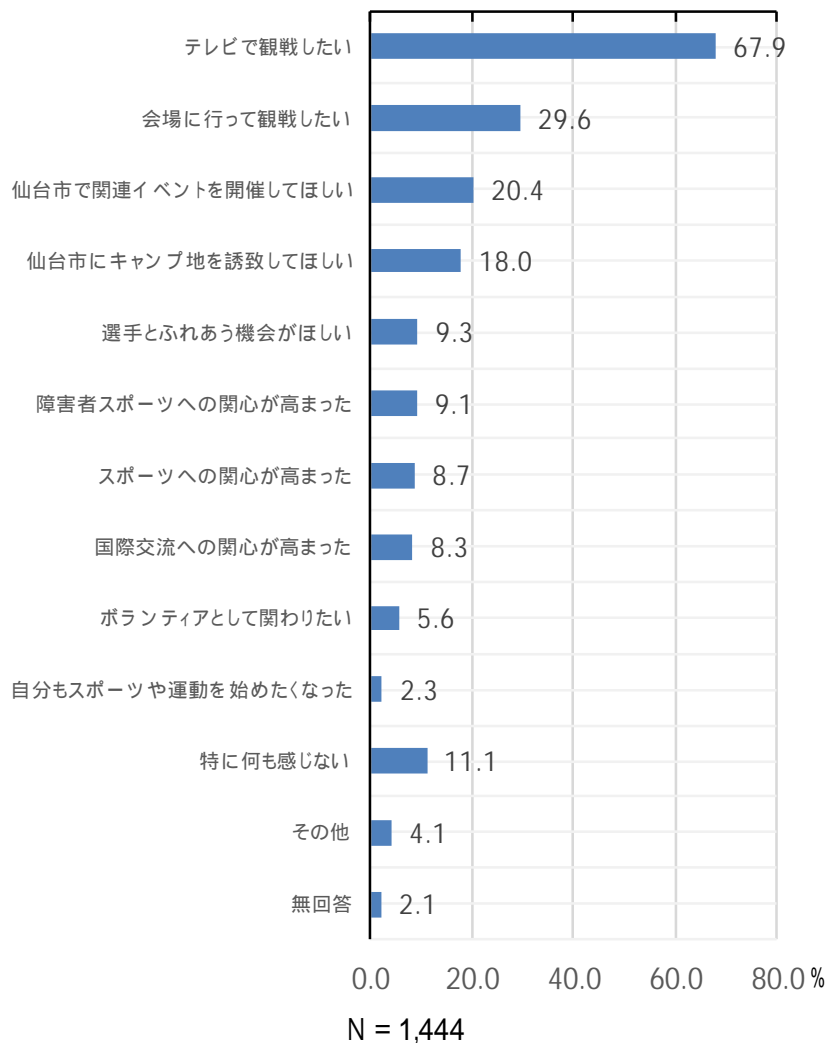
問44 . 東京オリンピック・パラリンピックへの所感・対応・要望等(MA)【H28年度新規設定の設問】

「テレビで観戦したい」が6割を大きく超える
「会場に行って観戦したい」は3割

最多は「テレビで観戦したい」で6割を大きく超えている(67.9%)。以下、「会場に行って観戦したい」が3割(29.6%)、「仙台市で関連イベントを開催してほしい」が2割(20.4%)、「仙台市にキャンプ地を誘致してほしい」が2割弱(18.0%)で続く。

割合が10%を超えるのは前出の上位4項目のみであり、これ以外はほとんどの項目で1割を切る。

開催までまだ間があること、自国開催ではあるが会場が他地域であること等が背景としてあるためか、「特に何も感じない」が1割強存在する(11.1%)。



問45. 「仙台市スポーツ推進計画」の認知度（SA）

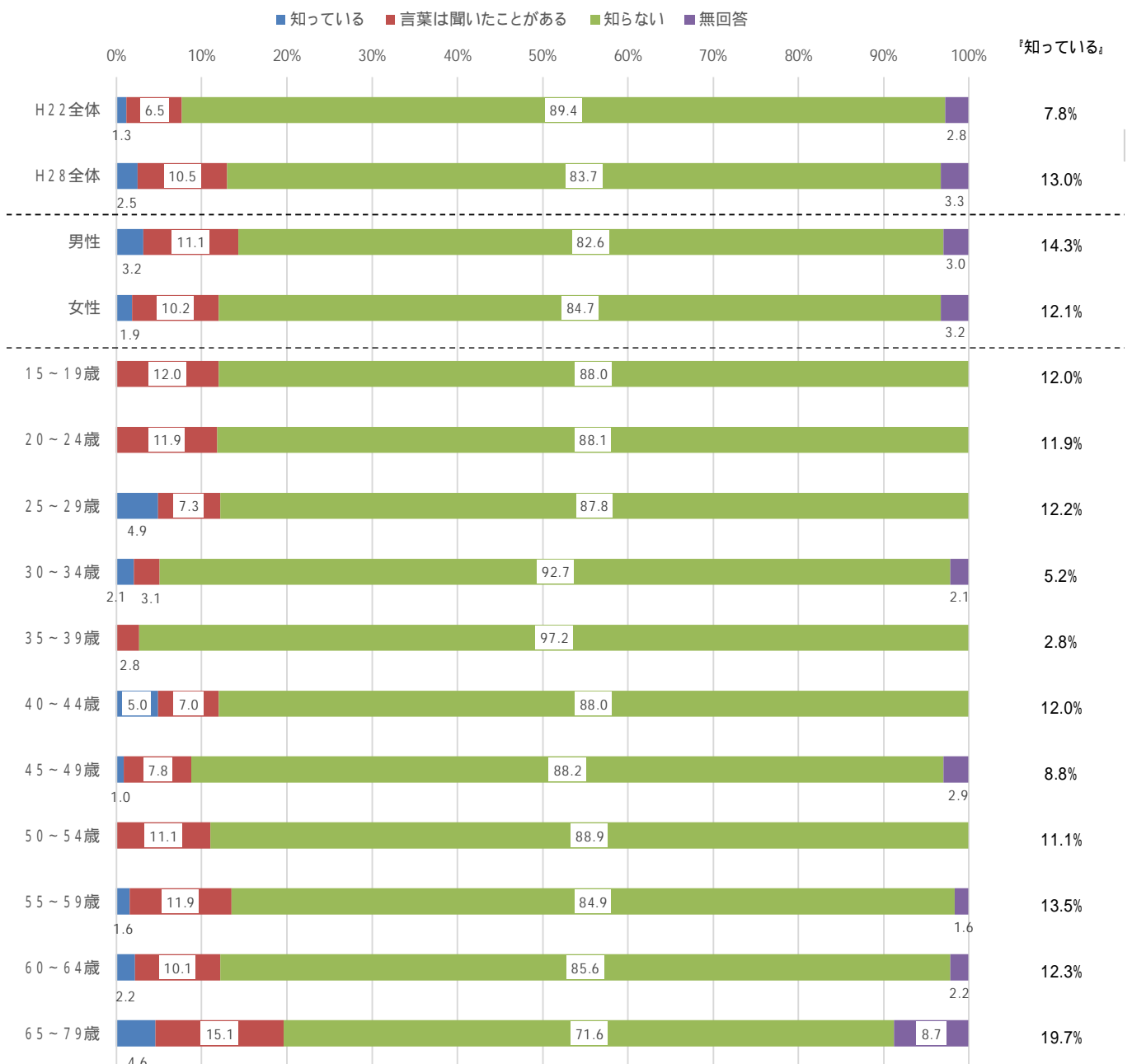
認知度は1割強。圧倒的に「知らない」層が多い
男性での認知度がやや高い
65～79歳で認知度が2割と高い

当設問は、設問形式や選択肢は同じであるが、前回とは計画の名称（H22年度：「せんだいスポーツ元気プラン」）が異なるため、単純な年度別数値の比較・分析はできない。

今回の結果を見ると、認知している人（知っている＋言葉は聞いたことがある）が1割を超えたものの（計13.0%）、「知らない」と答えた人が8割を超える（83.7%）のが現状である。

男女別に見ると、男性の方で“認知度”が高くなっている（計14.3%）。

年代別で見ると、65～79歳で“認知度”が高く、2割に上っている（計19.7%）。30代の層では「知らない」が9割を超えている。



【 H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444 】

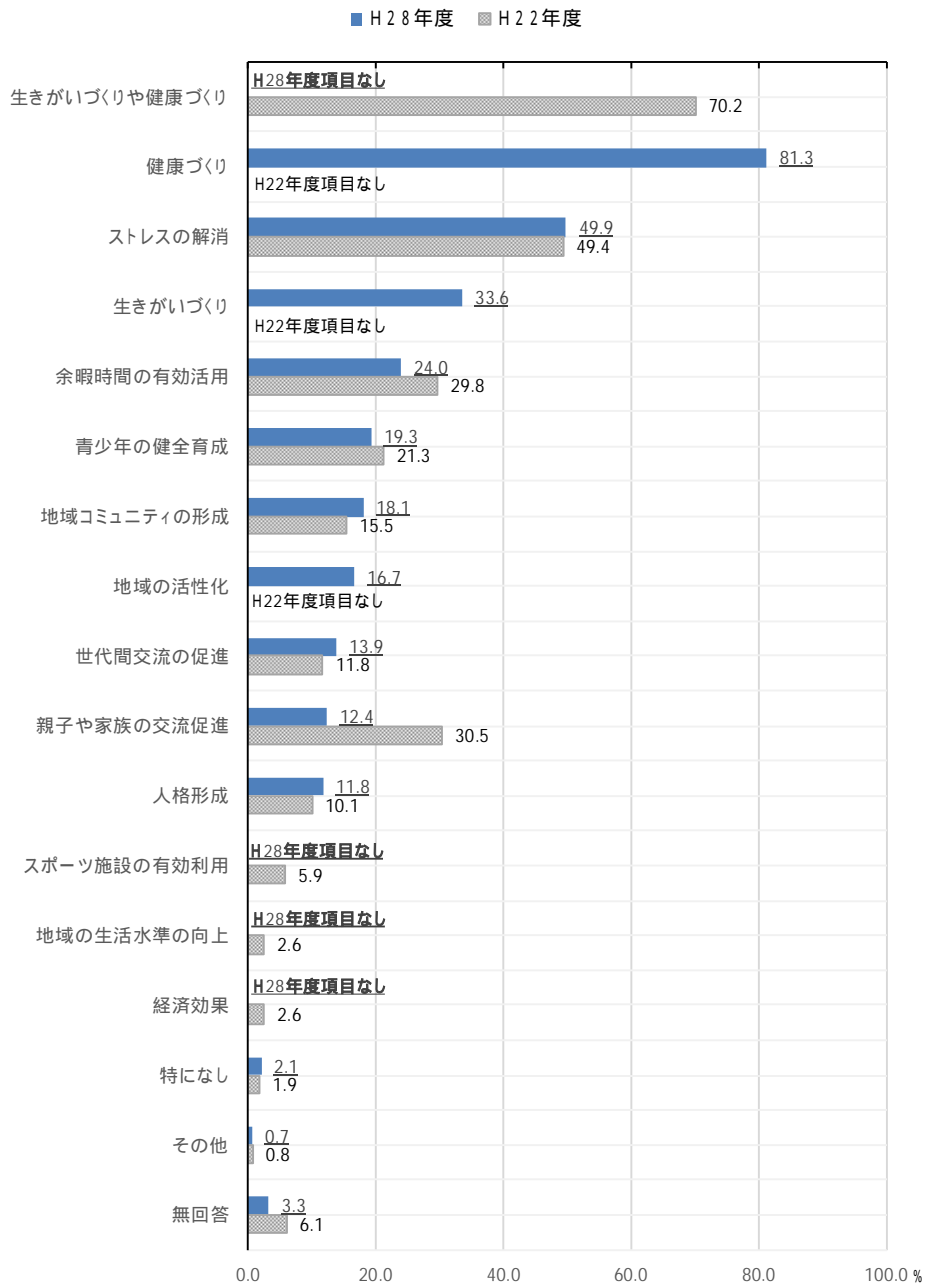
問46 . 運動やスポーツの社会的役割 (MA)

**「健康づくり」が8割を超える
「ストレスの解消」・「生きがいづくり」の支持割合も高い
「親子や家族の交流促進」の減少幅が大きい**

- 1 当設問は今回と前回で選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。
- 2 当設問は本来回答数が制限 (は3つまで) された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』(MA設問)と同様に扱い、集計・分析を行っている。

今回の結果を見ると、「健康づくり」が8割を超えており(81.3%)、圧倒的に高い。以下、「ストレスの解消」(49.9%)、「生きがいづくり」(33.6%)と続く。

前回(H22年度)と今回の共通の項目を見ると、大部分で僅差となっているが、唯一「親子や家族の交流促進」(12.4%)のみ、前回(H22年度:30.5%)からの下がり幅が大きく、今回は前回の半分以下の割合となっている。



[H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

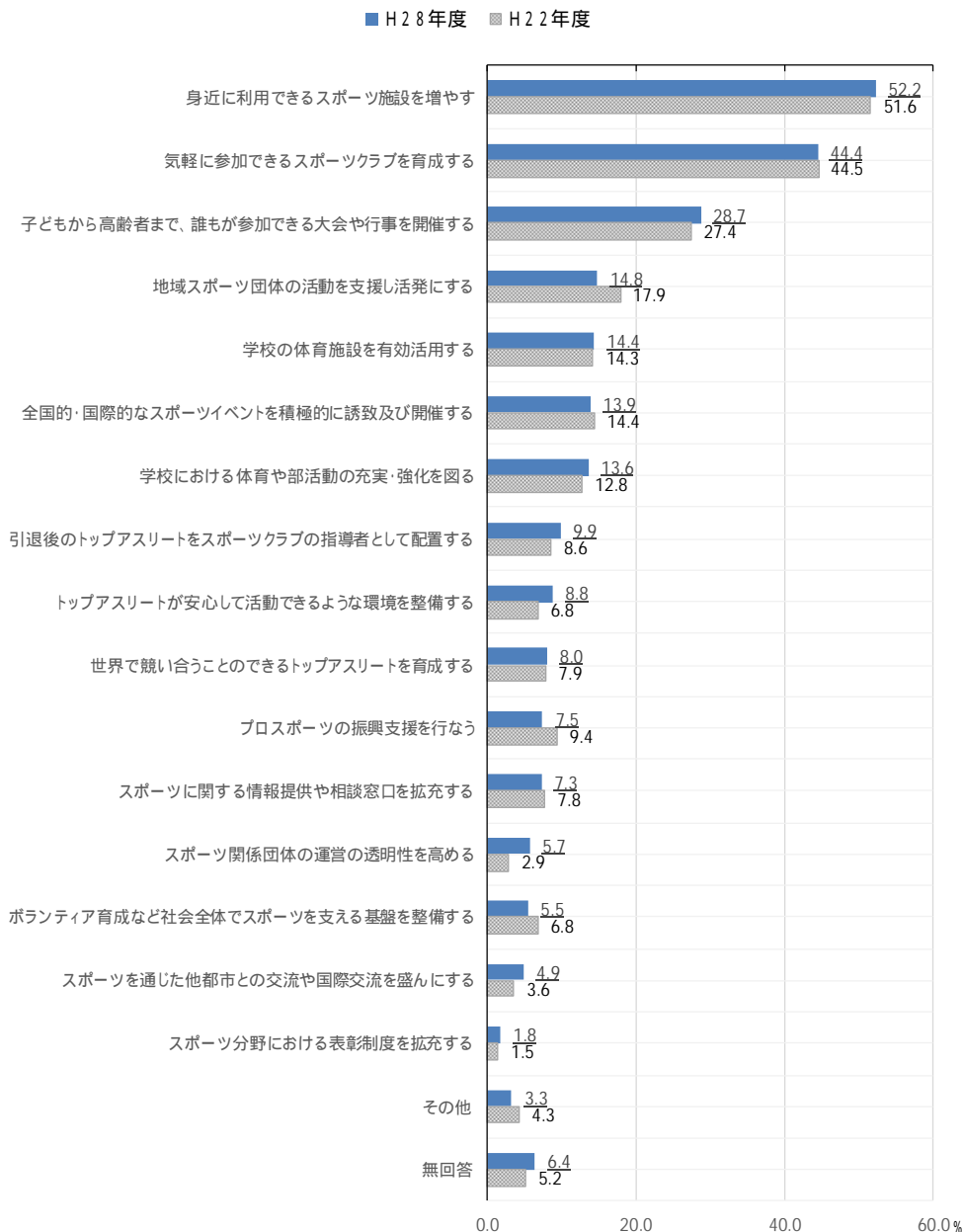
問47 . 仙台市のスポーツ振興に必要なだと思うこと (MA)

実施年度別・項目別の割合にほとんど差がない
「身近なスポーツ施設の増」が5割を超えている

当設問は本来回答数が制限(は3つまで)された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』(MA設問)と同様に扱い、集計・分析を行っている。

下グラフの通り、実施年度別・項目別の割合にほとんど差がないのが当設問の最大の特徴である。今回の最多は「身近に利用できるスポーツ施設を増やす」で5割強(52.2%)、以下「気軽に参加できるスポーツクラブを育成する」(44.4%)、「子どもから高齢者まで、誰もが参加できる大会や行事を開催する」(28.7%)と続く。

数値的にはわずかな差であるが、「地域スポーツ団体の活動を支援し活発にする」は前回より3ポイント低下(H22年度:17.9%・H28年度:14.8%)、「スポーツ関係団体の運営の透明性を高める」は、前回の倍(H22年度:2.9%・H28年度:5.7%)となっている。



[H22 : N = 1,317 H28 : N = 1,444]

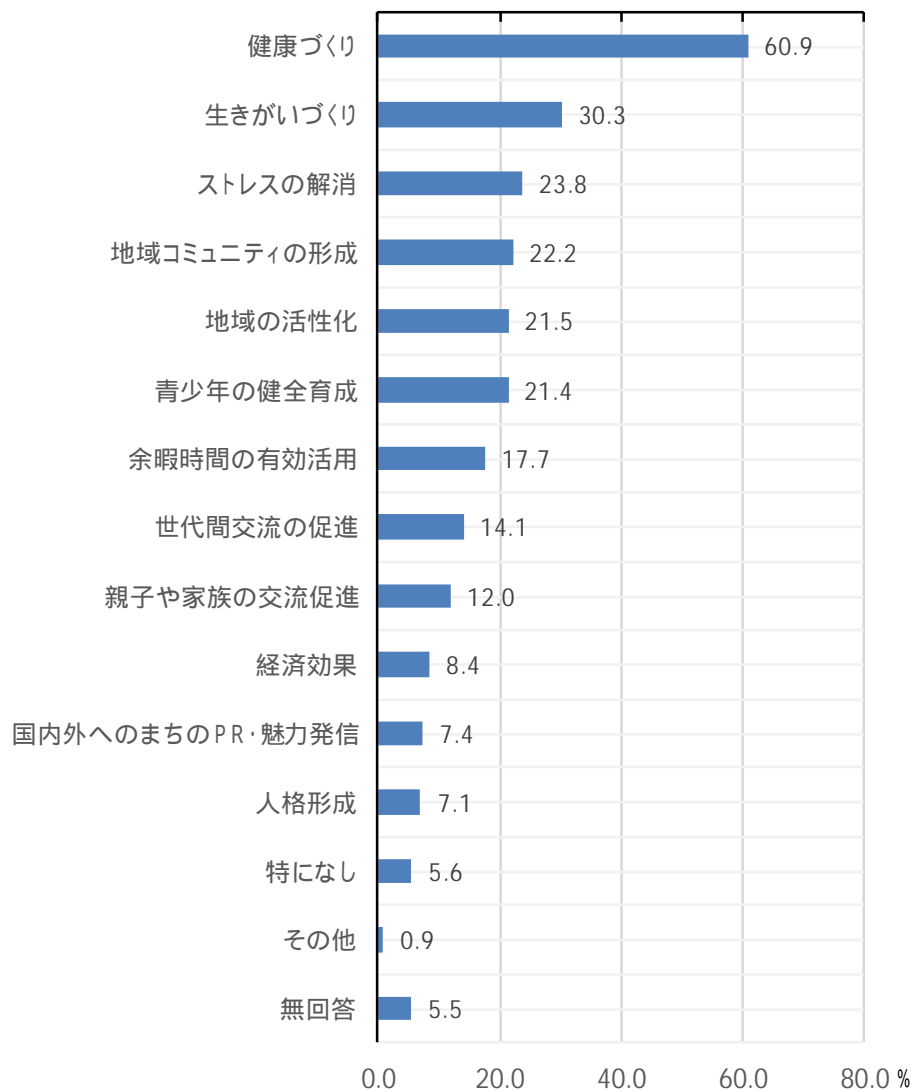
問48 . 仙台市のスポーツ振興施策に期待すること (MA) 【H28年度新規設定の設問】

最多は「健康づくり」で6割
「健康づくり」以外の項目は支持が分散の傾向

本設問は本来回答数が制限(は3つまで)された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』(MA設問)と同様に扱い、集計・分析を行っている。

最多は「健康づくり」で6割(60.9%)、2位は「生きがいづくり」(30.3%)となっている。

「健康づくり」が飛び抜けて高いが、それ以外を見ると、重要なキーワード(地域活性、健全育成、交流促進、経済効果等)が含まれる項目が多いにも関わらず、いずれも割合の差が大きく開いていないことから、支持が分散している様子が伺える。



N = 1,444

自由意見集（問30．スポーツ施設についてのご意見、ご要望等）

No.	性別	年代	居住区	問30．具体的記述内容
1	男性	15～19歳	青葉区	最近元気フィールドでアーチェリーの体験ができるようになったそうですが、もっと色んな場所できないでしょうか。今、アーチェリーに興味があるのですが、「アーチェリー・タグ」というスポーツの人気が出てきているようです。青葉体育館などで開催してもらえませんか。
2	男性	30～34歳	青葉区	素人でも簡単に出来るものがあること。
3	男性	35～39歳	青葉区	混雑していないこと。
4	男性	35～39歳	青葉区	ドーム球場がほしい。
5	男性	40～44歳	青葉区	公共機関がやっている安かろう悪かろうから脱却し、魅力あるプログラムで、民間より少しだけ割安なものにするべき。本当に良いものは採算がとれる。とれない・とれないのは良くないから。
6	男性	45～49歳	青葉区	泉ヶ岳オーエンスのキャンプ場が使いにくい（手続き、料金、場所 駐車場の脇にある。信じられない）。市民の山として、登山のベースになるような施設の充実をお願いできないでしょうか。
7	男性	45～49歳	青葉区	仕事上時間が決まっていないので、いつでも利用できる施設がいい。
8	男性	55～59歳	青葉区	スポーツ施設ではないが、運動の面では自転車人口が多いわりに自転車道の整備が進んでいない。歩行者も自転車も危ない状況だと思います。整備が運動につながる。
9	男性	60～64歳	青葉区	仙台市の各トレーニング室のマシンは種類が少なく古い。私はグランディ21を利用しています。
10	男性	65～79歳	青葉区	60代以上でも身体に合う器具。
11	男性	65～79歳	青葉区	特になし（個人的には体力と気力次第！！）。
12	男性	15～19歳	宮城野区	頻度が少なければ問題ないのですが、通うとなると、利用料金が学生には少々高い気がします。貸し出し用品が高すぎます。
13	男性	15～19歳	宮城野区	スケート場の増設。
14	男性	30～34歳	宮城野区	健康促進のための施設ではなく、楽しく体を動かすための施設作り。特に宮城、岩手県等はドアtoドアで車の移動が多く、体を動かす事がなく、運動不足になるので、このようなアンケートが出るのも分かるが、やって終わりではなく、あとに運動させるかでもなく、いかに楽しく（自ら行きたくなるような）体を動かすための施設を作るかだと思う。あなた方が実際に動きたくなるような施設を作り、運営方法を考えるべきだと思う。
15	男性	50～54歳	宮城野区	冬は野外は寒いので、外で運動する気にならない。子供も連れて行ける所が必要。
16	男性	50～54歳	宮城野区	自転車道などがあるにはあるが、整備されておらず使用しづらい。
17	男性	55～59歳	宮城野区	最近プールが閉鎖されたのでまた作って欲しい。
18	男性	60～64歳	宮城野区	近くに色々な施設があると気付かされました。

No.	性別	年代	居住区	問30. 具体的記述内容
19	男性	60～64歳	宮城野区	設問の内容以前に、周辺環境（住環境を含む）が考慮されているのか大変疑問。施設の使用上のルールや注意事項が守られていないことも多く、安全対策や事故防止策、騒音対策、駐車場対策等が必要。施設のあり方、徹底した管理の実施、施設がある故に困っている人がいることを認識してほしい。
20	男性	65～79歳	宮城野区	年金暮らしなので、なるべく無料の駐車場が欲しい。
21	男性	65～79歳	宮城野区	近所に施設がない。
22	男性	65～79歳	宮城野区	車椅子使用のため限られている。
23	男性	65～79歳	宮城野区	市民ゴルフ場のオープン。
24	男性	65～79歳	宮城野区	市の直営施設は全ったくいらぬ。
25	男性	20～24歳	若林区	仙台市は高いと思う（値段）。
26	男性	25～29歳	若林区	高鉄棒のある公園を増やしてほしい。平行棒や吊り輪もあとよりよい。
27	男性	30～34歳	若林区	市民プールをもっと作ってほしい。
28	男性	35～39歳	若林区	サイクリングロードがほしい。
29	男性	35～39歳	若林区	とにかく施設を増やしてもらいたい。
30	男性	35～39歳	若林区	震災後、自転車に乗る人が増えたように感じるが、道路が狭いし、改正された道路交通法の定着もイマイチ。まずは道路の整備をしてほしい。
31	男性	50～54歳	若林区	この年齢になり、体力の低下を感じています。同じような人は多くいると思います。そんな人達の背中を押してくれるようなプログラムがあればと思います。
32	男性	55～59歳	若林区	太っていても入りやすい環境。
33	男性	55～59歳	若林区	市民（市営）プールがない。以前は西公園や長町があった。民間のプールも少なく、サンピアのプールも現在はない。フィットネスやジムも民間はあるが、市営（公営）の施設を増やしてもらいたい。
34	男性	60～64歳	若林区	高齢者にやさしい施設を。冬場の暖房充実、温度差を少なくしてほしい（シェルコム）。
35	男性	65～79歳	若林区	以前小鶴老人福祉センターの無料社交ダンスの講習会に参加したが、初心者対象のはずが98%の方が受講更新者で、初心者は先生が開催している有料教室への入校を勧められ、多大な出費となり、健康維持を断念した経験がある。自分の場合は同内容のレッスンを3教室で受講させられた苦い経験がある。
36	男性	65～79歳	若林区	以前民間のスポーツクラブに入会していたが、仕事が入ったため一時退会中。仕事が終われば、再度入会予定だが、出来れば、地域交流も含め、身近な所に自由に集まり、活動出来る施設が充実すれば即利用したい。
37	男性	65～79歳	若林区	・卓球施設の設置。 ・プールでの水泳。

No.	性別	年代	居住区	問30. 具体的記述内容
38	男性	65～79歳	若林区	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用したくても、常連さんが幅をきかせていて利用しにくい。 ・人のウワサ話等が多く、本当にスポーツのみをするのが難しい。 ・個人で利用出来る空間がある施設がほしい。
39	男性	15～19歳	太白区	50mプールを市内に作ってほしい。
40	男性	25～29歳	太白区	スポーツ施設だけでなく、スポーツした後のケアを低料金で利用できる施設を併設してもらいたい。
41	男性	30～34歳	太白区	現在、仙台市においても少子・高齢化に伴う人口や地方税収の減少、市債発行残高の高止まりなど、市の財政を取り巻く状況は厳しさを増しています。そのような現状を踏まえた上で、より市の財政運営の健全化を果敢に実行していくためにも、既存の民間のスポーツ施設の有効活用を図っていく必要があると思います。また、そのような民間の代替施設を活用していく上でも、補助金の助成対象事業に関する費用対効果の明確化・適正化を図っていくことも重要だと思っています。
42	男性	60～64歳	太白区	私は創作ダンスを事業所で教わっています。私の身体が柔軟性に欠けるので、これからも続けてゆきたいと思っています。
43	男性	65～79歳	太白区	スポーツ施設に駐車場が併設されていますが、その必要はなく、それぞれ公共交通機関の利用を推奨し、体力増進、特に基礎体力をつけるためにウォーキング・ランニングによる来場を推奨すべきと考える。施設は屋外で広い面積を占めるスポーツ対応が多いように思うが、風に左右されるスポーツ、卓球・バドミントンや、家族や少人数でする規模の小さい運動ができる施設が少ないと思うし、また危険や施設等の破損を招くということでも家にこもらざるを得ない状況が結構あるのではと思う。このようなことに対応できる施設を、また駐車場を潰し、このような施設を増やしてはいいかでしょうか。
44	男性	65～79歳	太白区	プールでのシニア向け教室が欲しい。特に太白区在住なので、仙台市体育館プールでのプログラム。
45	男性	65～79歳	太白区	施設数が少ないためか、休日・仕事帰りの時間は利用者が多く入りにくいという話を聞く。広報を全くしていないので、所在地もわからない。区役所のホームページにのせたらどうか。
46	男性	65～79歳	太白区	市内交通の便の良い場所(近郊・公共交通で移動出来る)にパークゴルフ場の設置。
47	男性	15～19歳	泉区	現在のスポーツ施設は、有料かつ高い値段であることが多い。無償化あるいは、低価格化するべき。
48	男性	25～29歳	泉区	仙台は県内においては環境は大変整っていると思います。しかし、団体数が多いことから、体育館を定期的に利用できないことが難点です。
49	男性	30～34歳	泉区	人目を気にしない環境。金額。
50	男性	30～34歳	泉区	シャワールームや温泉・温浴施設(岩盤浴等)の充実。
51	男性	35～39歳	泉区	所得に応じた料金、もしくは無料で利用できると収入格差に関係なくスポーツを楽しめると思います。
52	男性	35～39歳	泉区	仕事の関係上時間がありません。
53	男性	40～44歳	泉区	サイクリングロードを作ってほしい。

No.	性別	年代	居住区	問30. 具体的記述内容
54	男性	45～49歳	泉区	経験者・素人の利用日、時間を別にして、素人でも気軽に体験、利用出来るように。
55	男性	45～49歳	泉区	施設があったとしても一定の人達が定着して入りずらく、もっとオープンな形で誰でも気軽に利用出来るといいと思います。
56	男性	50～54歳	泉区	屋内のプール。夜間泳げる所が欲しい。
57	男性	50～54歳	泉区	気軽に参加できるようにしてほしい。
58	男性	55～59歳	泉区	和式便所は時代遅れです。
59	男性	55～59歳	泉区	民間とは異なるアプローチでスポーツを始めやすくして欲しい。楽天やベガルタレディース、89、ベルフィーユや仙台大のコーチに教えてもらう等があるとモチベーションが上がるかも。
60	男性	60～64歳	泉区	年寄りが行きやすいように、バス等で送迎があるとよい。
61	男性	65～79歳	泉区	市は内容（運動内容や運営）に介入すべきではないと思う。例えば的を絞った「メタボ対策コース」とか、「腰痛予防コース」とかを既存施設を利用して実施してはいかがでしょうか。ソフトを充実してハコモノが施策の根本との思考は改めませんか！
62	男性	65～79歳	泉区	利用したことがないので不明。
63	男性	65～79歳	泉区	健康トレーニング施設があったら・・・と願っております。
64	男性	65～79歳	泉区	泉健康センターの定員を増やす事。現在は20名で、行っても申し込みが終わっている。
65	女性	15～19歳	青葉区	ジムみたいな施設を作ってほしい。
66	女性	20～24歳	青葉区	利用したいけど、どんなものがあるかよく分からない。
67	女性	25～29歳	青葉区	体育館などの施設の利用をネットで予約できると良い。
68	女性	25～29歳	青葉区	小さい子どもがいても運動できるイベント！！ママたちは運動不足だと思う。私たちは子連れでなんとか行ってます。
69	女性	30～34歳	青葉区	仙台駅近くにプールと温泉のある施設を作ってほしい。仕事帰りに寄って、スポーツした後に温泉に入って家に帰って寝るだけということをしたい。
70	女性	30～34歳	青葉区	・市営等公共施設は、自家用車がないと利用できない場所が多く大変不便。公共交通機関の充実や「ダテバイク」設置などの工夫があると助かる。 ・通勤帰りの利用の場合、運動後のシャワー/スバが欲しい（公共交通機関で帰る時、運動後のままでは帰りづらい）。
71	女性	35～39歳	青葉区	広瀬体育館の雨もり、痛んだ床、何年もそのままです。早く改修していただきたいです。
72	女性	40～44歳	青葉区	ペットを連れて行ける、もしくは一緒に利用できる施設があれば・・・。利用料は安い方が現実的ですが・・・。
73	女性	40～44歳	青葉区	高齢化が進む中、運動をしなくなった方でも運動習慣が保てるようにしてほしいです。公民館などでの体操教室とか。

No.	性別	年代	居住区	問30. 具体的記述内容
74	女性	50～54歳	青葉区	安価に筋力トレーニングが出来る施設があればと思います（できれば無料で）。
75	女性	50～54歳	青葉区	ホットヨガの施設が安ければ行きたいが、会員制は高い。
76	女性	55～59歳	青葉区	近くに施設がないので施設がほしい。もしあるとすれば、わからないので、広報を充実させてほしい。
77	女性	55～59歳	青葉区	施設についてからはかけ離れるかもしれませんが、スポーツ教室等人数制限がある場合の抽選の仕方が指導者の顔見知りや、結局継続する方優先になっている事がありありと感じられる。選別でスポーツへの意欲を失ってしまう。
78	女性	55～59歳	青葉区	施設を作っても、中味が充実しなければただの箱です。
79	女性	65～79歳	青葉区	最近青葉区中山4丁目に引越して来ましたが、公共のスポーツ施設が無いので、運動不足になり寂しく感じます。是非ご検討下さい。
80	女性	65～79歳	青葉区	スポーツ施設などおげさなことではなく、健康器具などを近くの公園に設置し、誰もが気楽に使用することができること。仙台ではまだまだ意識が低いと認識する。西公園などはとくに恥ずかしいくらいおそまつである。
81	女性	65～79歳	青葉区	地域ですずめ踊りを普及させては・・・。年配者なりの踊り方もあるのではないのでしょうか。
82	女性	65～79歳	青葉区	個人（団体ではなく）でも利用しやすく、低料金。
83	女性	65～79歳	青葉区	公共のものが少なく、料金の高い施設に通うのは負担がかかるので、安くても利用できる施設がほしい。
84	女性	25～29歳	宮城野区	利用案内の広告等を増やしてほしい。料金の値下げ。
85	女性	25～29歳	宮城野区	きれいであること。料金も比較的安く利用できると良い。
86	女性	30～34歳	宮城野区	毎年かわりばえのしないプログラムなので、もっと色々作ってほしい。子どもと一緒に参加出来るものを望みます。私は、2才の子どもと、市のプールでのベビースイミングに行きたいと思っているのですが、家の近くでベビースイミングをしている所がありません。
87	女性	35～39歳	宮城野区	スポーツ施設を利用したいと常に思っているが、場所がわからない、利用時間・日時が限定的で自分に合わない、利用方法がわからない、等の理由により、残念ながら足が遠のいてしまっている。ジムは料金が高く、行きたい回数行けない。もっとスポーツをしたいという人は周囲にもいるが、同じような理由で断念している人が多いようです。施設の充実を切望致します。
88	女性	35～39歳	宮城野区	男女分けてほしい。男の人ばかり利用している所だと行きにくい。
89	女性	40～44歳	宮城野区	高齢者や車の利用が出来ない人のための送迎バスがあると行きやすくなると思います。
90	女性	50～54歳	宮城野区	韓国のドラマで見ましたが、川沿いの散歩道に公園がところどころにあり、筋トレの出来る遊具があちらこちらにありました（大人向けの）。運動人口が多いと思いました。

No.	性別	年代	居住区	問30. 具体的記述内容
91	女性	50～54歳	宮城野区	スポーツ施設の送迎バスがあったり、カーブスのように年齢の高い人も参加しやすい（短時間で終了できる）内容もあり、やる気があれば利用できる設備は多いと思います。仙台市(宮城)は肥満度が高いといわれます。被災者も前向きに運動に取り組む心の切り替え時期だと思います。
92	女性	55～59歳	宮城野区	たまに市の広報を見るが、シニア向けのものか、家にいる人しか参加できそうにないものばかり。本当に健康づくりが必要なのは、働いていて一日中自由時間がない人達で、そのため運動不足になっている。もっと気軽に早朝や夜など軽く運動できる施設や時間帯に工夫がないと、生活習慣病の人は減らない。生活習慣病にかかるお金の方が、税金を使うと思う。小学校や中学校の体育館などもっと活用できないのでしょうか。バイトをやとえば維持管理もそんなにかからないと思う。
93	女性	55～59歳	宮城野区	子供達が参加できる教室を沢山やってほしい。大人の水泳教室もやってほしい。
94	女性	65～79歳	宮城野区	車の運転ができず、夫の健康も考えています。
95	女性	65～79歳	宮城野区	年齢が若ければ希望も必要ですが、現在は満足しています。仙台市体育館も遠く感じるこの頃です。
96	女性	65～79歳	宮城野区	個人での参加は無理？
97	女性	15～19歳	若林区	ライザップではないけど、太っている人限定の施設をつくって、安くて親切なトレーナーのいる施設をつくってほしい。運動や食事のアドバイス、担当のスタッフをつけてくれる施設。
98	女性	25～29歳	若林区	東西線が開通し、行動範囲が広がりました。フットサルをしています。自力で行ける所が八乙女のワッセしかないので、東西線添いに施設ができれば便利だなと考えています。ワッセのように、使用していない建物をリメイクする考えだと、いくつかできるかなと思っていました。
99	女性	30～34歳	若林区	・夜間利用できる所が少ない（21時以降など）。 ・価格が高い。
100	女性	40～44歳	若林区	施設利用の安価・無料化、年会費支払いで何回も使用可能とか。
101	女性	40～44歳	若林区	近くのスポーツジムに行っていたこともありましたが、今は仕事と家事育児で忙しく、体力がもたずやめました。なので、余裕が出来るまで特に必要としていません。
102	女性	40～44歳	若林区	仙台市中心部にプールがない？以前（昔々）西公園のプールとか分かりやすかった。子供の頃は徒歩や自転車で行けた。泉だと車で遠い。よく分からない。
103	女性	40～44歳	若林区	施設があっても、備品がこわれていて使用できないことがあったり、使用できるスポーツの制限があり、空いていても使用できないことがある。
104	女性	45～49歳	若林区	料金が1回数百円だと利用（参加）しやすいと思います。
105	女性	50～54歳	若林区	利用の際、券売機の場所を目立つ場所にしてほしい。スリッパが必要なのか、外靴で利用していいのが、明確にしてほしい。

No.	性別	年代	居住区	問30. 具体的記述内容
106	女性	50～54歳	若林区	すごく立派でなくてもよいから手軽に手頃に使えるとよいです。コボスタやユアスタの負担が軽くなるように普段使いの施設と決勝戦や有料の大会用の施設に使い分けできるといいのに（ユアスタの芝対策など）。
107	女性	55～59歳	若林区	安くて時間もいつでも行けるような所が良い。
108	女性	65～79歳	若林区	パークゴルフ場がほしい。
109	女性	65～79歳	若林区	今まで遠くまで出掛けて運動教室に参加出来ましたが、今では近い所で簡単に行ける場所、たとえば町中の空き家などでひと休みしながら足腰をきたえるようなマシン（機具）を備えた老人向けの施設が出来れば整形外科に通院する回数も減らす事出来るのでは？少しでも歩く事が大切です。自分の足でいつまでも歩きたいです！
110	女性	15～19歳	太白区	なさすぎる。増やしてほしい。
111	女性	15～19歳	太白区	料金とかのお金に関することの簡略化。
112	女性	20～24歳	太白区	施設の利用案内などをもっと分かりやすく、スマホからも気軽に見れるようにしてほしいし、ネット予約ができる施設をもっと増やして欲しい。コストダウン（利用料金が低い）。
113	女性	25～29歳	太白区	安価で、施設も広く、気楽に通えるとありがたいです。会員制だけでなく、1回ごとの料金等。
114	女性	35～39歳	太白区	子供と一緒に行うスポーツ（体操・ヨガ等）を増やしてほしい。
115	女性	35～39歳	太白区	・中田温水プールの施設は近くにあり、ジムや水泳で使いやすいが、女性サウナが故障中？で直してもらえない。 ・ウォーキングコースなどの場所が欲しいです。
116	女性	40～44歳	太白区	未就学児が使えるプールがない。長期休暇に子どもと体を動かそうと思っても、公園くらいしかない。仙台市体育館で行っている月1回のキッズスポーツデーはとても良いが、開催回数が少なく、幼稚園に行っている子どもは使えないのが残念。トイレもオムツ替えの場所はあっても、補助便座や子ども用トイレは無いし、小学生の子が入ってくる幼児遊戯室は無法地帯。公園のトイレも清潔とは言えない。イベントが入っていると駐車場は使えないので、帰ってくるのはめになる。教室・イベントの情報は入りにくい。
117	女性	50～54歳	太白区	水の森や七北田公園のように広く遊具があり、ウォーキングできるような所が近くに欲しいです。
118	女性	60～64歳	太白区	駐車場の拡大。インストラクターの配置された施設。誰もが気軽に参加出来る行事が沢山あるといいと思う（ウォーキング・ハイキング等）。
119	女性	60～64歳	太白区	山形のある公園には年間いつもいっぱいの人々がいる所がある。遊具の充実、無料の駐車場ほか、室内に年代別の広場があればよいと思う。立派な施設はいらない！
120	女性	65～79歳	太白区	大型スポーツ施設を近くに作って欲しい。現在民間施設に通っているが、料金が安い。
121	女性	15～19歳	泉区	無料化
122	女性	25～29歳	泉区	お年寄り、障害者向けのスポーツ行事は行っているのかなと思った。利用していないのでふと思っただけ。

No.	性別	年代	居住区	問30. 具体的記述内容
123	女性	25～29歳	泉区	子供と一緒に行動するので、子どもが遊べる遊具がほしいです。また、そのような所があっても、大人、中高生が使用していて、子供が外遊びできない。関係ないかもしれませんが、地域の公園でも制限がかりすぎです。ボールを使ったらダメ、大人が野球しているから公園に入るな。子供はゲームする事になる。
124	女性	40～44歳	泉区	テニスコートが天候に左右されるのに予約制で使いにくい。空いていれば自由に使えるタイプもあると気軽に使えて良いのではないのでしょうか。
125	女性	50～54歳	泉区	<ul style="list-style-type: none"> ・利用に際しての講習会の充実（時間、曜日を増やす）。 ・スポーツ教室の夜間開催。 ・休日開催を増やしてほしい。
126	女性	55～59歳	泉区	<ul style="list-style-type: none"> ・規制がうるさいと嫌（全員同じ服やくつをそろえる等）。 ・施設というより、参加中に子供が参入しても注意しない等（泣き声とか）、つまり、集中して楽しく取り組めないと嫌。モラルの問題ですが。
127	女性	55～59歳	泉区	自分に合った運動を指導してくれる等があればいいと思います。前にムリな運動をしてしばらくつらかったので。
128	女性	60～64歳	泉区	一人一人のレベルがバラバラの中、プールでの早い遅いはつきものですが、安全で楽しく泳ぎたい。
129	女性	65～79歳	泉区	今は何もいらない。生きているだけ。
130	女性	65～79歳	泉区	公共のスポーツ施設を知らない人が多数いる。PR等多分をお願いしたい。
131	女性	65～79歳	泉区	仙台市にパークゴルフ場が1ヶ所あるが（海岸）、4コースの公認コースではなく中途半端な施設である。ますます高齢化が進む昨今、健康で元気な老人を増やすと共に、3世代家族全員で楽しめるスポーツとして、パークゴルフ場の建設にもっともっと積極的になってほしい。
132	女性	65～79歳	泉区	ドーム型の野球場があってもいいのでは（中途半端なものより）。
133	女性	65～79歳	泉区	テニスコートがすり減って破損し、穴があいているコートが多くみられる。足をとられて負傷者が出ている。
134	女性	-	若林区	公共交通が不便なところが多い。今泉のプールは若林区に住んでいるのに車でないと行けない。
135	-	45～49歳	泉区	昼間などの時間帯でなく、夜間も多くあった方が参加しやすいです。仕事があるので！
136	-	65～79歳	泉区	他の施設の数が増える。事実多くなればうれしい。

自由意見集（問４９．仙台市のスポーツ施設・スポーツ振興に関するご意見、ご要望等）

No.	性別	年代	居住区	問４９．具体的記述内容
1	男性	15～19歳	青葉区	大洗では「ガルパン」効果で経済活性化に成功しているようですが、仙台にもチャンスがあったのになぜ活かさなかったのでしょうか。アニメの経済効果には目を見張るものがあります。「ハイキュー」が仙台を舞台としているようですが、連携をとるべきだと思います。イベントを開催すれば確実に県内外から人が集まりますし、基本ヲタクは運動不足な肥満の方が多いように思われます。積極的な活動を期待します。私は真面目に書きました。県内のトップ高の生徒です。決して好奇心で書いたものではありません。アニメグッズは単価をいくらでも高くできるので、経済活性にはもってこいです。長文失礼。OBの目に留まることを祈ります。
2	男性	15～19歳	青葉区	気軽に野球等ができる環境が少ない気がします。確かに様々な人の安全に配慮した公園の使用は重要だと思いますが、それで気軽にそういったスポーツができる環境に限られるのは若干いかなものかと思いました。
3	男性	15～19歳	青葉区	・老朽化している体育館などを新しくしてもいいのではないのでしょうか。 ・スポーツ施設を活用しているのが、一部の団体などに限られているので、より多くの市民が活用できるようにしてほしいです。
4	男性	25～29歳	青葉区	3,000人に選んでいただきありがとうございます。今後の市政がよりよい未来につながることを願います。
5	男性	35～39歳	青葉区	例えば、公立学校の部活動のOBが休日などに母校で汗を流せる機会があって、現役生も自由に参加できるような制度があれば、OBにとっても積極的にかかっのスポーツをしようという良い契機になるし、現役生にとってもスキルアップや地域世代間交流として、また愛校心育成にとってもとても良いのではないかと思います。体育館などを使えば新たな施設を建設する必要もない。
6	男性	35～39歳	青葉区	興味が無い人を巻き込まないようにしてほしい。
7	男性	35～39歳	青葉区	野球やサッカー等、多人数で行なうスポーツに気軽に接する場があると良い。
8	男性	35～39歳	青葉区	スポーツ＝文化に昇華してほしい！意味づけ等大事。
9	男性	40～44歳	青葉区	手続きや予約など面倒な事を無くし、気軽に運動できる場所を作るようにしてほしい。年寄りが多すぎて本格的に運動ができない。
10	男性	45～49歳	青葉区	自由に使える場所（野球など）が無く、子供達の練習が出来ません。学校もありますが、青葉区は校庭もせまく、ボールが車にぶつかったり致します。そのためサッカーなどが学校の授業になり、野球をする子供が減っています。
11	男性	45～49歳	青葉区	・仙台市ドーム（プロ野球開催可能な）を造ってください（長町）。 ・ラグビーW杯を外してしまったので（会場誘致）、せめて、企業チーム、トップリーグ、大学を呼んで試合を見せてほしいと思います。
12	男性	45～49歳	青葉区	子供のスポーツ（遊び含む）の場所が無い。特に球技をしようと思うと、どこでして良いものか・・・。
13	男性	45～49歳	青葉区	スポーツイベント等のボランティア情報があれば知りたい。

No.	性別	年代	居住区	問４９．具体的記述内容
14	男性	50～54歳	青葉区	それなりにプロスポーツもあるので、それを中心とした環境作りを作って、地元から世界へ出ていく人、後に戻ってきて仙台で暮らし、また後継者が育って行くようになれば、暮らす人たちの元気、活力となるのではないのでしょうか。楽天の一度の日本一で、あれだけの人が集まるのですから。
15	男性	55～59歳	青葉区	大規模なスポーツ大会・競技会は仙台で沢山実施されていますが、一般市民が気軽に参加できるようなマラソン大会等を開催して頂きたいと考えます。私は松島マラソンには参加しています。
16	男性	55～59歳	青葉区	・政令指定都市として、この分野で他より遅れていると思う。 ・リーダーシップを取る人材がいない。 ・市の長たる人間も上記と同じ。 (何故だれもいないのか!?) (スポーツも含め、何も感じない。思いが伝わらない)
17	男性	60～64歳	青葉区	楽天は子供を楽しませるイベントなどに努力が見られるが、ベガルタはまだまだ足りない気がする。
18	男性	60～64歳	青葉区	トップアスリート育成と、幅広く市民がスポーツを行うという方向は全然別。楽天やベガルタ、89ERSが活躍しても、それを多くの市民が観戦しても、仙台市がスポーツが盛んとは思わない。元選手が指導者になっているケースが多いが、高齢者等の健康づくりの良い指導者となれるかは？競技用と健康づくり用のスポーツは別だと思う。
19	男性	65～79歳	青葉区	全体的に仙台市は何に力を入れているのか、仙台市の特色をどう出すのかハッキリしない。ましてやスポーツに関しては民間まかせとしか思えない。もっとイベントをハッキリさせて、スポーツ関係を充実させてほしい(ex:元気で長寿日本一をめざすとか)。
20	男性	65～79歳	青葉区	気軽にいつでも利用できる施設を多数設置して欲しい。団体で申し込み、利用する施設がほとんどないような気がするので、個人で申し込み・利用出来る施設を増やしてほしい。
21	男性	65～79歳	青葉区	冬のスポーツの施設が少ないように思う。フィギュアスケートでは素晴らしい成績を残しているので応援したい。
22	男性	65～79歳	青葉区	プロスポーツに観戦動員。いつも満員にしたい。
23	男性	65～79歳	青葉区	施設を利用している人が身近にいれば考えられるが、近くにはいない。つまりそういう人達を養成するスノノ(裾野)を広げるということでしょうか。
24	男性	65～79歳	青葉区	後期高齢者を迎える年代になり、前述の質問事項にもありますが、健康寿命を伸ばす、伸ばせる気力と体力を維持するためのスポーツが一番と思います。社会保障者を少なくする努力をして、楽しい豊かな生活を送り続けたいです。
25	男性	65～79歳	青葉区	年をとると坐骨神経痛の人が多くなり、スポーツどころではなくなります。従ってその痛みを共有出来る人との交流、そして上手な先生との情報等が分かる人々との対話により、少しでもスポーツが出来るよう指導して頂きたい(若い人々にはなかなか分からない)。
26	男性	65～79歳	青葉区	回答項目を事こまかに列記しておりますことは、ご苦勞が多かったことと思いません。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
27	男性	65～79歳	青葉区	定年後に関西から移住して来て仙台の都市としての豊かさを感じますが、スポーツ施設・スポーツイベントはあまり充実しているとは思えません。施設・イベントの増強、それへの交通アクセスも充実させて欲しいと思います。ジャスフェスティバルや青葉まつり等、文化面のイベントは他市より大変多く、楽しめています。
28	男性	65～79歳	青葉区	東北の他県には県営とか市営のアイスアリーナがあるのに、仙台市にはそれが無い。是非仙台市にも作ってほしい。
29	男性	65～79歳	青葉区	青葉体育館(武道館)をいつも使用している者です。 ・熱中症対策として夏になると温度と湿度が高くなる時と色がでるようなセットしたのが置かれていますが、色がつくと冷房をお願いするのですが、冷房の料金が場所使用料とは別に払うのですが、高いと思うのです。場所の使用料も午前と午後という取り方なので、13時から15時までの使用なので、時間制の使用料になれば助かります。 ・柔道場の床のすみの方からタバコのおいがするので調べてほしいです。
30	男性	65～79歳	青葉区	ありがとうございました。
31	男性	15～19歳	宮城野区	利用料金を下げてほしい。(貸し出し品が完全にボッタクリ)体育館。
32	男性	15～19歳	宮城野区	・迅速な情報伝達。 ・内容の具体的な説明。
33	男性	30～34歳	宮城野区	羽生結弦選手のようなアスリート育成のためのスケートリンクの施設やイベント事など、初心者でも気軽に始められる行事など。
34	男性	30～34歳	宮城野区	まず若者のスポーツ離れがすごい。そこをいかに取り込むかだと思う。スポーツをして気持ちいい、かっこいいと思えるように魅力的に宣伝する事が大切だと思う。個人的にスノーボードにハマリ10年程(年20～60回)やっているが、ちらほら聞こえてくるのは仙台の環境。3Sスポーツ(横乗りスポーツ)、スノーボード、スケートボード、サーフボードをやるのに適しているこの仙台。にわかに3Sスポーツの聖地なんてのも聞いたりします。この環境で盛んに行われていないのがもったいない。もっと公にできる場所があってもいいのでは?
35	男性	35～39歳	宮城野区	いつ、どこで、どのようなスポーツが開催され、どのような方たちが参加されて、という部分で、実際どのくらいの人が集まり、人が足りなくて困ったとか、具体的な募集や報告があれば次回行って見ようかと思う事があるので、どのような形でもいいので、インターネット、メディアなどで告知があればと思う。
36	男性	35～39歳	宮城野区	場所、時間、費用等がわかりにくい。
37	男性	40～44歳	宮城野区	サーフィンの選択肢が無いことに愕然とした。競技自体の魅力に加えて競技人口の多さ、仙台新港という国内のサーフィンで知らない人がいないほど良い波で有名なポイントを抱え、仙台出身のプロも輩出しているスポーツで東京オリンピックの種目としても決まったというのに、政令市の自治体の認識がこの程度とは・・・非常にがっかりです。
38	男性	45～49歳	宮城野区	有名になった選手にだけ支援するのではなく、有望な青少年へ本人の意思を尊重して育成を目的とした支援を行う。
39	男性	50～54歳	宮城野区	地元には体育振興会があり役員をしているが、ここ20年メンバーの変化が少ない。世代交代が必須。悩ましい・・・。
40	男性	50～54歳	宮城野区	トイレはウォシュレットにして下さい。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
41	男性	50~54歳	宮城野区	このアンケートを作成している方々はスポーツを行っているのでしょうか? スポーツ振興策に使いたいなら、質問の内容を変えるべき。現在ある施設をいかに使いやすくするか? ルールを明確化し、老人や若い人が一緒に楽しめるようにしていただきたい。
42	男性	55~59歳	宮城野区	施設を利用する際、説明会は良いと思うのですが、予約、開催、受講まで日数があり過ぎるのではないのでしょうか。それに制約されているように感じます。
43	男性	55~59歳	宮城野区	交通の便が不便だと思うので、地下鉄駅のそばとかに作れば良いと思う。
44	男性	55~59歳	宮城野区	外部団体(空手、柔道)等を各小・中学校にて場所の提供をし、数を増やして欲しい。また、夏においては、小中学校のプール等の開放をお願いしたい。
45	男性	60~64歳	宮城野区	スポーツをしたくても生活に追われてしまい時間が作れない状況。子育てや生活のための仕事の多忙等が考えられる。収入の増を考えるとしかたない。スポーツ振興は生活の豊かさや安定が最も重要であると思う。
46	男性	60~64歳	宮城野区	夜スポーツ施設の前のすごい自転車がたくさんあって、利用者の多さを知りました。料金が安かったんだと思います。震災後すぐに仙台でオリンピックをやるように頑張りたいと言われ、すごく元気で夢・希望を感じたのを思い出しました。本当に東京で出来るようになるとは……。仙台でやるならボランティアするよという60代の人もいます。自分がやるというより手伝いたいという思いも大切にしてほしい。参加したいんです、きっと皆……。
47	男性	65~79歳	宮城野区	地域に密着したスポーツ等に対して、地元企業の積極的な参加や協賛をもっとすべきではないかと思えます。
48	男性	65~79歳	宮城野区	家族がスポーツ施設を時々利用しているが、利用料金や駐車場をもう少し安くして欲しい。
49	男性	65~79歳	宮城野区	税金を使用してこんな事をする必要はなし。行政が口を出す事ではなく、各自に任せるべき。
50	男性	65~79歳	宮城野区	障害をもった人のスポーツ施設が少ない。増やしてほしい。
51	男性	65~79歳	宮城野区	市民ゴルフ場のオープン。
52	男性	65~79歳	宮城野区	税金の有効活用を切に願う。
53	男性	15~19歳	若林区	大会の開催場所が交通の便が悪い所だととても困る。近くにバス停があっても1~2時間にバスが1本しか走っていないところなども困ります。
54	男性	20~24歳	若林区	私は秋田から転勤して5年目となります。そのため土地勘もありませんし、地域の方達との面識も特にありません。ジムトレーニングやプールなど、一人でも活動できる施設などが、一般の人でも気軽に利用出来ればなぁと感じます。また、仙台駅などのアクセスの良い場所に、種目毎に利用可能な施設を調べる端末などがあれば大変便利だと思います。自己中心的な要望ばかりで申し訳ありませんが、こういったものがあると運動・スポーツに触れやすくなる上、私のような境遇の者には嬉しいです。
55	男性	20~24歳	若林区	このような策をとっていたことも知らないで、みなさんに知ってもらうことから始めたほうがいいと思う。本気になってスポーツができると思う!
56	男性	25~29歳	若林区	高鉄棒のある公園をつくってください。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
57	男性	30～34歳	若林区	プロチームが多いのが仙台の特徴なので、それをもっと活かして、アスリートと市民の交流を増やしてほしい。
58	男性	35～39歳	若林区	活動の内容や計画が、市民にあまり知られていないと思う。ネット等を使って広く情報発信してほしい。
59	男性	35～39歳	若林区	もっと気軽に行けるイベントを増やしてほしい。老後、楽しみが増えるような、生きがいを持てる仙台市にしてほしい。
60	男性	40～44歳	若林区	個人的にはスポーツに関心がなく、たまに家族とプロ野球を観に行く程度です。そのためこのようなアンケートにもあまり参考になることを書けず申し訳なく思っております。しかしながら子ども達にはたくさんスポーツに親しんでもらいたいのでよろしくお願ひいたします。
61	男性	40～44歳	若林区	回答を求められ、何も御礼がないのはどうして？無作為に選んだならば、その協力行為に感謝しておくべきでは？
62	男性	50～54歳	若林区	知らないだけかも知れませんが、若林区は他の区に比べ、設備が少ないのではないのでしょうか？薬師堂駅近辺になにかしらの設備があれば利用したいと思ひます。
63	男性	55～59歳	若林区	東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げる意味でも、仙台市で関連イベントを開催してほしい。地域経済の活性化にもつながっていくと思われる。
64	男性	60～64歳	若林区	高齢者が気軽にできるグラウンドゴルフ、パークゴルフの施設を数カ所新設してほしい。できれば仙台駅近くに。
65	男性	65～79歳	若林区	駐車場のある多機能体育館（市民優先利用）の設置、町内会単位で早朝ラジオ体操の実施（健康推進部を設置）、社交ダンス等の講師は会員獲得を目的にしないこと。
66	男性	65～79歳	若林区	仙台市がスポーツ振興のために何をしているのかほとんどわかりません。体育振興会の活動もどのようにPRしているのか、一般市民は知らないでいる事が多いと思う。仙台市の施策の広報を望む。
67	男性	65～79歳	若林区	近所に友人もおらず、スポーツ関連等に参加する「キッカケ」がない。家庭菜園等の広がり等から進めてもらおうと良いのでは？
68	男性	65～79歳	若林区	今回の様々な質問で仙台市としての取り組みの状況が改めて分かった。日頃スポーツに関心はありながら、あまり知らなかったのは自分の問題ではあるが、行政としても、末端（地域も）まで伝わる仕組みを再度検討してもらいたい（区役所等の広報（ツールなど）は色々あるようだが）。
69	男性	65～79歳	若林区	市の「スポーツ推進計画」をまず市民が知ることから始めたい。
70	男性	15～19歳	太白区	もう少しスポーツに対しての育成を手掛けてほしいです。もっと健全育成のためにもスポーツを通して学べる場を力を入れて下さい。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
71	男性	30~34歳	太白区	近年の仙台市におきましても、少子高齢化に伴う人口の減少や地方税収等の減少、市債等の累積赤字の悪化が顕在化していることを実感します。また、最近ではスポーツ団体を巡る不明朗な資金管理が大きな問題になっています。そのような現状を踏まえて、市のスポーツ事業の合理化や外部委託化、民間のスポーツ団体等への補助金助成事業の適正化、定期的な講習を通じたプロ・アマのスポーツ指導者や競技者に対する倫理教育の徹底、民間のスポーツ団体等への事業報告の徹底や経理処理の透明化といった観点から、スポーツ施策の面からの行財政改革に取り組むことが重要だと思えます。今後の市の施策が持続可能なものとなるよう、財政の健全化を果たしながら取り組まれることを望みます。
72	男性	30~34歳	太白区	仙台国際ハーフマラソン大会に2回エントリーしようとしたが、すぐ定員締め切りとなり、参加できませんでした。もう少し市民の枠を増やしてください。
73	男性	30~34歳	太白区	「～を知っていますか」という問いに対しては全て「知らない」となった。何らかの広報手段を充実させては？
74	男性	40~44歳	太白区	仙台市太白区あすと長町地内に仙台市で管理するスポーツ施設が欲しい。
75	男性	45~49歳	太白区	アンケート調査の実施自体は良いことかと思いますが、アンケートを出したか否かを確認するハガキはやりすぎだと思いました(厳しい言い方をすれば税金の無駄遣いとも思えます)。アンケートの回収率を上げたい気持ちも良く分かりますが頑張ってください。
76	男性	50~54歳	太白区	スポーツ振興課の皆さんいつもご苦労様です。県外からの移転者ですが、他と比べて仙台はスポーツが盛んだと思います。今後も振興策の推進にお励み下さい。
77	男性	50~54歳	太白区	高齢者が気軽に参加できるスポーツ施設づくりやスポーツイベントの開催に努めていただきたい。
78	男性	50~54歳	太白区	気軽にスポーツを始める人に、マナーやルールを指導する機会や施設があると良い。指導員のマナー教育が先かもしれないが、マナーの悪いスポーツマンが目につく(ほとんどの人は、きちんとスポーツしているのだが)。
79	男性	55~59歳	太白区	<ul style="list-style-type: none"> ・車を利用せざるを得ない場所の施設で、駐車スペースが少ない。 ・夜間や雨天でも利用できるテニスコートがあると良い。 ・名取川河川敷の野球場はネットが破れており、ゴミも捨て放題になっている。
80	男性	55~59歳	太白区	今のままで良いかと思えます。心とか感謝の気持ちを伝えられる社会になることを望みます。
81	男性	60~64歳	太白区	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料の引き上げを止めてほしい(体育館等)。 ・学校施設の一般開放をしてほしい。 ・身近にプールとスケート場が欲しい。 ・荒川、羽生スケート記念館の建設を願う。
82	男性	60~64歳	太白区	質問の内容とは違いますが、学生時代はスポーツとしていた方も会社に入ってからほぼスポーツが好きの人以外運動なくなり、年をとればなおさらです。会社でスポーツが出来る環境を作る事も大切では？定年した方にすぐに何らかの声をかけ、スポーツのボランティアなどの協力をしてもらえれば、少しは生きがい・喜びを見つけていけると思えます。

No.	性別	年代	居住区	問４９．具体的記述内容
83	男性	60～64歳	太白区	中高年用の健康遊具を公園に設置してほしい。仙台市内にも多数あるようですが、どこにあるかわからない。
84	男性	60～64歳	太白区	私のような年齢になりますと（60才）、若い人々と同じように身体を動かすことが難しくなります。健康がなによりの宝ものだと思いますので、創作ダンスに汗を流そうとしています。
85	男性	60～64歳	太白区	予算が無いのであれば、その範囲で行うべき。やたらと債務を増やさない。
86	男性	65～79歳	太白区	仙台市陸上競技場の情報（月毎の案内）を区役所へ置いて欲しい。現在は取りに行かなければならない。
87	男性	65～79歳	太白区	スポーツ施設の増。特に野球場が不足している。
88	男性	65～79歳	太白区	太白区内にグラウンドゴルフ・パークゴルフの施設を作ってほしい。
89	男性	65～79歳	太白区	日頃のスポーツ振興へのご努力感謝いたします。意見・要望という程の事ではないのですが、この意見も妥当ではないと思いますが、スポーツについて大上段に構えられて困る市民は結構いると思います。私の場合、本来体が固く運動神経が鈍いので、幼少よりスポーツは色々経験しておりますが、この歳まで充足したことはなく後悔ばかりで、でも他人より時間を要したりすれば何とかが人並みにと思っておりますが、自己満足でしかなく、少々そのスポーツから離れるとすぐ忘れてしまうので馴染めないということもあり、関わりずらく遠慮し、特に団体競技チーム競技には足をひっぱることになるため、どうしても遠のくことになり、今ではおつきあいさえ遠慮ということ。まあこのような者がいるということは自然と遠のき単独行動になってしまうわけです。お分かり下さい。最近のスポーツは金がかかり過ぎるということはないでしょうか。何をしても道具に金をかけ揃える。揃えなければ仲間になれない。裕福な時代だからよいということではなく、気軽に誰もが参加できる環境をつくるのが大切だと思いますがいかがでしょうか。
90	男性	65～79歳	太白区	パークゴルフ場が今年度中に若林区荒浜地内に完成の予定。旧跡地に本当にありがとうございます。地震後不便を感じておりました。今までは相馬・大衡等に車で出掛けておりましたが、これで油代等が節約出来ます。親子三代生涯スポーツPGよろしく。
91	男性	65～79歳	太白区	スポーツリーダーが少ない。他地域から受け入れて、スポーツ熱・意欲を高める必要がある。
92	男性	65～79歳	太白区	より幅広い広報活動を希望します。
93	男性	65～79歳	太白区	スポーツそのものに興味を持てるような施策を講じて欲しい。特に高齢者対策に考慮して欲しい。
94	男性	65～79歳	太白区	青葉体育館と言われても住所等が書いていないので、どこにあるのかわからない。
95	男性	65～79歳	太白区	仙台市近郊にグラウンドゴルフ専用施設とパークゴルフ場の設置等。公共交通機関で移動可能な場所に出来たら、高齢者でも気軽に楽しみ、健康的な生活も送れると思う。
96	男性	65～79歳	太白区	<ol style="list-style-type: none"> 国際試合のできる規模の屋内競技場（野球、サッカー、ラグビー等）の施設の建築。特にアクセスを考慮して。 県内の高校、大学の有望選手を、他県の大学、社会チームに引き抜かれずに、自治体、民間企業が協力して、地元にとどまり活躍できるようなポジションを与えるよう考えてほしい。 現在毎年行なっているハーフマラソンのフルマラソン化を考えてほしい。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
97	男性	65～79歳	太白区	フィギュアスケートの発祥地として、スケートの出来る施設の建設を希望します。
98	男性	65～79歳	太白区	施設に対する要望や気付いた点、色々な人達の意見を聞いてもらいたいと思う。少人数の人達の意見よりも、多数の人達の意見を聞いた方がよりよい物が作れると思います。スポーツ振興の事が知られていないのは、少人数の人達だけでやっていかせいだと思う。
99	男性	15～19歳	泉区	プロの団体のますますの活躍を期待！！
100	男性	25～29歳	泉区	・プロチームが各種目にあり、又、公共施設も整っているため、大変スポーツが振興されている市だと思う。 ・部活動の充実を他市のスポーツへ対する意識の向上を仙台市を中心に広めていってほしいと思います。今後の発展に期待をしております。
101	男性	35～39歳	泉区	このような取り組みが行われていることをこのアンケートを通じて初めて知りました。
102	男性	45～49歳	泉区	冬のスポーツに関心がないと思われる。北日本で公営のスケート場がないのは仙台市(宮城県)ぐらいである。
103	男性	45～49歳	泉区	ストリートバスケのコート、住宅街でバスケのドリブル等はかなりうるさい。アメリカのようなスケボーの施設・コース、そんな公園をたくさん造って欲しい。
104	男性	45～49歳	泉区	様々な施策を実行されているようですが、全く認識されていません。もう少し広報活動のあり方について考えてください。
105	男性	45～49歳	泉区	無料でスポーツ観戦などの機会を増やして興味を持ちやすくし、お年寄りや子供ばかりではなく、もっとこちらの年代の人にも機会を与えてほしいと希望します。
106	男性	50～54歳	泉区	地下鉄駅の近隣に施設があれば良いと思う。とにかく行きやすい所が良い。車で行けるところが多いので、車が無いと行けない。
107	男性	50～54歳	泉区	がんばって下さい。
108	男性	55～59歳	泉区	スポーツも地域コミュニケーションも良くするも悪くするも仙台市の判断が原因です。昔出来た祭が出来ない。神輿が町に出せない。現状は県や市の規制が原因です。大変な仕事ですが、頑張ってください。
109	男性	55～59歳	泉区	高齢者が近くでプール等に行けるように施設が充実して欲しい。
110	男性	60～64歳	泉区	利用出来る施設をわかりやすく広報してほしい。
111	男性	60～64歳	泉区	一部の企業、団体等々に対する利益供与が明らかな施策は再考に値するものと考えます。
112	男性	65～79歳	泉区	ハコモノは既存施設活用で充分です。新たに費用をかける必要はありません。そこに投入する費用をスポーツ振興メニュー＝ソフトへの補助などに向けてはいかがでしょうか？市民に広く問いかけ、市民と一緒に展開できるコース・インストラクター・サークル・地域を募集します。その内容を精査して、コースを選定し参加者を募り、その実施内容により、市から費用を補助する。手間ヒマはかかりますが、ハードからソフトへの転換を図っていくことが重要かと思います。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
113	男性	65～79歳	泉区	データの収集の結果が反映されるよう期待しています（高齢者をボランティアで活用して下さい）。
114	男性	65～79歳	泉区	健康施設を増やしてほしい。
115	男性	65～79歳	泉区	子供達向けに重点的に施設（プール他）を推進・展開した方がいい。
116	男性	65～79歳	泉区	全国レベルではスポーツ後進県であることを自覚した施策を望みたいと思います。40年前に神奈川県から当地に移住し、社会人サッカーチームを指導していた私が驚いた事は、多くの指導者のインテリジェンスの欠如でした。ただし、素晴らしい方々と巡り会えた事も付記します。
117	女性	20～24歳	青葉区	自分に合ったレベルのスポーツクラブなどがあれば是非参加したいです。
118	女性	20～24歳	青葉区	体育館を使いたくても遠すぎて行くのがめんどうなので、駅の近くにつくってほしい。
119	女性	25～29歳	青葉区	身近にスポーツができる環境・場所があると運動するきっかけができると思います。
120	女性	25～29歳	青葉区	イベント、活動があっても知らないと参加できないので、周知をお願いします。楽しみにしています。
121	女性	30～34歳	青葉区	税金の無駄遣いにならないようにしてほしい（必要のないものは造らないでほしい）。
122	女性	30～34歳	青葉区	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関を利用して通うことのできる場所に施設が欲しいです（仙台駅にも欲しいが、その他地域も含む）。 ・既存の一般施設も含め、仙台市民も使えるようになりたい（曜日、時間限定で使用できるetc）。 ・仕事帰りに気軽に行くことができれば、市民ももっと健康的になると感じます。
123	女性	35～39歳	青葉区	パークヨガやビーチヨガ等、屋外イベントの開催を待っています。
124	女性	35～39歳	青葉区	ドーム球場を作してほしいです。野球（楽天イーグルス）が大好きな両親に観戦をしてもらいたいのですが、遠方（県外）に住んでおり、せっかく来仙しても天候に左右（気温を含め）されてしまうため、なかなか観戦の計画が立てづらいからです。ドーム球場があれば、季節や天候などにかかわらず、快適にスポーツ観戦ができて、ビジター、アウェイのファンの方々も今以上にたくさん来仙するのではないのでしょうか？ぜひともよろしくお願い致します。
125	女性	50～54歳	青葉区	大きなスポーツ施設だけでなく、子ども達が気軽にボール遊びができる公園も考えて欲しいです。
126	女性	55～59歳	青葉区	スポーツ音痴の私にとってはとても難しい質問でした。皆様の活動大変だと思いますが、頑張ってください。
127	女性	55～59歳	青葉区	市のトレーニングを利用する際、あらかじめ講習会に出席しなければ利用できないということで、ちょっと不便さを感じました。もう少し気軽にすぐ出来れば・・・と思いました。
128	女性	55～59歳	青葉区	どのような目的から「仙台スポーツ～計画」を策定したか、まずはじめに知りたかった。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
129	女性	55～59歳	青葉区	情報をもっと発信してほしい。市政だよりも見ますが、自分に合うもの、やりたいものがあまりない。仕方なくスポーツクラブへ入会した。基本から(ストレッチ)初め、体調がとてよくなった。待っている人は沢山いると思うのだが。
130	女性	55～59歳	青葉区	仙台市に転居してまだ日がたっていないため、まだまだ情報が入っていない?そのため質問に対して答えられなかった事、本当に不勉強でした。申し訳ありません。これからは積極的になっていきたいと思っています。
131	女性	60～64歳	青葉区	身近な所にスポーツ施設が欲しい。車の運転ができないので公共交通機関を利用するしかなく、遠い所の施設を利用するのは難しい。結局、会費(入会金)の高いフィットネスを使うしかなく、年金で行くには負担が大きく、高齢化社会の今、将来の病気予防のためには不可欠かなと考えます。
132	女性	65～79歳	青葉区	利用しやすい(交通)所に建ててほしい。公的交通で行けるところに作ってほしい。スタッフ様おつかれさまです。ありがとうございました。
133	女性	65～79歳	青葉区	無駄なお金、税金は使ってほしくはない。このアンケートも考えものだと思います。
134	女性	65～79歳	青葉区	スポーツ振興課のあることを存じ上げておりませんでした。大会に出場したりは出来ませんが、日々の運動は必須と考えています。歳を重ねてベットの上での生活をしないためにもです。この年齢になって運動で着ているものが汗でぬれるものも気分が良いものです。「あまり健康ではない」とをしたのは持病があるからです。
135	女性	65～79歳	青葉区	子供から高齢者まで普通に参加、体験できる施設が身近にあり、サポートしてくれるスタッフがいる事により、市民が各々スポーツに親しみを持てる。市民の意識が共有されれば、スポーツ振興のサポーターとして力強い存在になると考えます。
136	女性	65～79歳	青葉区	スポーツ施設を利用したい団体が多いと聞かすが、好きな時間帯が取れないとも聞きます。施設が気楽に使用できるよう、もう少し増設してほしい。
137	女性	30～34歳	宮城野区	身近に健康と向きあえる環境があるといいと思います。
138	女性	35～39歳	宮城野区	この調査票が届くまで、行政がスポーツ振興を行なっているとは知りませんでした。もっと認知度を高める所から進めてはいかがでしょうか?どうしてもネット等で民間施設の方が(ジム等)入りやすく、民間よりも安く通えるなら、施設等利用したいです。民間を見習う事も必要では?私たちの税金を有効活用して頂きたい!
139	女性	35～39歳	宮城野区	知らないだけかもしれませんが、屋外で気軽にできるバスケットコートを作って欲しいです。
140	女性	35～39歳	宮城野区	託児の充実。
141	女性	35～39歳	宮城野区	スポーツ・運動をしたい市民の一人として今後の発展に期待しています。頑張ってください。
142	女性	40～44歳	宮城野区	市民センター等で行われる講座(ヨガなど)は高齢者向けのものが多いような気がするので、もう少し下の年代が気軽に参加出来るようになると良いと思います。

No.	性別	年代	居住区	問４９．具体的記述内容
143	女性	45～49歳	宮城野区	施設の予約が楽に誰でもできる簡単な感じだとありがたいです。パソコンを使えない方々でもできる昔ながらの方法も残っていた方が良いのかと思う事もありました。
144	女性	45～49歳	宮城野区	ボルダリングのできる市の施設を開設して欲しい、チャレンジしてみたいが、あまり施設がないので。
145	女性	50～54歳	宮城野区	仙台市は地域には体育館は多いと思いますが、武道館が少ないので、あれば良いと思いました。剣道などする場があると助かると思います（近くにないので防具が重たくて大変）。
146	女性	50～54歳	宮城野区	仙台市のスポーツ振興について今まで全く知りませんでした。広報等が不十分なのでは・・・。
147	女性	50～54歳	宮城野区	市政だよりに載っているスポーツ教室は大きな体育館やコミュニティセンターが多いです。もっと身近にある、近所の誰でも行きやすい、小さな施設でも気軽に参加できる教室や設備があると良いと思います。それと温水プールをもっと増やして欲しいですネ。施設を増やすのが難しければ、民間のスポーツクラブを気軽に利用できるような助成券のようなものを発行するとか、もっとスポーツを気軽にできるようになれば良いと思います。
148	女性	50～54歳	宮城野区	仙台市はハーフマラソンや女子駅伝も開催。七ヶ浜はトライアスロン。仙台大はスポーツに特化していて、宮城県はスポーツに力を入れていると思います。東北の中でもおだやかで過ごしやすい気候の仙台市はスポーツに適している土地ですね。
149	女性	55～59歳	宮城野区	子供から老人まで健康づくりが気軽にできる仕組み。
150	女性	55～59歳	宮城野区	せっかくオリンピックの金メダリストが2人も出たのだから、スケート場の整備と後進の育成ができるようにしてほしい。スケートはお金がかかるという話だけど、後進の育成ということなら仙台市としてある程度お金を出しても皆応援すると思う。
151	女性	55～59歳	宮城野区	家の隣が小さな公園であるが、子供達が時々キャッチボール等をすることがあり、家の方までボールが飛んで来て、危険だし、迷惑なことがある。公園の使用方法等、マナーを徹底する（公園の広さによって、使い方も異なると思う）とともに、お金をかけずとも、子供達がのびのびスポーツに親しめる施設を作って（増やして）ほしい。
152	女性	55～59歳	宮城野区	以前地域の体育振興会の役員をしていたが、とにかく人集めに苦労した。スポーツ（競技）を楽しむという本来の意味がどこかに行き、毎回行事をこなしていくという義務感だけが大きくなり、楽しめない状態になった。忙しい中での若い人達等の意識改革のむずかしさなど痛感した。
153	女性	65～79歳	宮城野区	気軽に卓球ができる場所があると嬉しい。
154	女性	65～79歳	宮城野区	健康な子供の育成にはスポーツは大変良いです。地域で応援したいと思います。
155	女性	65～79歳	宮城野区	現在の仙台市のスポーツに関して大変努力をしていると思います。個人の教育や家庭の努力だけにまかせず、恵まれない家庭の子供達に援助の手を、優れた才能を育成して頂ければと思います。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
156	女性	65～79歳	宮城野区	回答が雑で申し訳ありません。障害者のため運動に参加は難しいです。テレビ等で観る事が好きです。
157	女性	65～79歳	宮城野区	・子供のスポーツクラブを見ていると、スポーツの楽しさとか人格形成より、勝負事があまりにも優先されている事が心配。 ・スポーツは見て、自分でしても楽しいものであるという事が一番だと思います。70才をすぎ、テレビで観戦が多くなりました。野球、サッカーはともかく、陸上競技の放送が少ないですね。特に国体は少ないですね。
158	女性	25～29歳	若林区	私はスポーツが好きでフットサルサークルに入りました。今はメンバーと話したりするのが楽しくて行っています。以前、私が行っていたフットサルのサークルに会い目的の人がきていて、だまされた挙句、中傷され、一時的に精神科に入院していました。フットサルをやめようと思いましたが、その人が出禁になり継続を決めました。純粋にスポーツが好きで来ている人がいる中で、一部のそういった人たちのせいでスポーツをやめてしまう人がいるのが現状にはあります。楽しい場を作ることは大切ですが、被害がなくなるような対策をたててほしいと思いました。
159	女性	30～34歳	若林区	宮城県はマラソン大会が少ないので、もっとマラソン大会を開催してほしいです。
160	女性	35～39歳	若林区	お仕事お疲れさまです。
161	女性	40～44歳	若林区	サッカー・フットサルをやりたいくて、3、4回ほど初心者・女性対象のフットサルクリニック(フットサル施設主催)に参加してみましたが、まだ女性が参加しやすい雰囲気ではなく、続けることが出来ませんでした。ベガルタ仙台でやっている女性向けのサッカー教室も現在お休みしているとのことで……。30～40代女性向けのサッカー、フットサル教室やサークルがあれば、今後ぜひ参加したいと思います。大会に出られるまでになりたいので、ぜひ企画を宜しくお願い致します。
162	女性	40～44歳	若林区	・もっと気軽に身近に行なえる環境があれば良いと思う。 ・美容・健康も行なえる施設が増えてくれるとうれしい。
163	女性	40～44歳	若林区	今回アンケートが来て初めて仙台市がスポーツ推進計画というのを進めていることを知った。そもそも、スポーツをしたい!と思わないと、スポーツ関係の施設等を調べたり、サークル等を検索しない。もっとスポーツをしたくなるようにすれば(大々の広告とか)良いのでは?と思いました。
164	女性	40～44歳	若林区	「参加しやすいスポーツクラブ」、休みの日を利用して手軽に出来る運動を行う場所、指導者など、市政だよりで紹介してほしい。
165	女性	40～44歳	若林区	小さい頃から体を動かす機会があると、よりスポーツへの取り組みに対するハードルが低くなるのではないかと思います。体を動かす習慣のないまま大人になった場合、日常的に運動するのはおっくうに感じてしまいそうです。やはり小さいうちにスポーツに親しむ環境を整えることで、体を動かすことが「あたりまえ」になると思います。そして体を動かしたいと思った時に気軽に利用できる施設が身近にあると良いです。「遠くまで行く」のでは面倒で、せっかくの気持ちが冷めてしまいます。
166	女性	45～49歳	若林区	インターネットを使用しないで、市政だよりとかポスターなどでの情報が欲しい。
167	女性	45～49歳	若林区	何事もお金がかかりすぎるので、身近に気軽には思えない。
168	女性	50～54歳	若林区	今後もどんどん盛り上げていけますように。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
169	女性	50～54歳	若林区	コンサートもできるドーム球場を市内につくって下さい！
170	女性	50～54歳	若林区	東日本大震災後に気仙沼市から仙台市に越して参りましたが、残念ながら今だによそ者扱いする感じがいなめません。今後の仙台市の課題はそのような所にもあるかと思われます。
171	女性	50～54歳	若林区	この調査は障害がある息子あてにいただいたものでしたが、本人は重度の知的障害があるため記入できず、母親の私が代わって書かせていただきました。息子のような障害がある方でも休日の過ごし方として、スポーツは大切です。サポートがあれば可能なので、市の支えのもと、企画していただけるとありがたいです。
172	女性	50～54歳	若林区	<ul style="list-style-type: none"> ・個人使用の施設はそれなりにあると思うし、民間の施設を使う方向もよいと思う（そこまで手とり足とりしてあげる必要はあるのか？）。 ・それよりも小中学生からプロまでが使う施設が貧弱だと思う。野球部の子ども達が練習するグラウンドを貸りるのも大変だったし競争率が高いです。 ・若い頃は公民館や市民だよりの行事にお世話になったしお世話もしたので、そのような小さな情報も見つけやすい検索サイトなどがあると楽だなあと思う。 ・「仙台ハーフマラソン」のように市民も参加できて、それを目標に練習できる大会はよいと思う。自分で運動するのは嫌いでも観るのは好きだし、仙台が盛り上がるのはうれしい。自分の健康のためでなくてもお祭り参加みたいで楽しいです。
173	女性	50～54歳	若林区	スポーツを通じて、明るく礼儀正しい青少年の育成を。
174	女性	55～59歳	若林区	障害者でも気軽に出かけるスポーツやストレッチ。
175	女性	55～59歳	若林区	低料金で自由に使用できるようなスポーツジムを若林区役所周辺に作って下さい。
176	女性	55～59歳	若林区	身近に利用できるスポーツ施設を増やし、気軽に体験できる教室がたくさん開催されるとよいと思います。地域的に差があるので、均等に選択できる環境作りが必要だと思います。
177	女性	65～79歳	若林区	文化系の事で忙しくスポーツにあまり興味がない私のアンケートで申し訳ありません。今後のご奮闘をお祈り致します。
178	女性	65～79歳	若林区	スポーツ施設のかたよりです。区全体に平等にあるならばと思います。
179	女性	65～79歳	若林区	スポーツ施設については何度か応募したが落選、希望する種目、日時に参加出来なかった。体を動かす事で心も前向きになるので、高齢になっても出来るような施設を身近な地域につくってほしい（このような意識調査に選んで頂きありがとうございます。健康寿命を保つためにも、80才までといわず85才位までの方でも元気に運動している方も沢山あります。その年齢の方も意識調査に加わってもよかったのではないのでしょうか。この調査が市民の健康に役立つ事を祈りつつ・・・）。
180	女性	65～79歳	若林区	卓球など老齢でも楽しめるクラブ、そこで試合も楽しめるなどマレットゴルフ？この地に特に願望。そして、食事など出来たらいいと思う。とにかくこの地にもっと活気がほしい。
181	女性	65～79歳	若林区	高齢化時代に入ってますので、医療費がかさむばかりです。健康で長生きできるように、歩いて5分10分の所で健康体操やストレッチができる所が多くあると良いと思います。
182	女性	15～19歳	太白区	スポーツに対しての情報が少なすぎる。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
183	女性	20~24歳	太白区	市や地域で職場や地域の人に参加してもらえるイベントなどあればいいと思います。仕事が忙しくて運動や情報を知る機会自体があまりないので、地域・近所との繋がり、仕事に一息の意味も込めてそういうのがあればとてもいいなと思いました。
184	女性	25~29歳	太白区	現在でも、仙台市体育館などで気軽に利用できるスポーツ関連施設はとても充実している気がします。川内にある庭球場のように、市民が気軽に立ち寄れるスポーツ施設など、もっとSNSなどで発信しても良いと思います。意外と知られていないので・・・!
185	女性	30~34歳	太白区	プールの利用時間を長くしてほしい。(仙台市体育館)2時間 4時間に。
186	女性	30~34歳	太白区	野球、サッカー、バスケットボール等、仙台にはプロチームがあるものの、関心があるわりに見に行くことができない。各区民対象の観戦優待をもっと知らせてほしい(チケットが高いように思う)。
187	女性	35~39歳	太白区	小規模の教室を増やしてほしい。流行のものも取り入れてほしい。子供のスポーツももっと増やしてほしい(生後3ヶ月ぐらいからの)。もっと広告してほしい。
188	女性	35~39歳	太白区	スポーツイベントのチラシなど、ネットでなく近所のスーパーとかに貼ってもらえると目につくので、知ることができるので助かると思う。すでに実施済みならすみません。
189	女性	35~39歳	太白区	仙台市は特に泉の方でスポーツが盛んだと思う。イベントなどの情報が分かりやすく、学校などでパンフレットなどを配布し、家族が参加できたり、また、ママたちも気軽に運動できるサークルなどがあればよいと思う。
190	女性	35~39歳	太白区	子供や高齢者、ファミリーはもちろん、単身者や子供がいないカップル等も気軽に参加できる内容、プログラムでのイベントを開いて欲しいです。また、「仙台市~大会」とかではなく、よりせまいコミュニティでの「~地区~大会」のような少人数制のイベントの方が参加しやすい気がします。
191	女性	40~44歳	太白区	設備が必要なスポーツでなければ、小さなコミュニティや地域に指導者等を派遣して、教室やイベントを開催してくれるような制度があると良い。限られた施設へ出向くのに簡単な交通手段が無い。大きなイベントの時などは、臨時のバスを出すなど、広く人を集められるような工夫があると良いのでは。
192	女性	40~44歳	太白区	私はあまりスポーツに興味がなかったので、せっかくのアンケートですがそんなに参考にはならなかった気がします。すみません・・・。個人的には、安全にウォーキングを朝夕夜に長時間できるような場所があると良いと思います。先日、沖縄で事件がありましたね。夜はコワイです。夜、私は外出しない。
193	女性	40~44歳	太白区	運動やスポーツを通して更なる仙台市の発展と、市民の皆様が元気に楽しく毎日を過せるように願っています!皆が健康で笑顔に包まれる街になるといいですね。今回のアンケートを通して自分自身の運動やスポーツに対する意識を見直すよいきっかけになりました。選んでいただきありがとうございました。集計大変だと思いますが頑張ってください!!

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
194	女性	40~44歳	泉区	<p>・ 泉にあった健康増進センター（今はシルバー向けになりましたが）のおかげで運動習慣が付き、無理なく続けられて民間のスポーツクラブに通うことができ10年になります。大好きなスキーを楽しむための体作りでもありますが、心身リフレッシュでき、人間に必要なことだと実感し、そのきっかけを下さった市の施設に今でも感謝しています。できればあのような誰でも利用できる形で各区にあったら良いのではと思っています。</p> <p>・ 小、中学校の体育の授業でスキーやスケートをもっと取り入れてほしい、または高校生以上でもスキー場や施設に補助をして、無料利用できるようになど、機会を与えてほしいと思います。ボランティアで指導できるようがんばります。</p>
195	女性	45~49歳	太白区	<p>仙台には多くのプロスポーツが在籍、活動していることを利用し、小さい子供（幼児も含む）から参加出来るイベントを増やし、継続的に「やりたい!!」と子供に思わせるように活動を支援していくことが、将来的に仙台のスポーツの振興につながっていくのではないかと思います。</p>
196	女性	50~54歳	太白区	<p>今ある施設を活用して気軽にスポーツに参加できるようにする。</p>
197	女性	50~54歳	太白区	<p>年々、歳をとるごとに運動する機会がなくなりました。子供が成長し、一緒に出掛けることも少なくなり、スポーツ等もやりたいと思っていても近場になし、通うのも面倒となってしまいます。こんなことを思っている主婦らは結構まわりにいます。こんな主婦らがとびつくようなスポーツ施設があれば・・・と思います。</p>
198	女性	50~54歳	太白区	<p>野球等の観戦等で雨、雪でもぬれないで見られる施設がほしいです。寒い中の春の観戦、虫との戦いでは、今の時代きびしいのではないのでしょうか。車の利用を控えるようにとよくいわれますが、仙台は車社会ですから、もう少し駐車場等を考えた方が良いのでは。駅の近くの方は少数市民だと思います！スポーツは好きな人もいれば苦手な人もいると思うので、もう少し広い気持ちをもってほしいです！</p>
199	女性	50~54歳	太白区	<p>体育館などの駐車場の台数も少なく有料なので、あまりゆっくりできない（青葉体育館や仙台市体育館など）。</p>
200	女性	55~59歳	太白区	<p>今回のアンケートは私自身、スポーツはしたいですが、仕事の関係で時間も作れません。体力的にも仕事の疲れがあり動けないため、スポーツのアンケートはとてもきびしかったです。しかし大好きでいずれスポーツをしたいと思っていましたので、いいきっかけになりました。身近で気軽に行ける場所がとてもほしいです。高齢になると車も使えないので、場所は大事だと思います。</p>
201	女性	60~64歳	太白区	<p>昔やった夏休みのラジオ体操等、簡単にできてお金のかからない運動を市をあげて行ってほしい、例えば”よさこい”など、子供からおじいさんまでできるもの。町内会対抗とかイネ!</p>
202	女性	60~64歳	太白区	<p>仙台は交通費が高く移動手段が大変で、自家用車の限界を感じてしまいます。</p>
203	女性	60~64歳	太白区	<p>人にやさしい広場、子供やお年寄りや障害者が共にいられる広場、施設を利用して交流や活性化を思う。弱者が自由に行ける広場がない、施設がない。寂しく思う。</p>
204	女性	65~79歳	太白区	<p>高齢者に関して公共交通の本数が足りないのでおっくうになる。</p>

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
205	女性	65～79歳	太白区	良い施設が出来ても、私達のように交通の便が悪い所ではなかなか利用出来ません。学校の施設・公園など安全な範囲内で利用出来れば、子供達や孫達ももっと利用出来ると思います。今学校の校庭が昔のように自由に利用出来ないのがとても残念です。
206	女性	65～79歳	太白区	アンケート用紙を見ながら書く事が出来て、本当に昔のスポーツの日々を思い出す事ができ、なつかしく思い出しながら書きました。本当にありがとうございました。北海道に住んでいたなつかしい時代を思い出す事ができ、ほんとうにありがとうございました。
207	女性	65～79歳	太白区	私達老人も楽しく若い人達とスポーツ又は話が出来るといいわね。
208	女性	15～19歳	泉区	ジムとかに気軽にいけない。もっと情報を公開してほしい。服装など困る。
209	女性	15～19歳	泉区	トップアスリートを間近に見れたり交流できるイベントがもっともっとあるといいなと思います。
210	女性	25～29歳	泉区	休日に気軽に利用できる施設を目指すと良いかもと思った。一般の人も利用できる学校の体育館もあるといいなあ。懐しくなって。
211	女性	25～29歳	泉区	子供の運動不足、遊ぶ所がない。有料のスポーツもあるが、低所得で働いているから時間もない。だから公園で遊ばせたいのに、公園の花にボールがぶつかるから遊ぶな。仙台市の子はスポーツテスト、全国で平均下回ってるのに。何がしたいのか意味が分かりません!!(歩坂町、永和台の公園はボール禁止です)大人の目があたたかくない。
212	女性	30～34歳	泉区	既存の施設をしっかりと維持して欲しい。地震の多い地域なので、安全を第一に点検を定期的に行って欲しい。シェルターとしての役割も持って欲しい。ウォーキングで公道を夜歩く人も多いため、街灯の消えているところがないようにして欲しい。
213	女性	30～34歳	泉区	こども(未就学児)、ファミリー向けイベント(キッズスポーツデーやちびっこ遊ぼうDAY等)を平日だけに限らないでほしい。仙台市は待機児童が多いくらい、平日働く親も多いのですから、土日にもこういうイベントがあれば親子ともに参加し、スポーツに参加するきっかけになる。
214	女性	35～39歳	泉区	スポーツをしてみたいのだが、何から始めたら良いかわからないので、こういうスポーツをしてみたい方はこういうサークルとかがありますよというのが、お知らせしてもらえたら嬉しいです。
215	女性	45～49歳	泉区	スポーツ観戦をきっかけにスポーツをするようになれば良いと思います。そのための施設や機会をつくっていただければと思います。
216	女性	45～49歳	泉区	寿命が伸びたことにより、健康な身体の維持が課題となっている。年齢に応じた(働き盛りの世代には、時間が少ないなどの等)スポーツのあり方の情報提供などを、目に入りやすい方法で広げて欲しい(例)PCで見るとするのは意識的でないと見ないため、多くの人に目に見える形でお願したい)。

No.	性別	年代	居住区	問４９．具体的記述内容
217	女性	45～49歳	泉区	子供が水泳をしています。他県（東北地方ですが）と比べて、合宿などトップ選手の育成のシステムが出来ていないように感じます。また中学高校の総体なども、東北大会では他県はチームで応援しているのに、宮城県はぜんぜん一体感がなくすごく淋しいです。ホームページもあまりパッとしません。来年インターハイがあるので、もう少し他県と情報交換をして、いろいろと改善して欲しいと思います。
218	女性	45～49歳	泉区	スポーツ教室を開催していますが、夜にできるのを増やしてもらえると参加しやすい。
219	女性	50～54歳	泉区	休日や夜間に学校の体育館等を使用したスポーツ教室やサークル等の実施。誰でも参加できるような内容と情報発信をお願いしたいです。
220	女性	55～59歳	泉区	マラソンなどで（自転車レース含む）一般道路を規制しないでほしい。特に帰省者の多い時（前はGWで駅までのアクセスについてひどいと思った）、ちょうど帰省のラッシュ時間だったのに。良いグラウンドがあるのだから何周でも走ってもらいたいと思っている（友人達もかなりの人がそう言ってます）。
221	女性	55～59歳	泉区	働きながら頑張っている（ベガルタ仙台レディースなど）アスリートの支援を強化して欲しい。交通手段（遠征）の改善などよろしくお願いします。
222	女性	55～59歳	泉区	時間が作れないので続けられません。一日でも参加できるスポーツや気軽に参加できるのがあればいいなと思います。またどんなスポーツが無理なくできるか、きいてほしい人がいればと思います。
223	女性	55～59歳	泉区	市政だよりなどで参加してみたいと思うことは何度もありましたが、定員や日程にあてはまらないなど、1歩がふみ出せなくなる。
224	女性	60～64歳	泉区	新しい施設を増やすのもいいですが、昔から通っている公共施設の老朽化が著しいです。慣れている施設ですっと通いたいと思っています。古い施設にも手をかけてほしいです。
225	女性	65～79歳	泉区	相手を思いやる心を持つ人間を育成して下さい。学校（子供達）の校庭をすべて自然芝に植えかえたら楽しいと思います。税金を将来性のある子供達のために、50年～100年後を見据えて有効活用していただきたい。
226	女性	65～79歳	泉区	・駐車場確保（車での移動を考えて）。 ・小学校や中学校の児童、生徒にプロ経験者による基本指導を行っていただき、体を動かすことの嬉しさや喜びを数多く体験させるプログラムを作ってほしい。
227	女性	65～79歳	泉区	スポーツに勝敗はつきものですが、その前に人間として大切なこと（善悪の判断など）を指導者の方々は共に学んでほしいと思います。10年程前、高校でサッカー部の監督をされている長沢先生（長沢まさみの父）が、生徒を指導するとき、必ず一番大切にしていることは、サッカー選手でなくなっても迷わない人間として大切なことを常に伝えていとおっしゃっていました。すばらしい生徒になると思いました（全国一位になりました）。
228	女性	65～79歳	泉区	現在養療中で特には出来ないが、良くなったら大いに参加したいと思う。
229	女性	65～79歳	泉区	特に青少年の健全育成に力を入れてほしい。高齢者の健康づくりも同様。
230	女性	65～79歳	泉区	パークゴルフ場があるといいです。

No.	性別	年代	居住区	問49. 具体的記述内容
231	女性	65～79歳	泉区	音楽の演奏指導を仕事としているため、スポーツについて考えたことがあまりありませんでした。高齢になった今、少し関わってくれば良かったと思います。
232	女性	65～79歳	泉区	高齢社会の現在、自分の体は自分で守ると言う心掛けが大事であり、家族に負担をさせないよう努力して、現在もフルタイムで仕事をしています。
233	女性	65～79歳	-	もっと気軽に皆が利用できる方法、例として、直線又は並木道のステキな所にウォーキング・ランニングで利用できるように、「立て札・距離メーター」を立てるとかしたら何となく歩いてみたくなると思いますが！！（所々に腰かける柱があると良いかもしれません）
234	女性	-	宮城野区	故藤井市長がユアスタで言っていた通り、仙台には4つのプロがあり、スポーツのプロはあの頃より確実にチームが増え喜ばしい限りです。しかし、仙台出身、宮城出身、地元発の選手が少ない事は淋しい事です。アマチュアでも羽生選手のように世界NO.1の選手がいますが、地元仙台の後援が少ない点が気になります。地元選手が地元プロスポーツで活躍するためには、手厚い後援が必要と感じます。未来の地元選手の育成も力を入れていただきたいです。一年中過ごしやすい気候をいかして、スポーツの盛んな街づくりを期待します。
235	-	65～79歳	泉区	運動・スポーツとして、それなりの量としてあれば良い物である。両方のスポーツ施設とスポーツ振興として利用する。特殊な性質がある時がある。その時それを成立にして反応として利用する。その他の物として、各々別に。